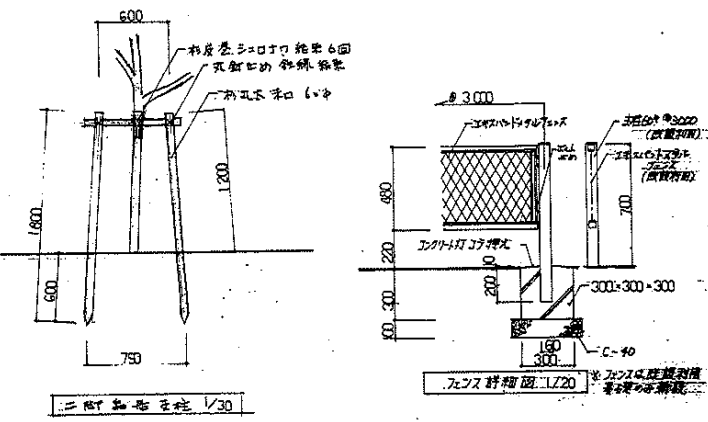


凡例

- 1. 既存部分を示す。
- 2. 埋築部分を示す。
- 3. 仮囲(道路幅H=1800, 工事期間中はH=1800付) 踏石門扉 W=6000, H=1800付
- 4. 物置敷地を示す。(149.64㎡)
- 5. 樹木の撤去  
トマ H=1000 4本  
マンジツバ H=600 2本
- 6. 樹木の移植 (苗木: 0.07㎡の苗木, 工: 1000円/本) 7ツツ H=2500 幹周100 (二本植栽予定)

配置図 1/300



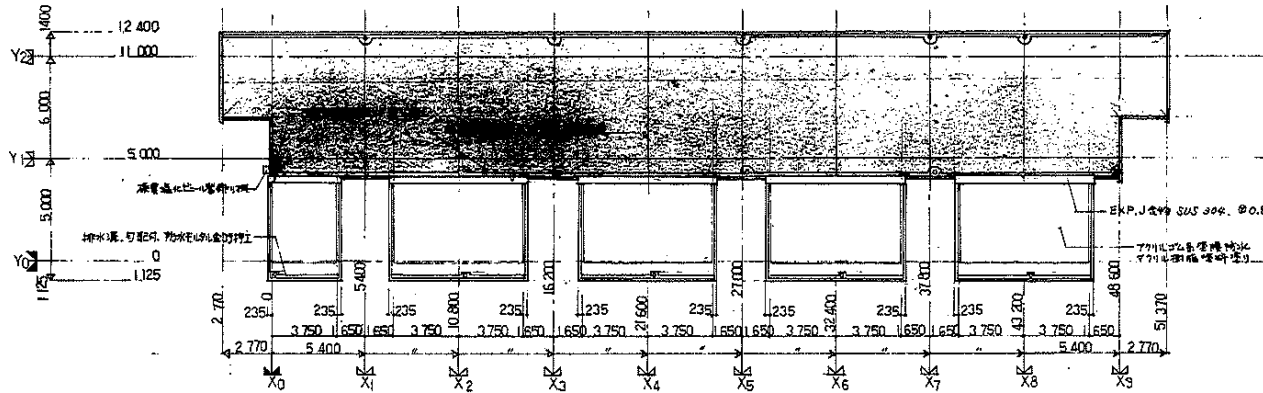
案内図

株式会社  
近藤設計事務所

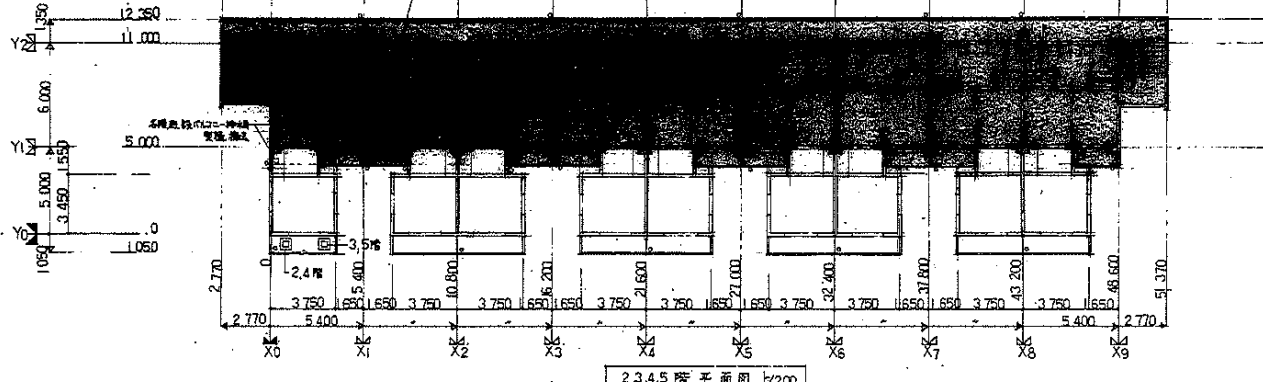
60-8508

名称	海住宅住戸改修工事(第1工区) 概略図
図面名称	平面図、配置図、外構図 1/300, 1/300
図面	
設計	

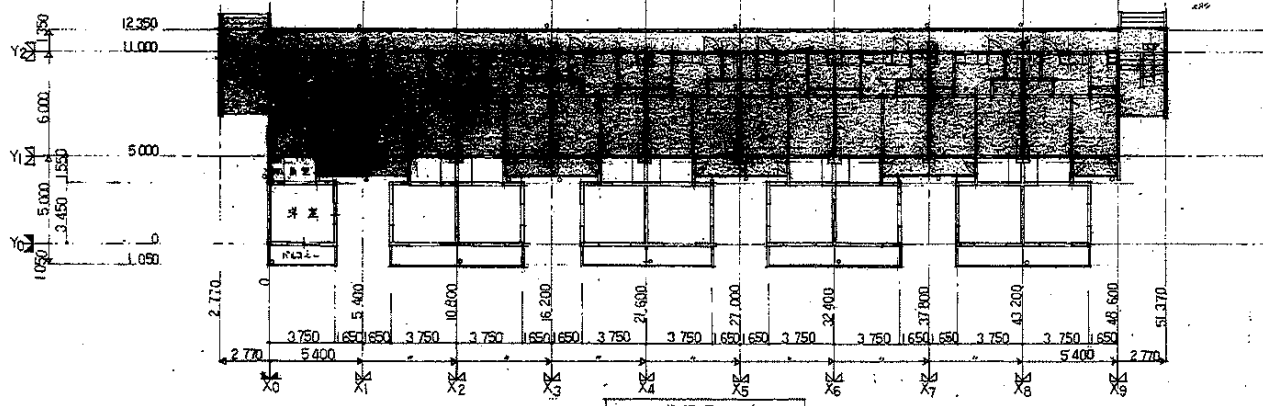




1階平面図 1/200



2,3,4階平面図 1/200



1階平面図 1/200

- 凡例
- 廊下
  - 洋室
  - 設備ケラック
  - ▼ 消火器(ABC 4型) 設置位置(770x116) (備註)
  - ▽ 消火器(ABC 6型) 設置位置(770x116) (備註)
  - ▽ 消火器(ABC 10型) 設置位置(770x116) (備註)

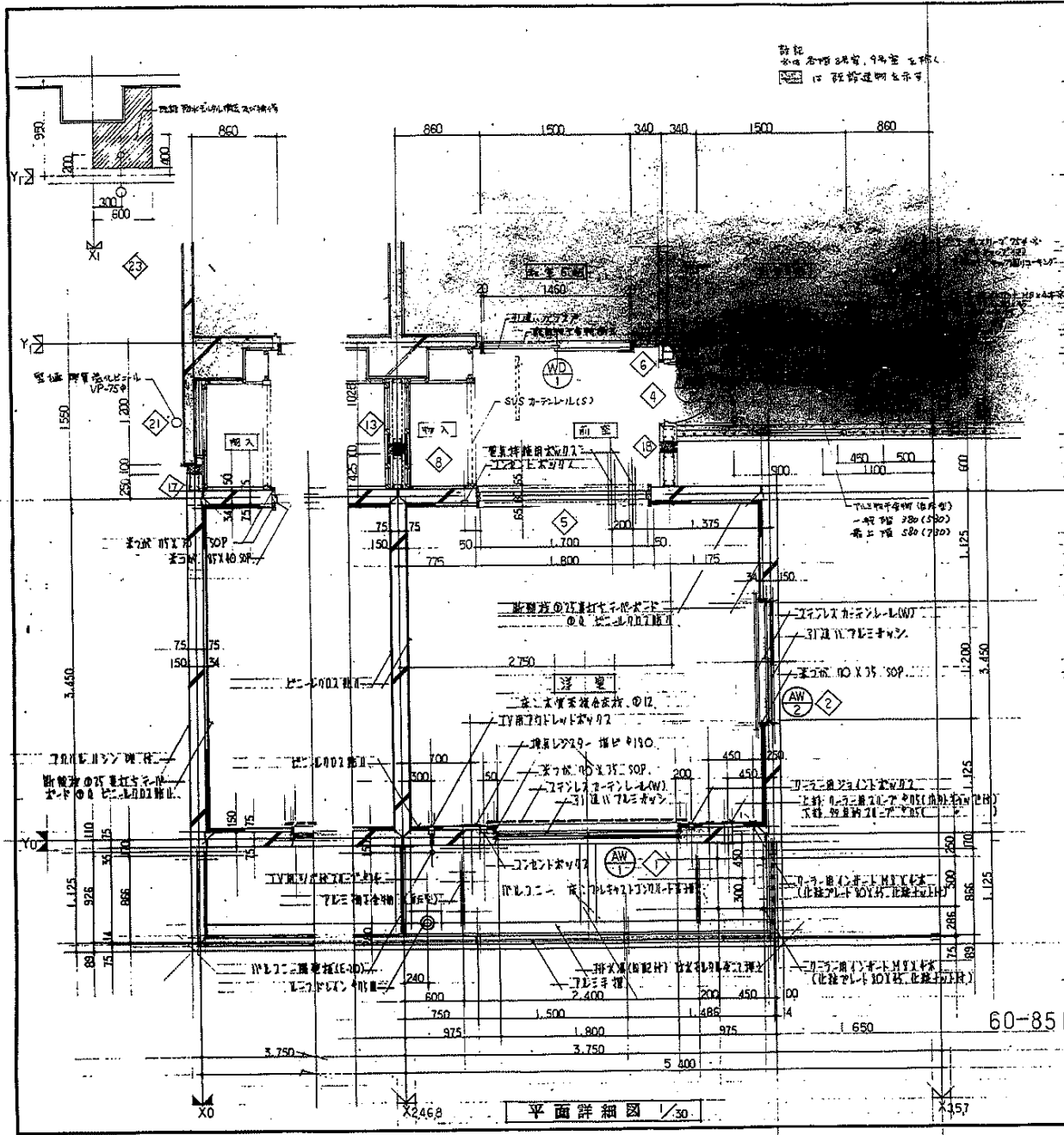
既設設備は770-7-取付 (BL-II型) 全戸

株式会社  
近藤設計事務所

60-8510

名称	鳴海件条件戸改修工事(第1区)	
図面名称	各階平面図	1/200
図面	[Redacted]	
設計	[Redacted]	





断記  
 水栓 各戸2ヶ所、9号室 5ヶ所  
 注記  
 ① 既設建具表示可

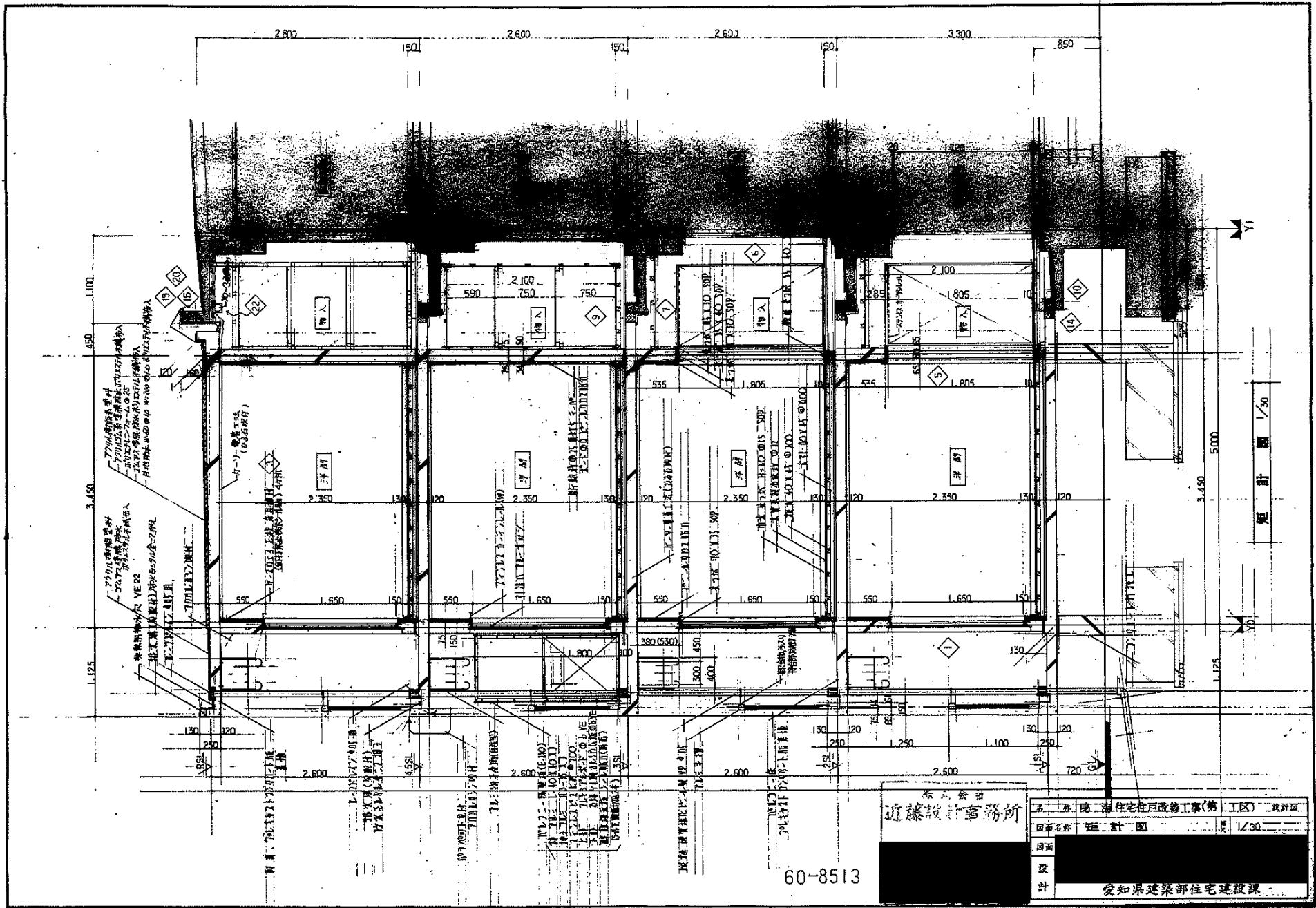
符号種別記号	AW	引違い窓	60 BLK	AW	引違い窓	60 BLK
形状						
場所数量	洋室	45	洋室	45		
材料仕上	7L3		7L3			
頭子	上板1-1/4(1/4), 下板型板0.4/4		型板0.4/4			
金物	付属金物一式		付属金物一式			
備考	カギ付引違い(1.2/4)		カギ付引違い(1.2/4)			
		可動付引違い(7.5/4)		可動付引違い(7.5/4)		
符号種別記号	AW	引違い窓	60 BLK	AW	片開き戸	60 BLK
形状						
場所数量	洋室		前室	45		
材料仕上	7L3		7L3			
頭子	7L3(1/4)		上板型板0.4/4, 下板1.0/4			
金物	付属金物一式		付属金物一式			
備考			アムストパー 引違い窓用 肉厚0.9			
符号種別記号	AW	引違い片開き戸	35			
形状						
場所数量	前室	既設物	45			
材料仕上	木製(7L3)	付属金物				
頭子	型板0.1/4 (上板)					
金物	付属金物一式					
備考						

平面詳細図 1/30

60-8512

株式会社  
 近藤設計事務所

名称 岡山 海住宅住戸改修工事(第1工区) 設計図  
 図面名称 平面詳細図、建具表 1/30、1/50  
 図面  
 設計  
 愛知県建築部住宅建設課



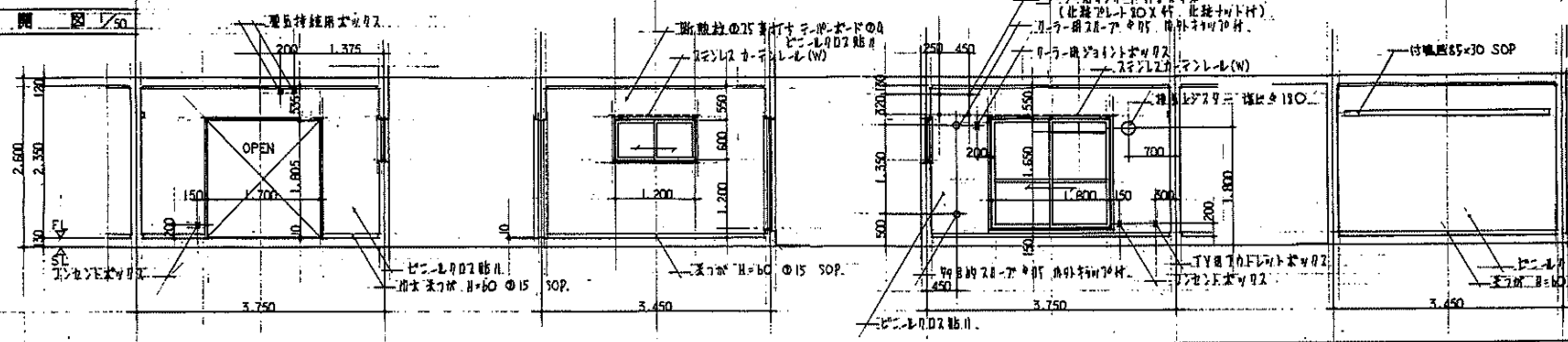
近藤設計事務所

60-8513

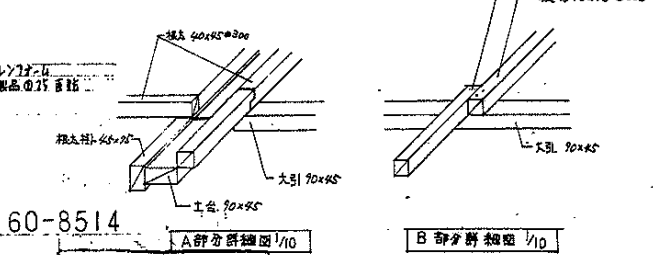
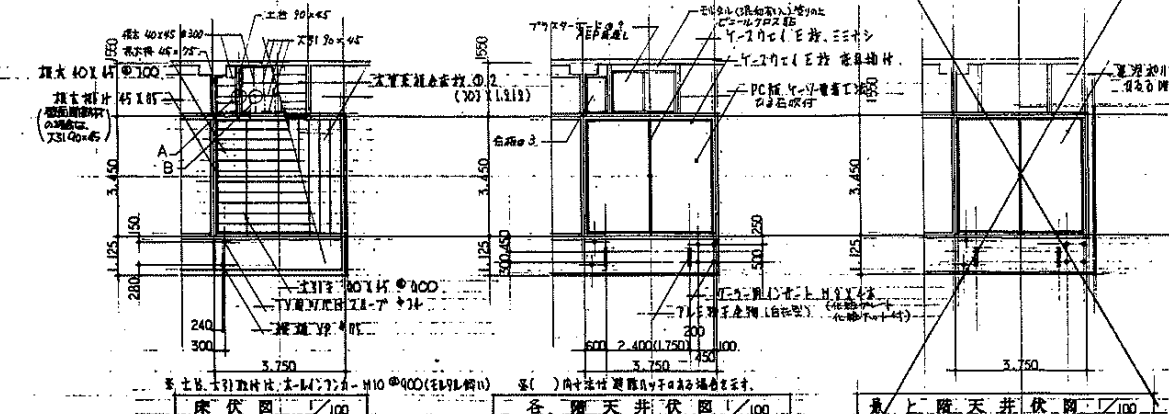
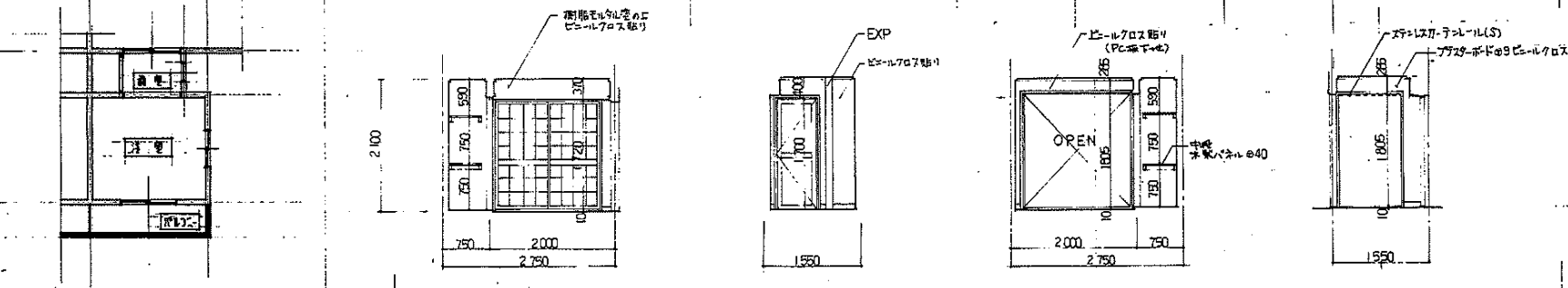
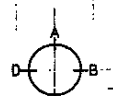
設計者	近藤設計事務所	設計者	近藤設計事務所
図面名称	住宅改修工事(第1工区)設計図	縮尺	1/30
図面	平面	設計	愛知県建築部住宅建設課

矩計圖 1/30

展開図 1/50



洋室



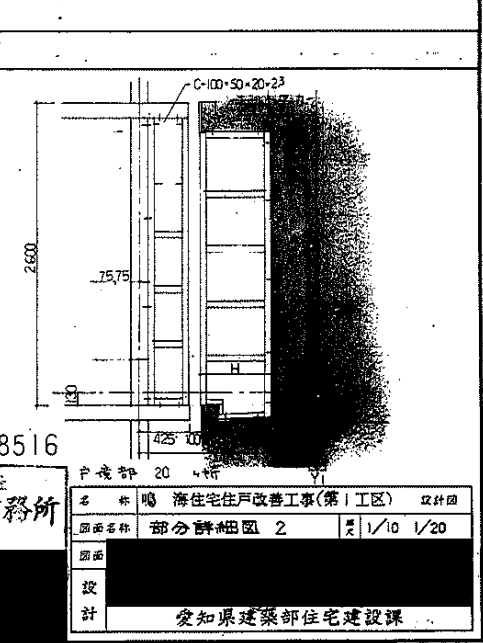
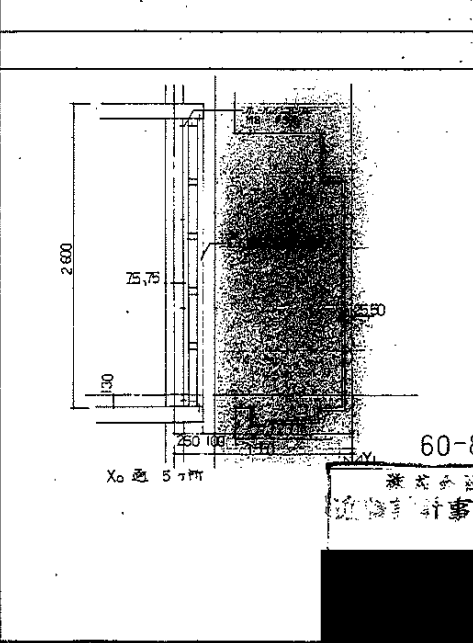
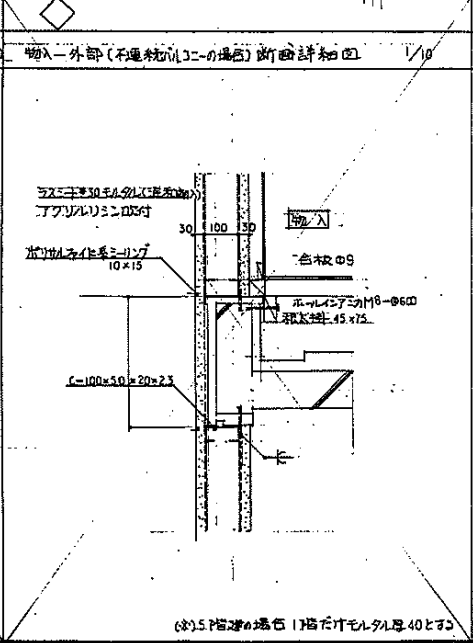
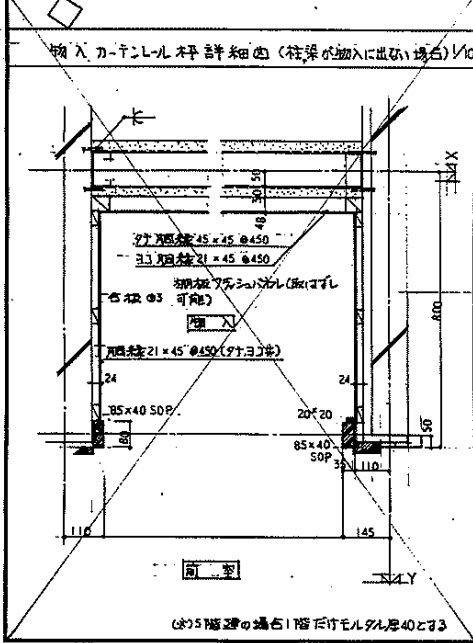
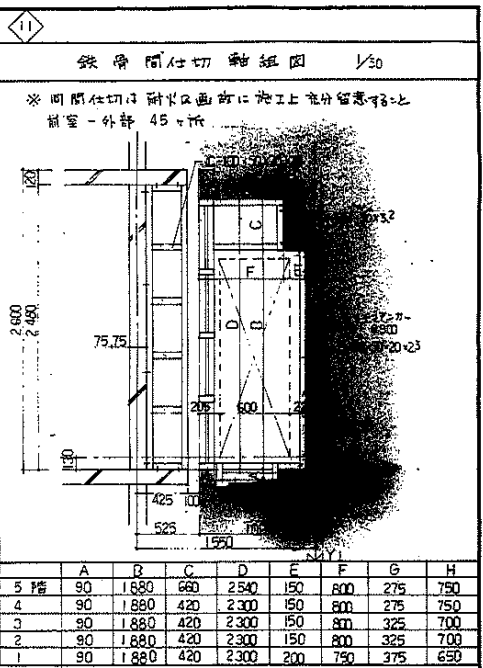
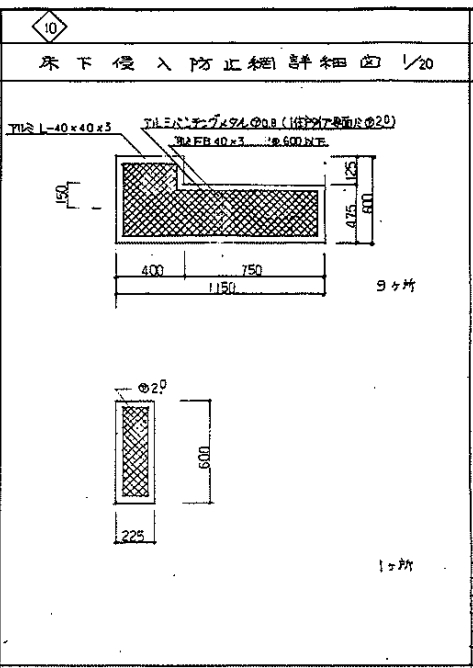
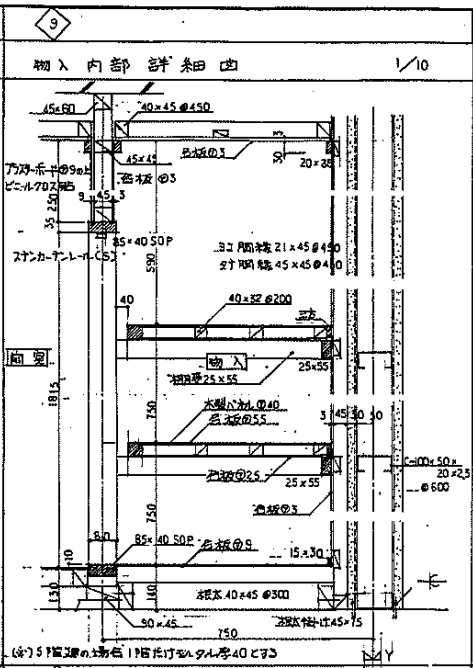
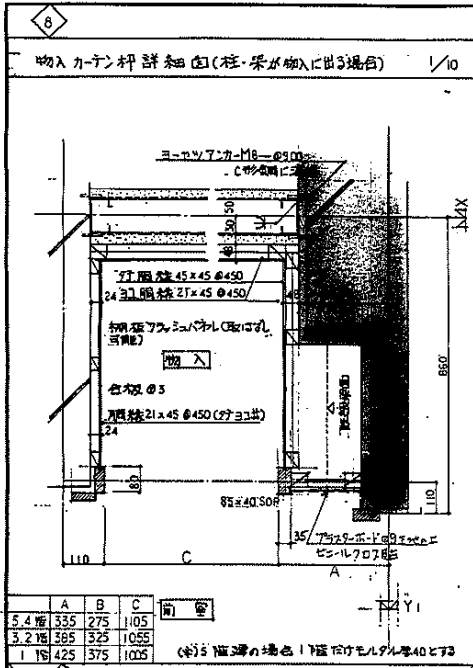
60-8514

株式会社  
近藤設計事務所

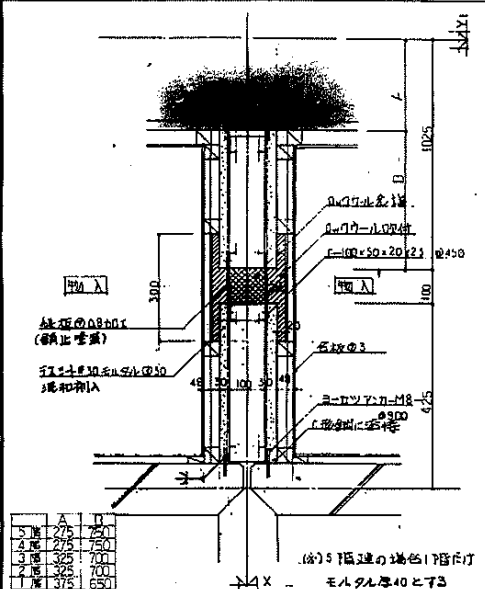
名称	岡山県海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図		
図面名称	展開図, 床伏図, 天井伏図	比例	1/50, 1/100
図面	[Redacted]		
設計	愛知県建築師住宅建設課		



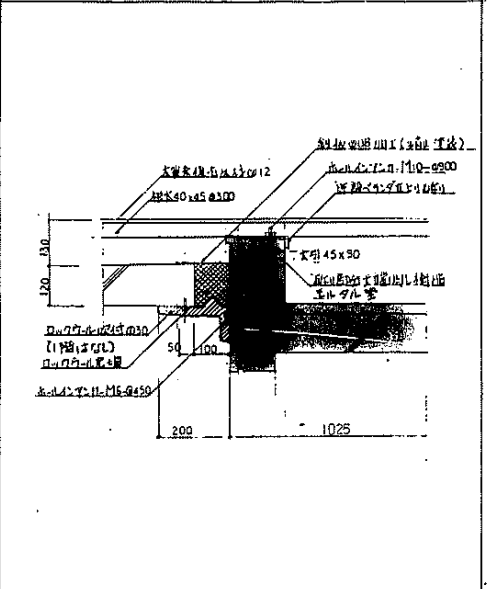




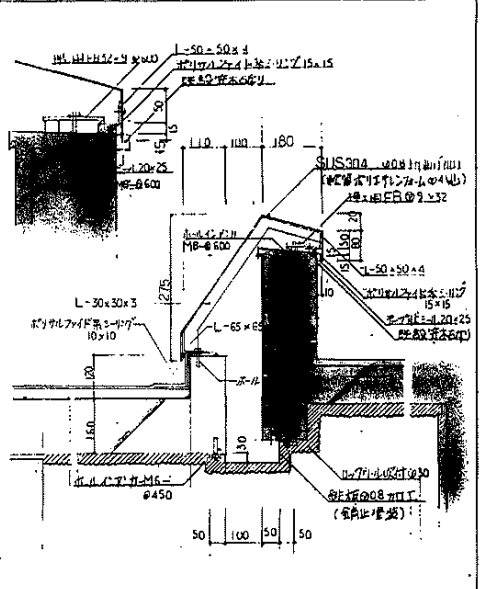
13 物入—物入EXPJ金物詳細図 1/10



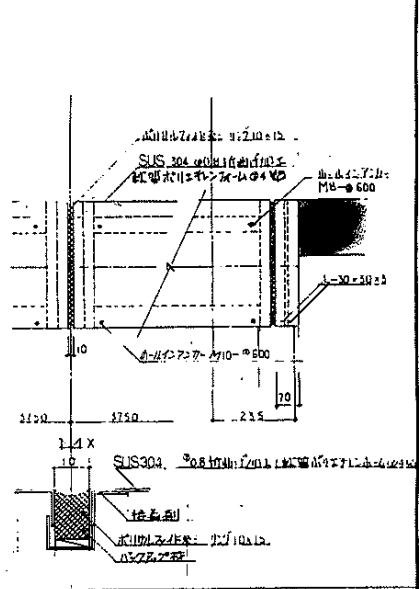
14 床 EXPJ 詳細図 1/10



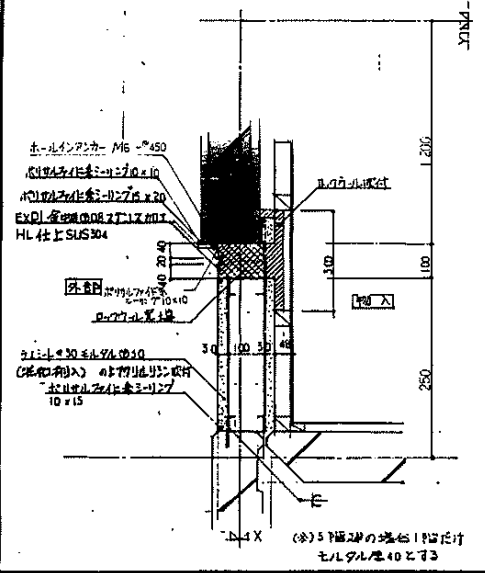
15 屋根部 EXPJ 詳細図 1/10, 1/5



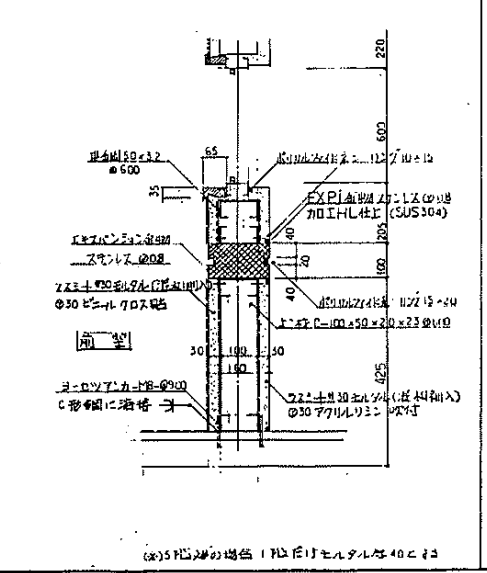
16 屋根ガラス部 EXPJ 詳細図 1/10, 1/5



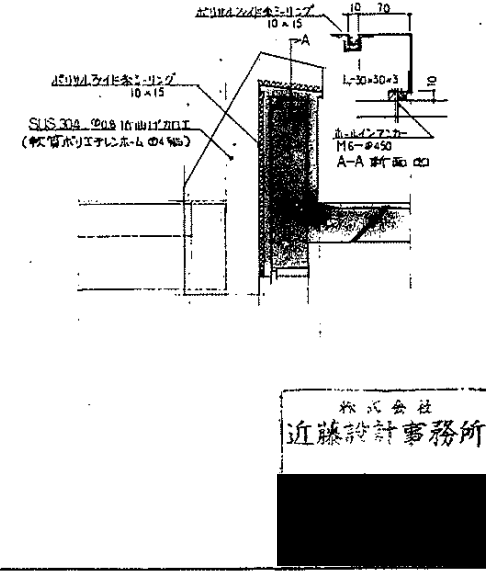
17 外部—物入EXPJ金物詳細図(寄側) 1/10



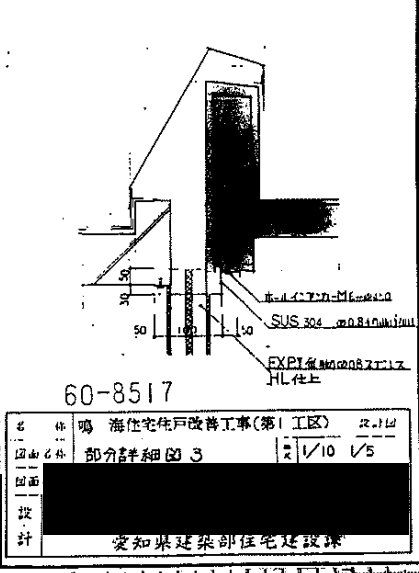
18 前窓—外部EXPJ金物詳細図 1/10



19 屋根EXPJ金物詳細図 1/10, 1/5



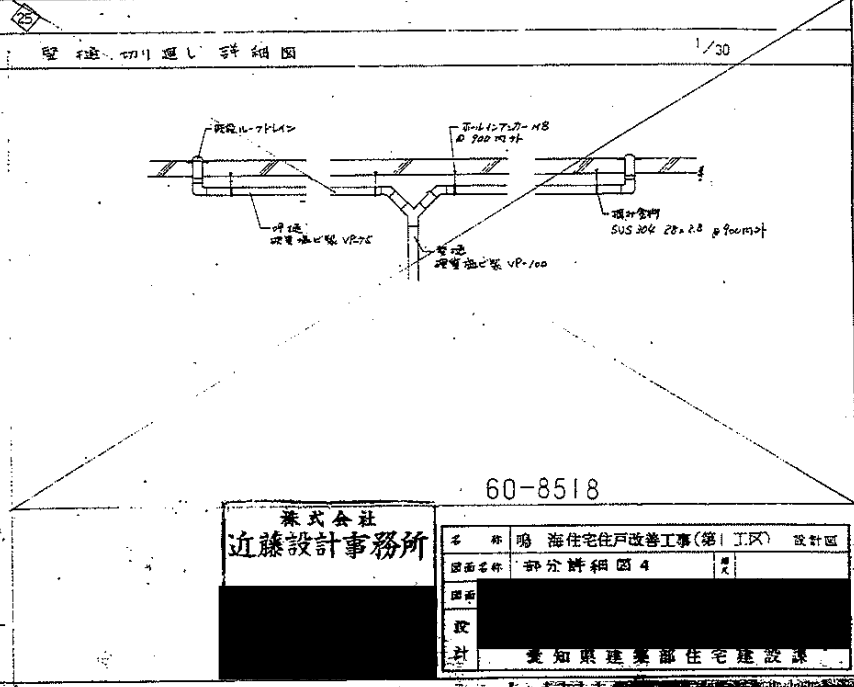
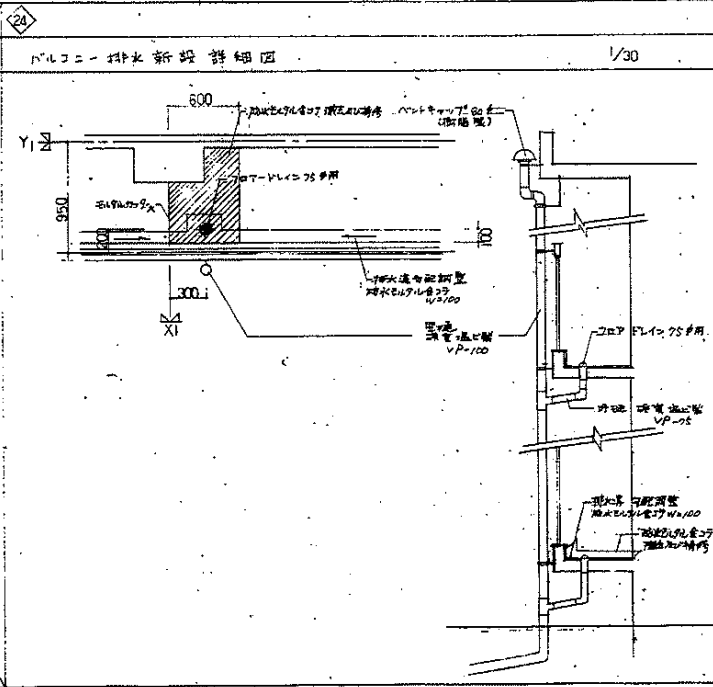
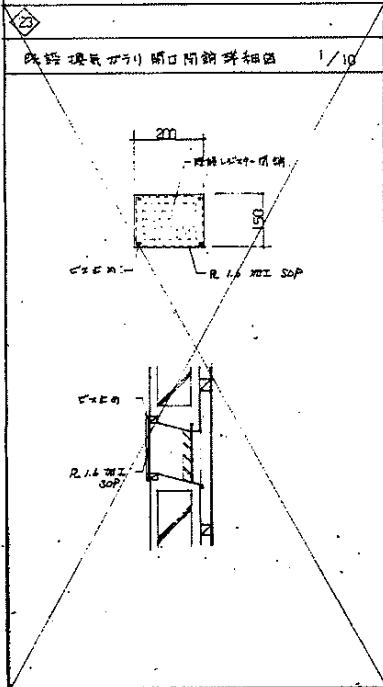
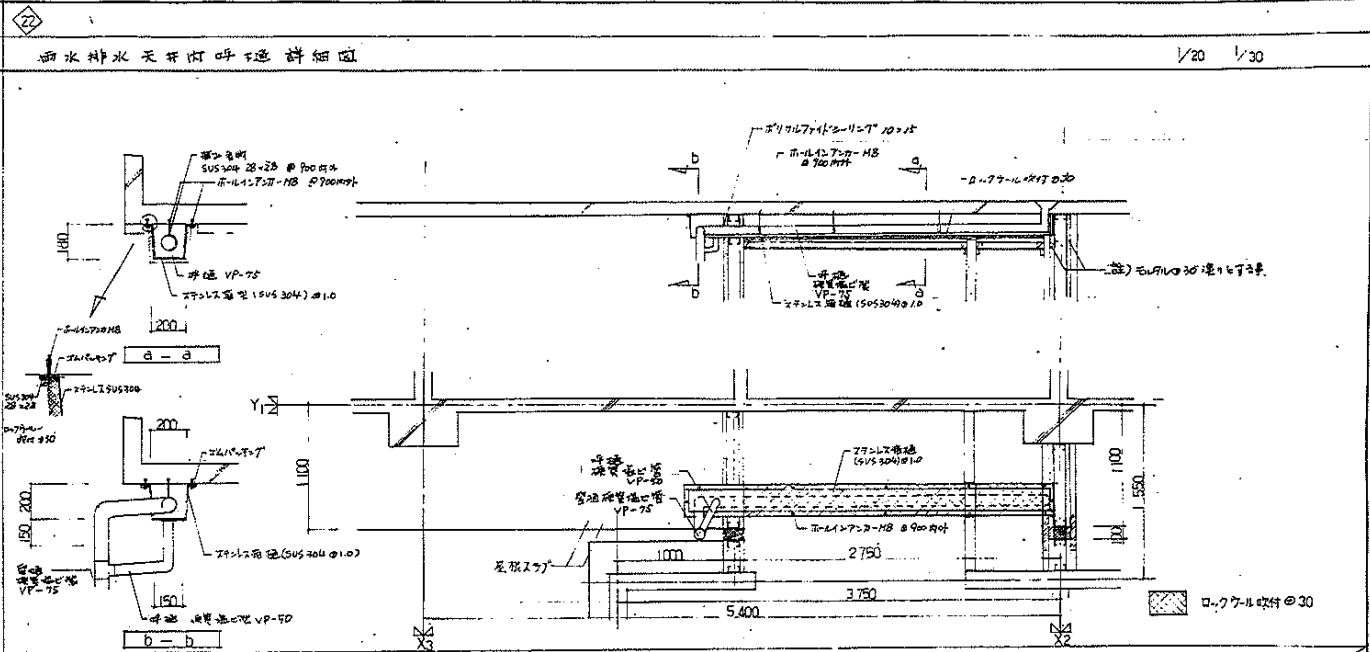
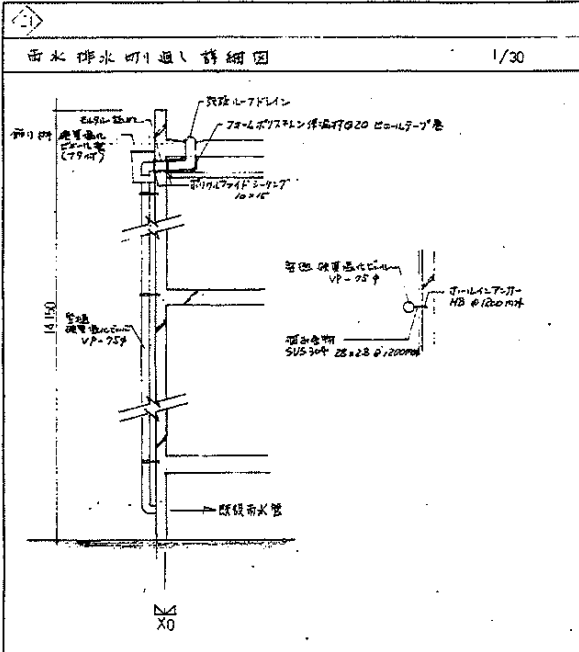
20 屋根部EXPJ金物詳細図 1/10



株式会社  
近藤設計事務所

60-8517

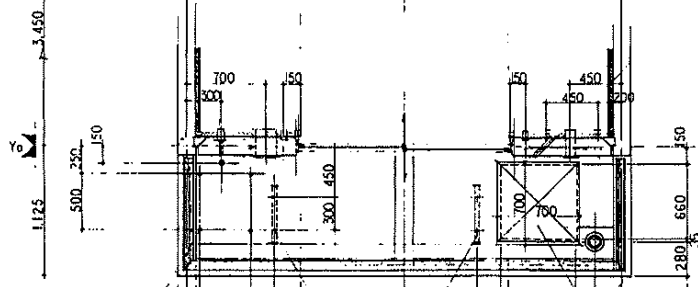
名称	鳴海住宅戸改善工事(第1工区)	2.11.14
図面名称	部材詳細図 3	2/10 1/5
図面		
設計	安知果建築部住宅建築課	



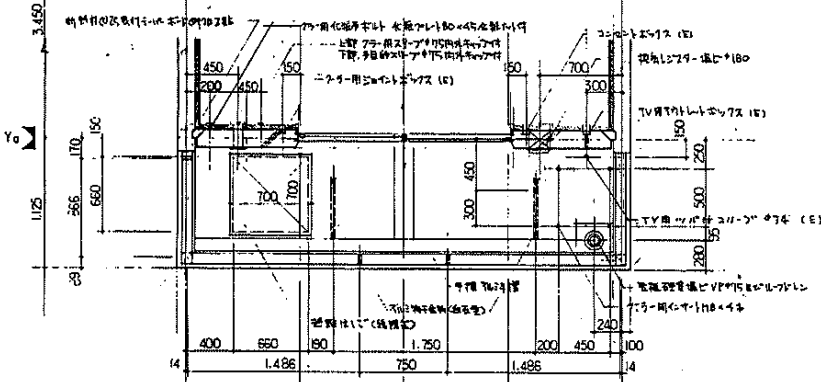
60-8518

株式会社  
近藤設計事務所

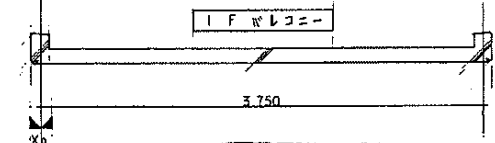
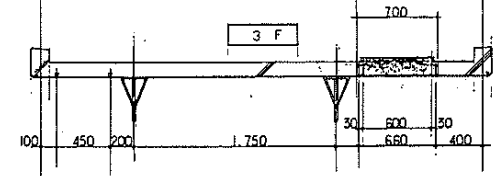
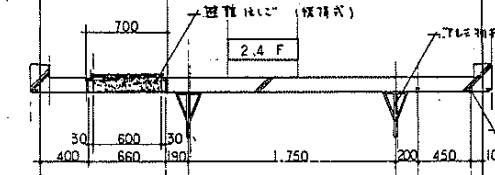
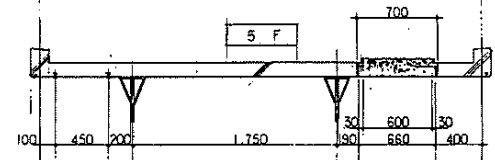
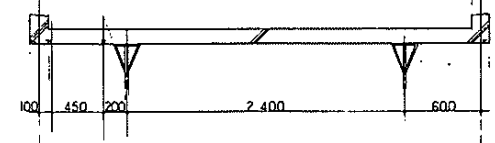
名称	鳴海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図		
図面名称	部分詳細図4	頁	
図号			
設計	愛知県建築部住宅建設課		



3.5階平面図 1/30



2.4階平面図 1/30

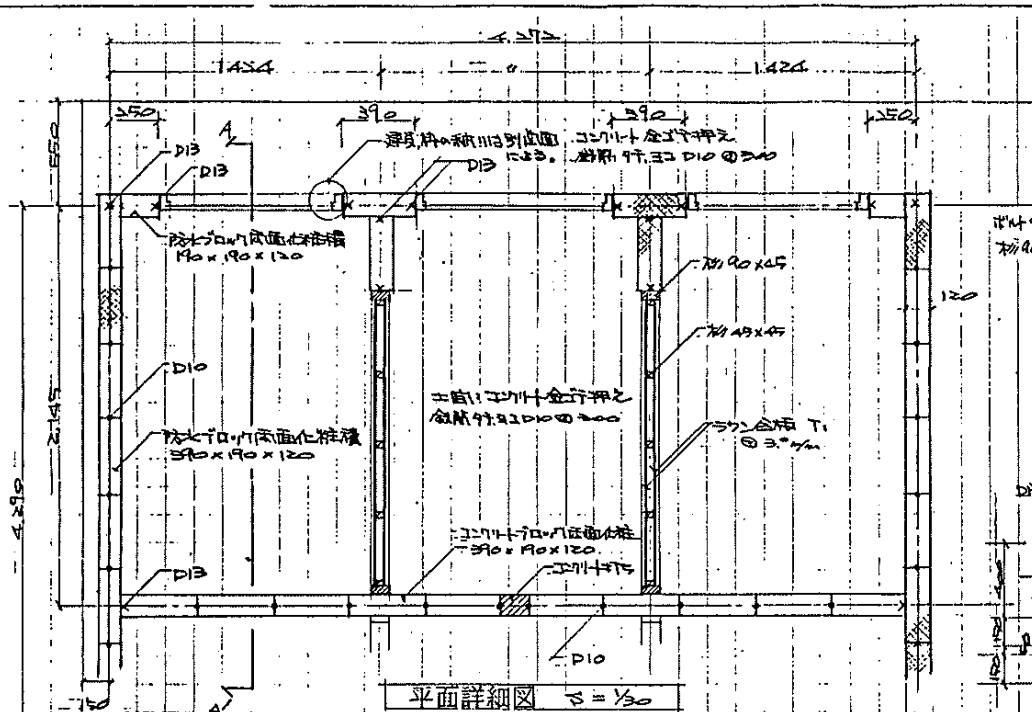


バルコニー断面図 1/30

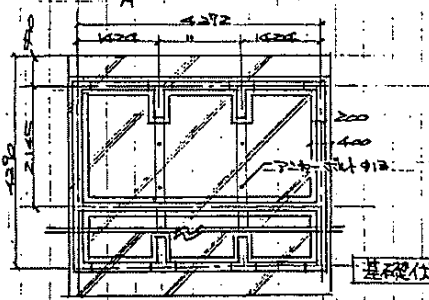
株式会社  
近藤設計事務所

60-8519

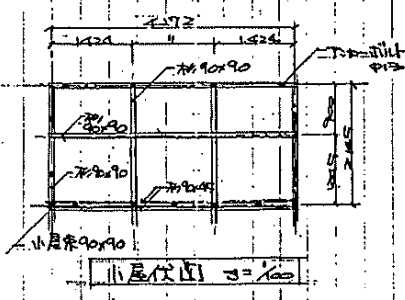
名称	鳴海住宅住戸改修工事(第1工区)		
図面名称	バルコニー平面図、バルコニー断面図	図尺	1/30
図面	[Redacted]		
設計	[Redacted]		
設計	愛知県建築部住宅建設課		



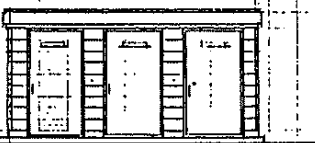
平面詳細図 S = 1/30



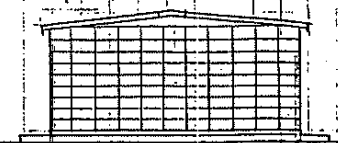
基礎伏図 S = 1/100



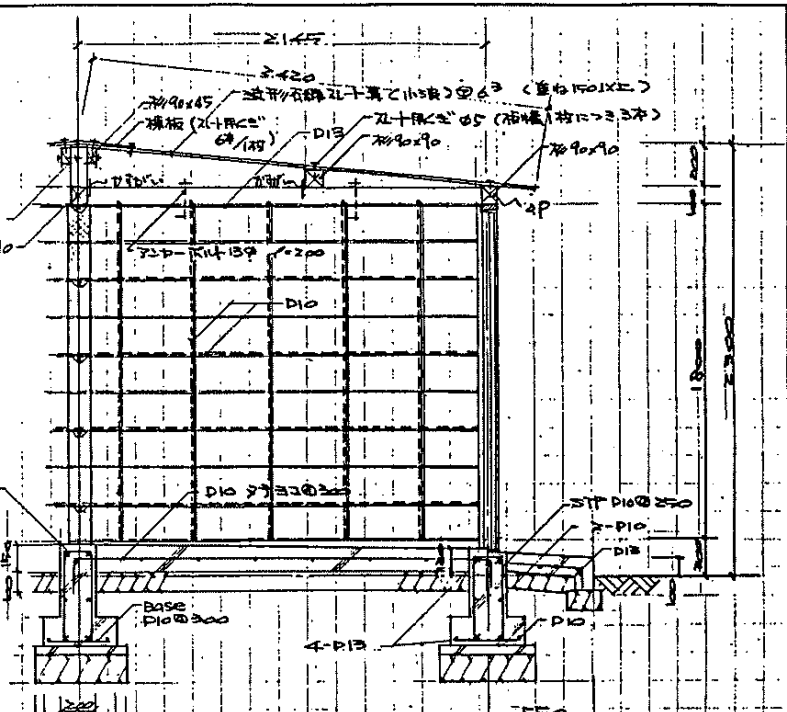
小屋伏図 S = 1/100



南北立面図 S = 1/100



東西立面図 S = 1/100



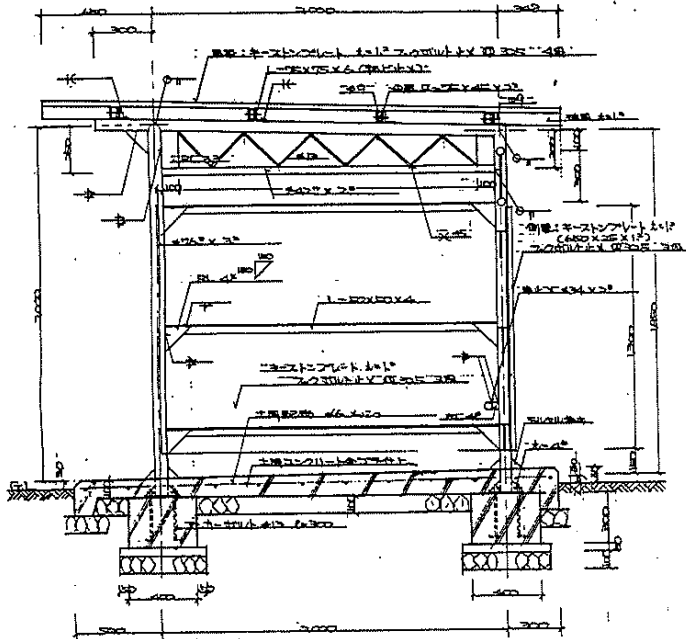
断面詳細図 (A-A) S = 1/30

特記事項

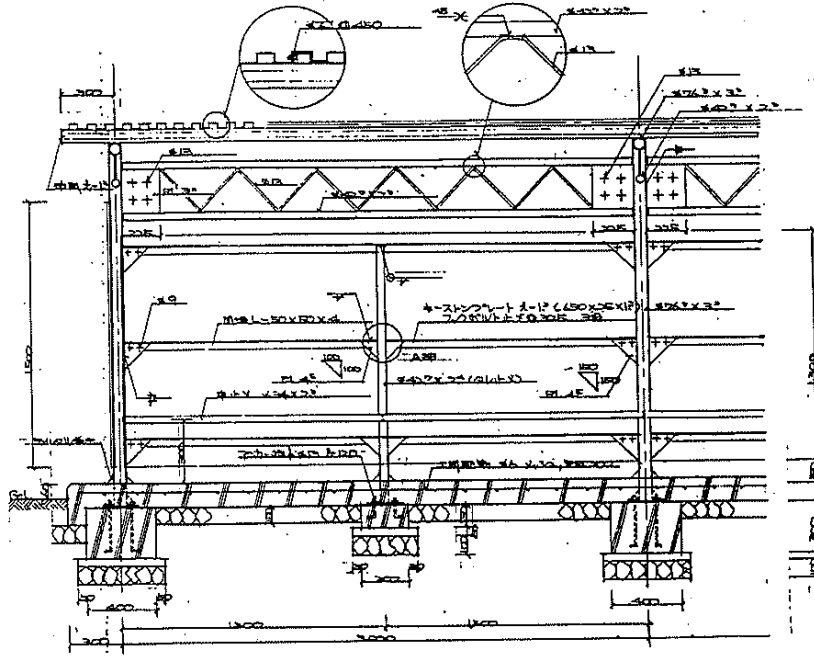
1. 鉄筋の垂れ筋手及び定着の長さ等は 10d とする。鉄筋には継ぎ手は設けてはならない。
2. 壁等の目地および窓枠部分等に使用するセメントは、公認圧縮強度 25kg/cm<sup>2</sup> 以上許容率強度は、180kg/cm<sup>2</sup> 以上とする。
3. コンクリート、70mm に換する不評は、防塵剤入りとする。

60-8520

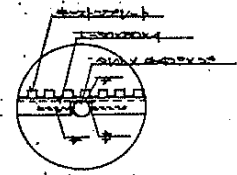
名称	鳴海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図		
図面名称	撤去物量詳細図	縮尺	1/30 1/100
図面	[Redacted]		
設計	[Redacted]		
計	愛知県建築部住宅建設課		



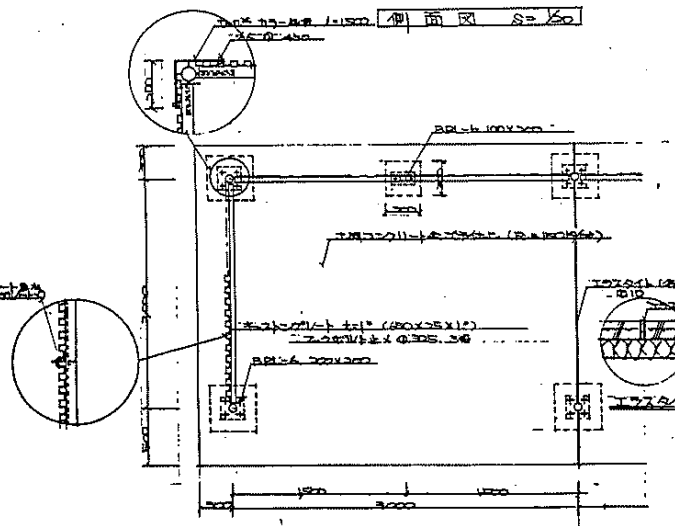
側面図  $s=1/50$



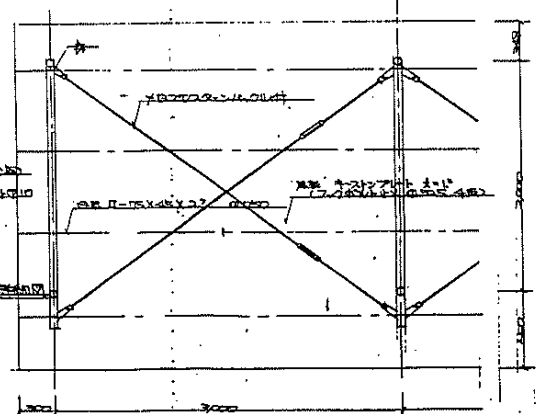
正面図  $s=1/50$



二入部詳細図



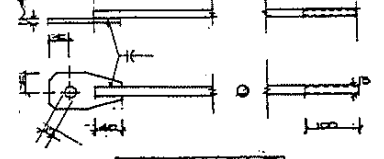
平面図  $s=1/50$



トラス部詳細図  $s=1/50$

特記仕様

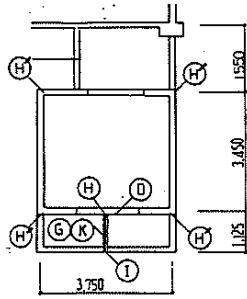
1. 鉄骨止り止り上OPD図面(1/100)とす。
2. 鋼材小口は凡てスミカット。
3. 鋼材継ぎの明記がない場合は、全てマフ溶接継ぎとする。
4. 鋼材小口は、凡てスミカットとする。ニキーストンは、凡て切断す。



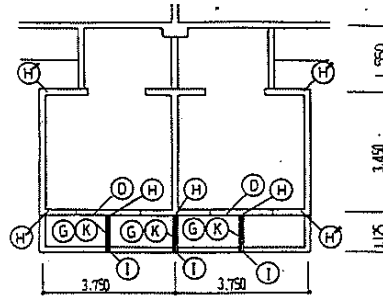
キーストックIV部詳細図

株式会社 近藤設計事務所		60-8521
名	鳴 海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図	
図面名称	自転車庫場 詳細図	1/20 1/30
図王		
設計		
監計	愛知県建築士会 登録	

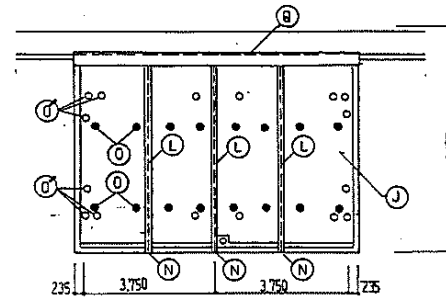




一般取部分 (1住タイプ)



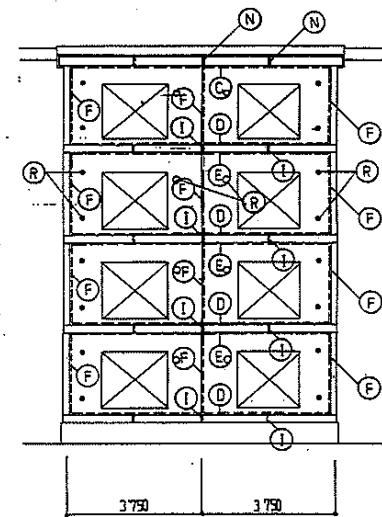
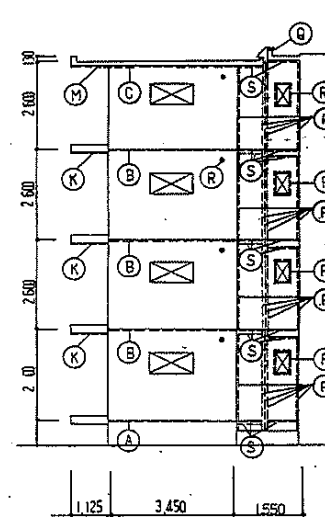
一般取部分 (2住タイプ)



屋根部分

各工法防水仕様表

防水箇所		材料	符号	備考
外壁	水平シイト目地	空平防水モルタル塗布	A	20 × 10
	一般	目地ボップアア材上、ポリサルファイド系シーリング	B	シーリング 15 × 20
	屋根	ボップアア材上、ポリサルファイド系シーリング	C	10 × 10
	バルコニー 上部	チーフ状シート材上、ポリサルファイド系シーリング	D	シート 25 × 25
	下部	ポリサルファイド系シーリング	E	16 × 10
	垂直シイト目地	ボップアア材上、ポリサルファイド系シーリング	F	シーリング 16 × 10
	コーナー部(フランジ)	ゴムアスアラスシート	H	200 × 200
バルコニー	シイト目地	冷工法ゴムアスモルタル、ポリエチレン不織布挿入	G	W=140
	取	ゴムアスアラスシート	H	200 × 200
	先端	ポリサルファイド系シーリング	I	20 × 10
	バルコニー上取部目地	ポリサルファイド系シーリング	K	20 × 10
	アルミ手すり支柱廻り	ポリサルファイド系シーリング	L	10 × 10
屋根	屋根板	冷工法ゴムアスモルタル、ポリエチレン不織布挿入	L	W=200
	屋根平面	冷工法ゴムアスモルタル、ポリエチレン不織布挿入 ゴムアス重膜防水材、断熱材	J	ポリエチレン不織布:60% 断熱材:ポリイソシアヌレート②25
	屋根上取部	目地	M	20 × 10
	屋根取部	ポリサルファイド系シーリング	N	20 × 10
	吊りフック部	冷工法ゴムアスモルタル、ポリエチレン不織布挿入	O	250 <sup>R</sup>
	シイト部屋根	同上	P	防水層は倍る
エキスパンション	外壁(梁壁・一般)	ポリサルファイド系シーリング	P	EXP. J 詳細図に倍る
	屋根・空木	同上	Q	同上
透気膜	(防水膜以外、透気膜)	同上	R	10 × 10
	外壁モルタル	同上	S	10 × 10
冷工法ゴムアスモルタル		ハル P. C コート (A, B) 同等以上。性能を向上する製品とする		
チーフ状シート		ゴムアスファルト系 (ハル P. C モール同等品) を使用する		
ボップアア材		水圧、凍結、変形、水漏れ防止に同等以上の、それ以上の、樹脂エポキシ、モルタルに劣らないものとする		
ポリサルファイド系		ワンステップモルタル同等以上。性能を向上する製品とする		
ゴムアスアラスシート		ハル P. C モールと同等以上。性能を向上する製品とする		
ポリエチレン不織布		ハル P. C マットと同等以上。性能を向上する製品とする		
ゴムアス重膜防水材		GBR ハルコートと同等以上。性能を向上する製品とする		
断熱材②25		ポリイソシアヌレート (ハンCKフォーム同等品) を使用する		



株式会社  
近藤設計事務所

60-8522

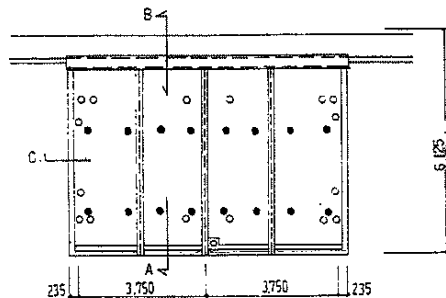
名称 海住宅住戸改善工事(第1丁区) 12.24回

図面名称 防水図り詳細図 1

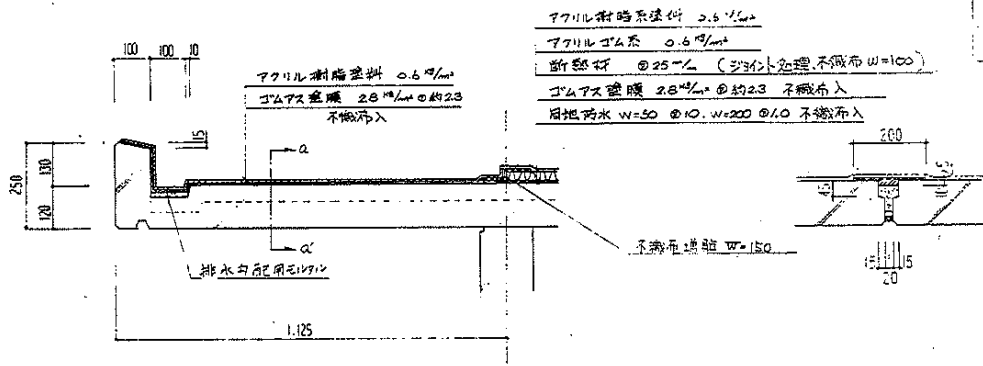
図面:

設計

愛知県建築士会 建築士会

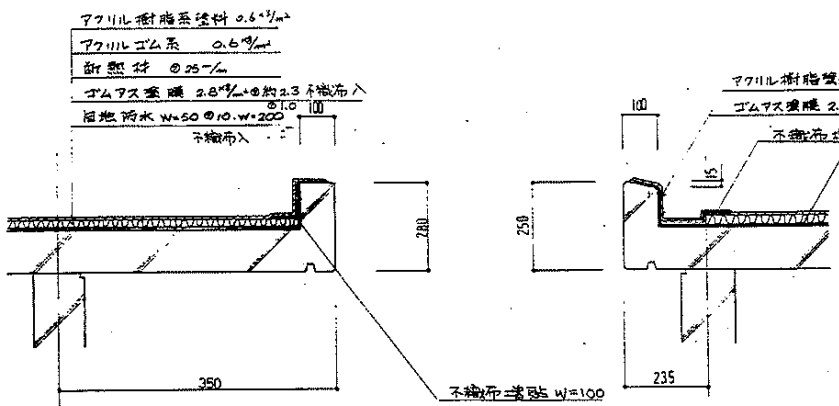


屋根部分



バルコニー側 A断面図 1:10

A-A' 断面図 1:10



既設側 B断面図 1:10

書側 C断面図 1:10

アクリル樹脂系塗料 0.6<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup>  
 アクリルゴム系 0.6<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup>  
 断熱材 @25<sup>mm</sup> (ジョイント処理不織布 W=100)  
 ゴムアス巻膜 2.8<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup> @約2.3 不織布入  
 目地防水 W=50 @10. W=200 @1.0 不織布入

アクリル樹脂系塗料 0.6<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup>  
 アクリルゴム系 0.6<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup>  
 断熱材 @25<sup>mm</sup>  
 ゴムアス巻膜 2.8<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup> @約2.3 不織布入  
 目地防水 W=50 @10. W=200 @1.0 不織布入

アクリル樹脂系塗料 0.6<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup>  
 アクリルゴム系 0.6<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup>  
 断熱材 @25<sup>mm</sup>  
 ゴムアス巻膜 2.8<sup>kg</sup>/m<sup>2</sup> @約2.3 不織布入  
 目地防水 W=50 @10. W=200 @1.0 不織布入

冷工法防水材料仕様

目地防水	冷工法ゴムアスロール材、ポリエステル不織布挿入
ゴムアス巻膜防水	冷工法ゴムアスロール材、ポリエステル不織布挿入 ゴムアス巻膜防水材
断熱材	ポリエチレンフォーム @25
保護防水塗料	アクリルゴム系巻膜防水材、アクリル樹脂系塗料
冷工法ゴムアスロール材	ハルP.Cコート(A,B)同等以上の性能を有する製品とする
ポリエステル不織布	ハルP.Cマートと同等以上の性能を有する製品とする
ゴムアス巻膜防水材	JSRハルコートと同等以上の性能を有する製品とする
断熱材 @25	ポリエチレンフォーム(パネックフォーム同等品)を使用する
アクリルゴム系巻膜防水材	TONコートと同等以上の性能を有する製品とする
アクリル樹脂系塗料	パンカラトップと同等以上の性能を有する製品とする

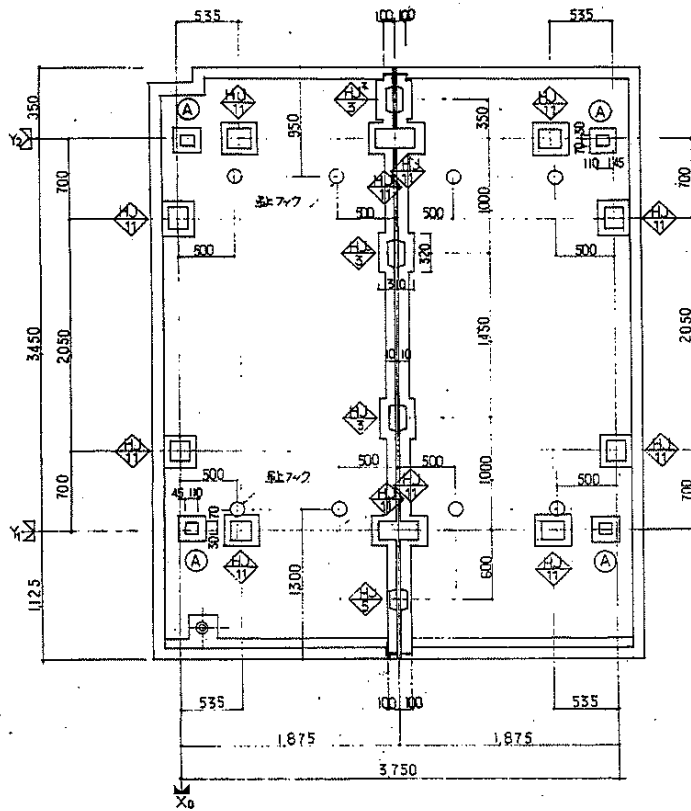
株式会社  
 近藤設計事務所

60-8523

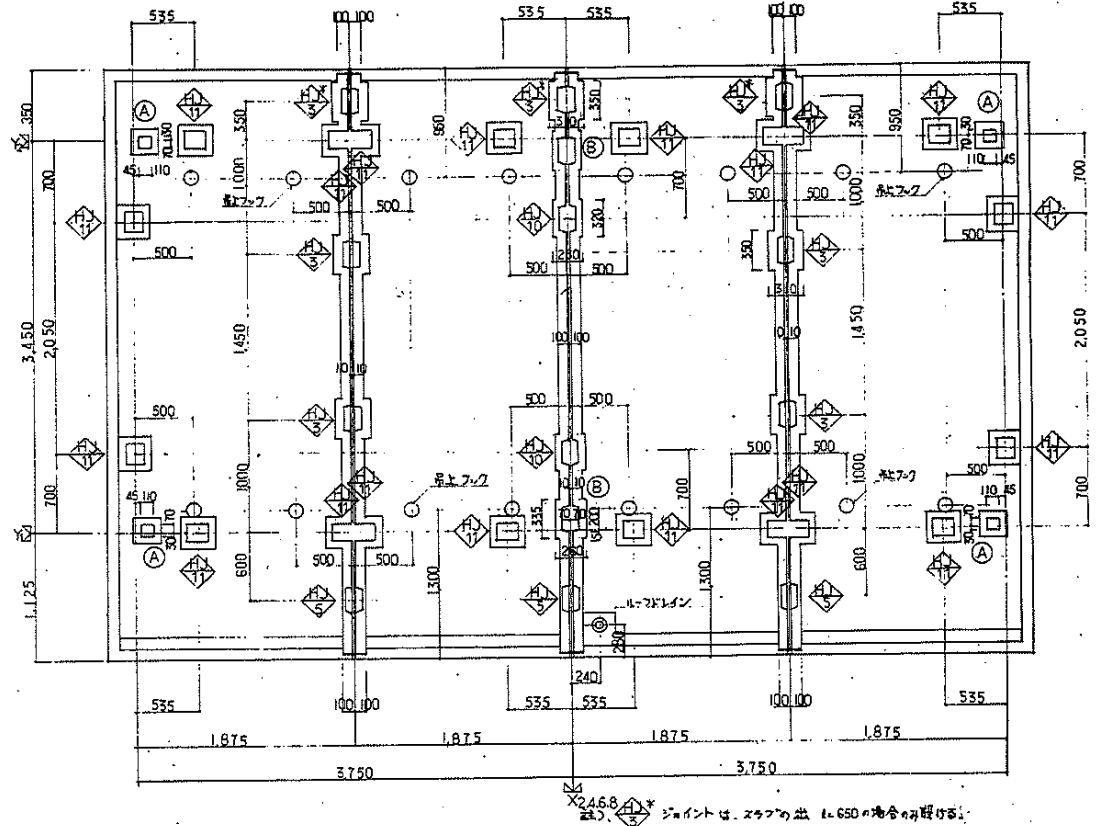
名称	海住宅住戸改善工事業(第1工区) 設計図	
図面名称	防水廻り詳細図 2	
図面		
設計	愛知県建築師住宅建設	



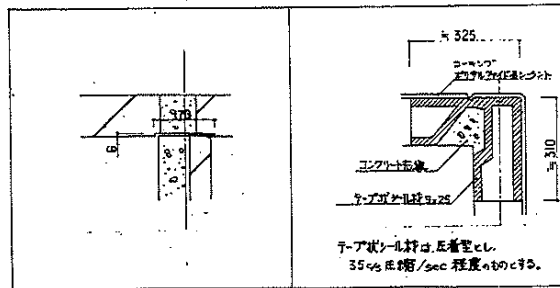
1 住戸棟屋根防水詳細図 1:30



2 住戸棟屋根防水詳細図 1:30



屋根板厚込りの敷瓦シート鋼釘図 1:10



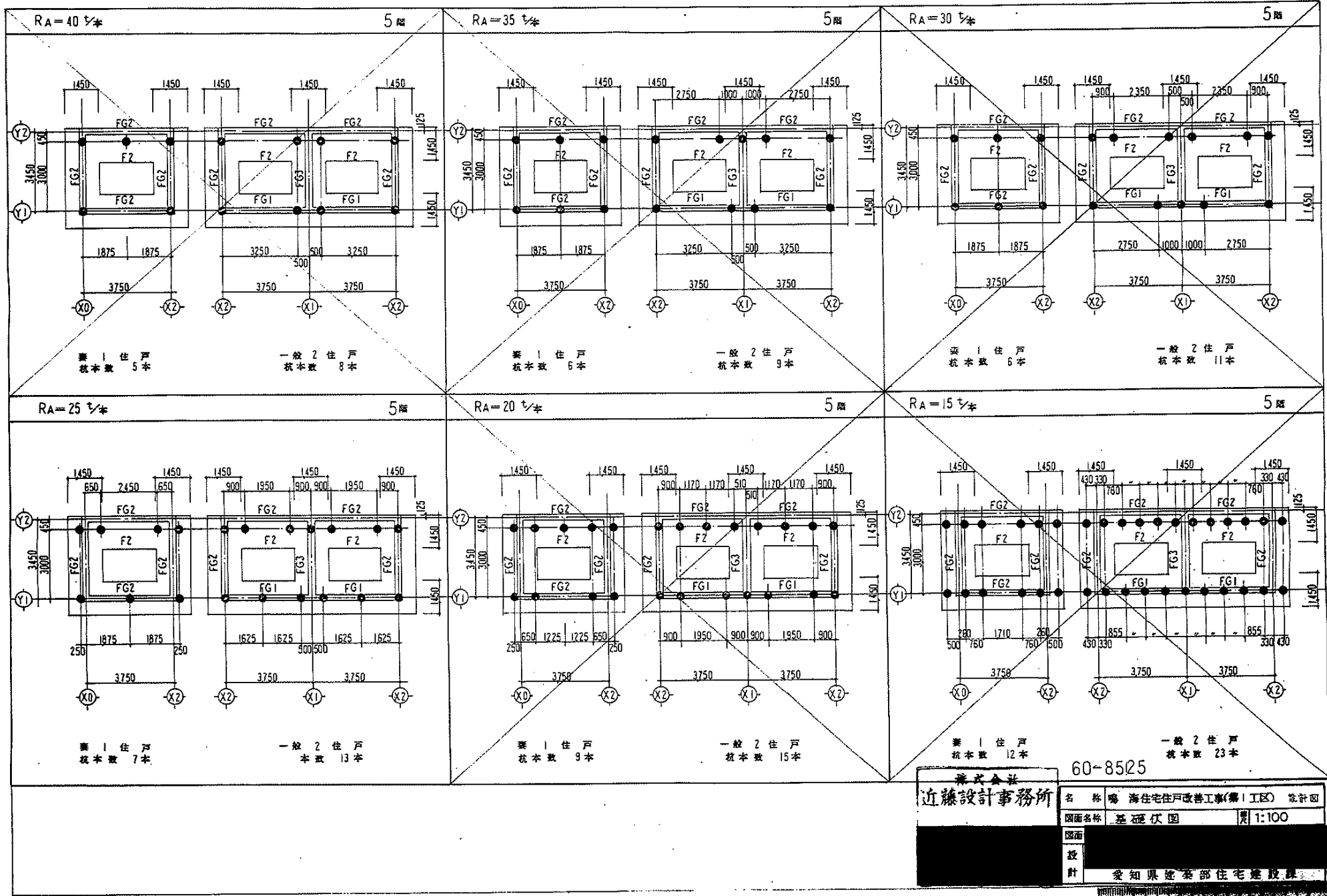
防水表

工号-番号	築可法	防水可法
HJ 3	230 x 190	350 x 210
HJ 5		
HJ 10	200 x 140	320 x 260
HJ 11	180 x 160	300 x 280
A	100 x 110	220 x 230
B	215 x 140	335 x 260
吊上フワフ		φ 250

株式会社  
近藤設計事務所  
代表取締役 近藤 一夫  
登録番号 30395 次

60-8524

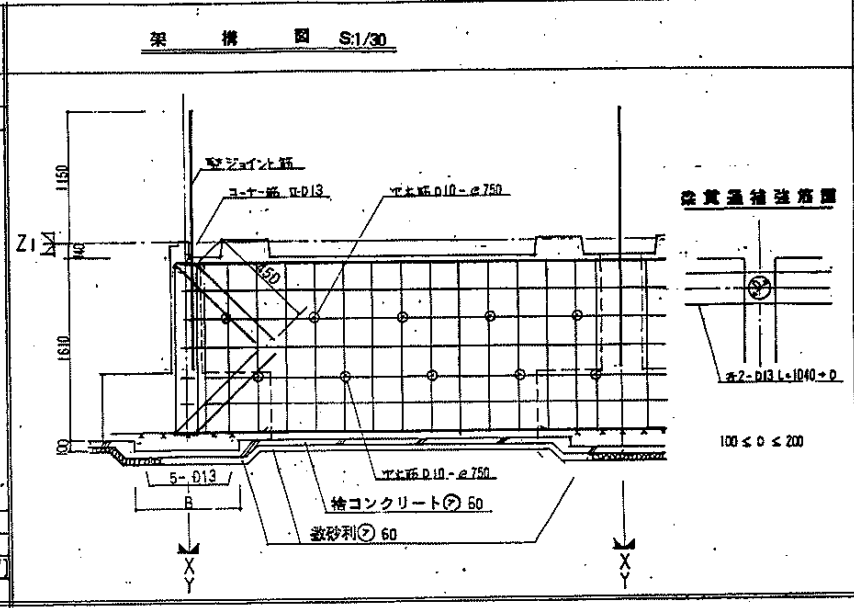
名一 号	海住宅住戸改善工(第1工区) 設計図
図面名称	防水図3詳細図 3 1:30, 1:10
図面	
設計	愛知県建設部住宅課



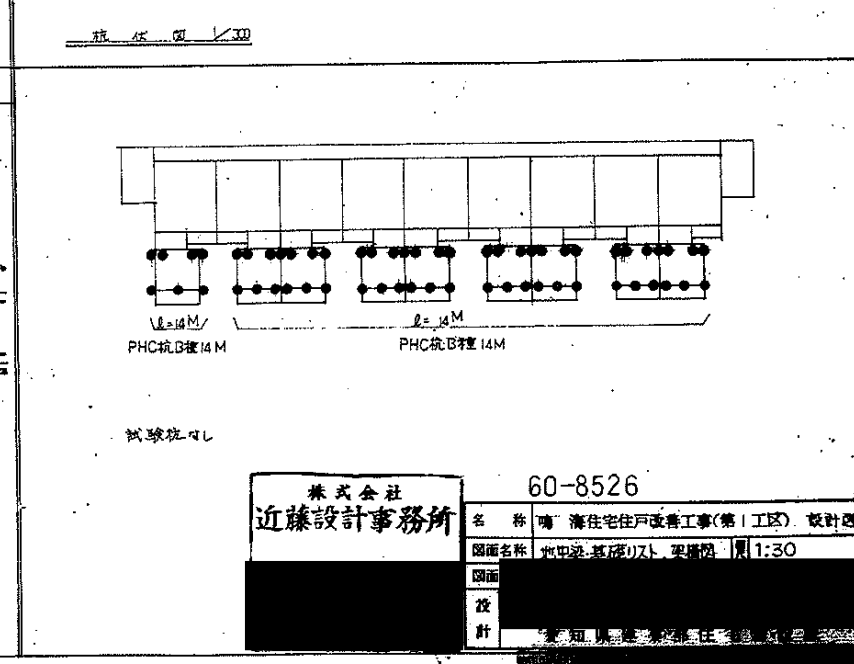
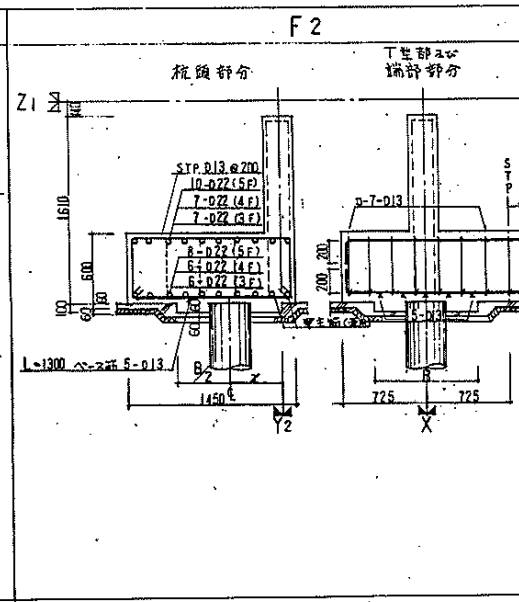
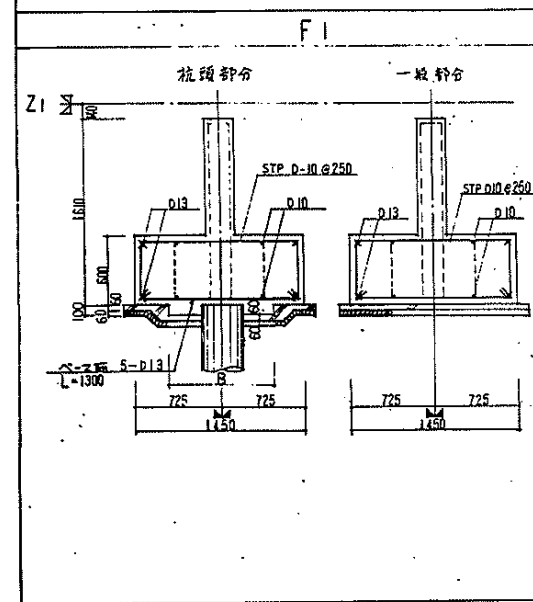
60-8525

株式会社 近藤設計事務所		名称	昭海住宅住戸改善工事(備1工区) 設計図
		図面名称	基礎伏図 1:100
		図面	
		設計	愛知県建築業部住宅建設課

使用材料	地中梁リスト S1/30			
	記号	FG 1	FG 2	FG 3
● コンクリート $F_c = 180 \text{ kg/cm}^2$ ● 挿コンクリート $F_c = 135 \text{ kg/cm}^2$ ● 鉄筋 25 1/本(長鋼) $L = 14 \text{ M} - 59 \text{ 本}$	位置	全断面	全断面	全断面
	断面図			
	上端筋	2 - D19	2 - D22	3 - D22
	下端筋	2 - D19	2 - D22	2 - D22
	S.T.P	D10 - @ 250	D10 - @ 200	D10 - @ 200 (D13 - @ 100)
	腹筋	10 - D10	10 - D10	10 - D10



基礎リスト S1/30	
記号	F1
位置	全断面
断面図	
上端筋	2 - D19
下端筋	2 - D19
S.T.P	D10 - @ 250
腹筋	10 - D10



株式会社  
近藤設計事務所

60-8526

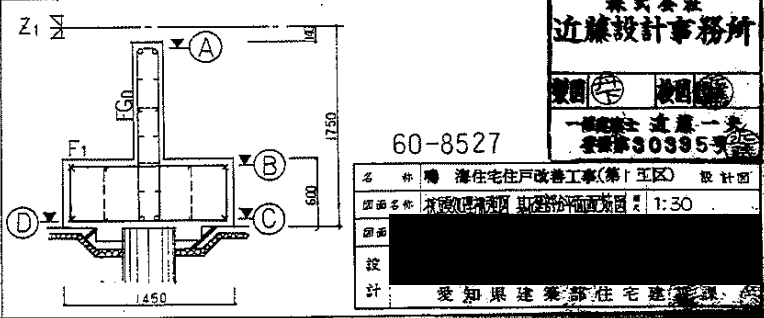
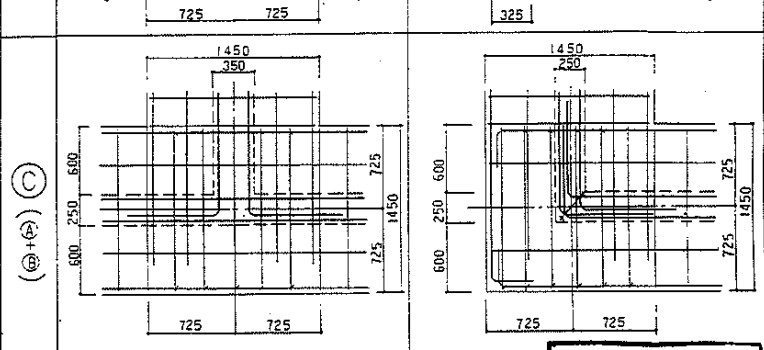
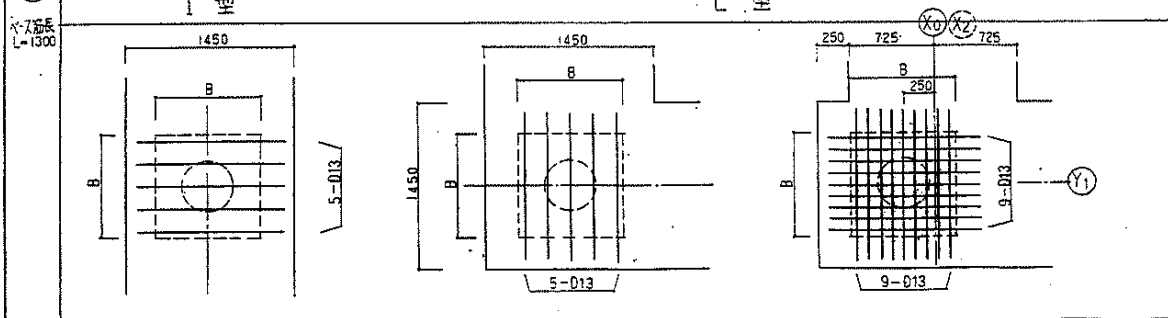
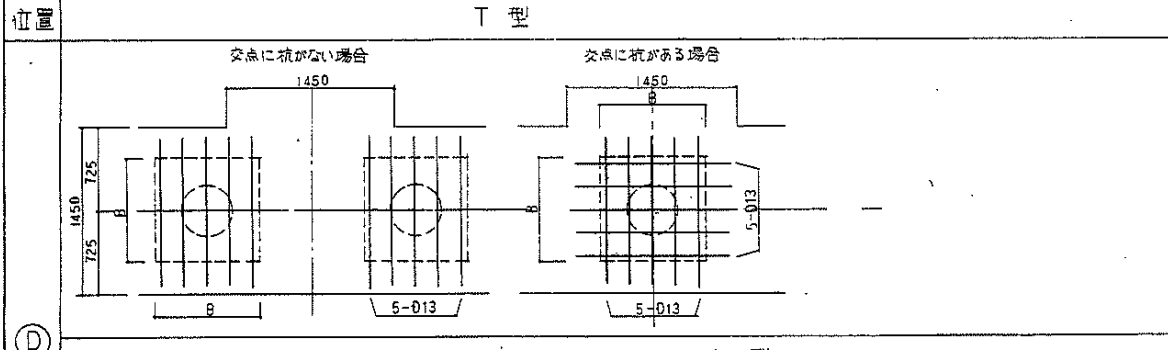
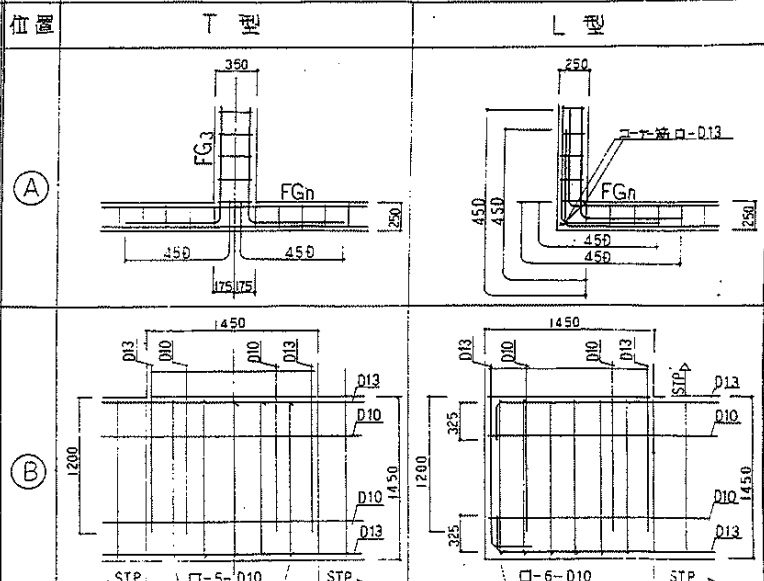
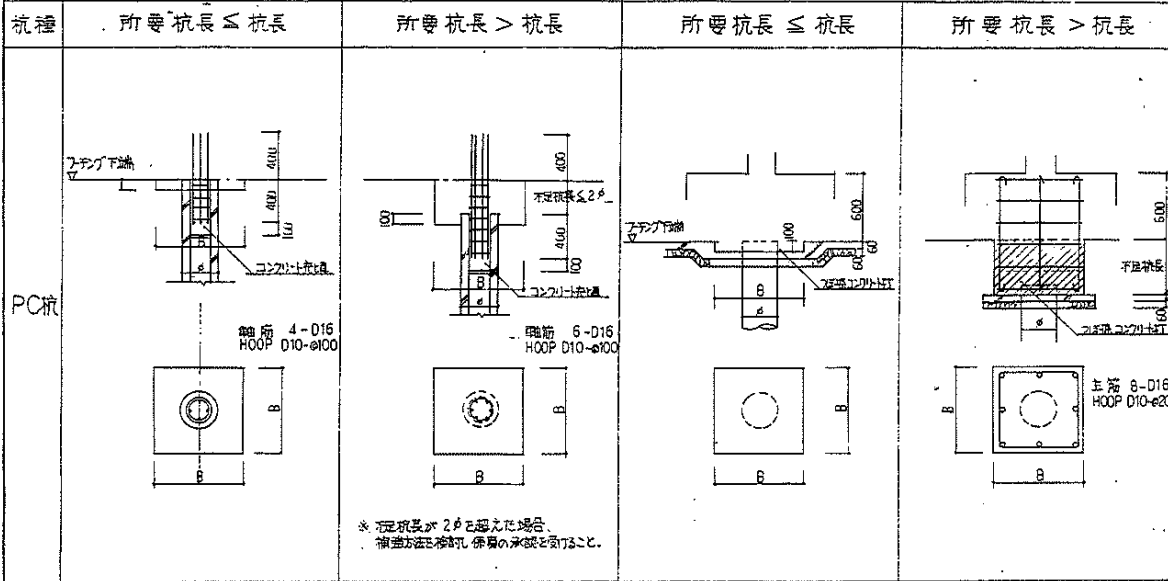
名称	岡山海住宅戸改修工事(第1工区) 設計図
図面名称	地中梁-基礎リスト-架構図 1:30
図面	
設計	

杭頭処理図 1:30

杭頭補強図 1:30

杭径(φ)とベース幅(B)	
300φ	350φ 400φ
B	750 900 1000

F1基礎部分平面配筋図 1:30



株式会社  
近藤設計事務所

代表取締役  
近藤 誠一  
〒466-0395 愛知県豊田市中区

60-8527

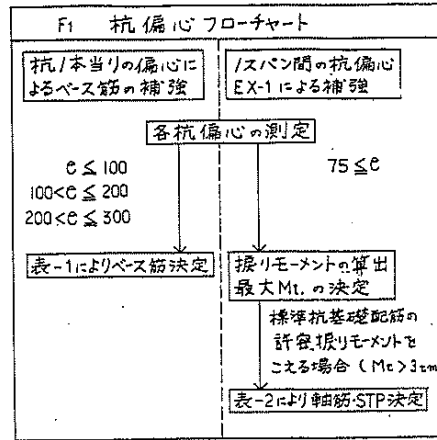
名称	海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図
図面名称	基礎補強部 基礎部分平面配筋図 1:30
図面	
設計	愛知県建築部住宅建築課

F2 (Y2通り) 杭心について

1. 杭偏心は考慮しない。
2. 杭心は杭300φのときY2より250～600間に設定  
杭心は杭350φのときY2より325～600間に設定

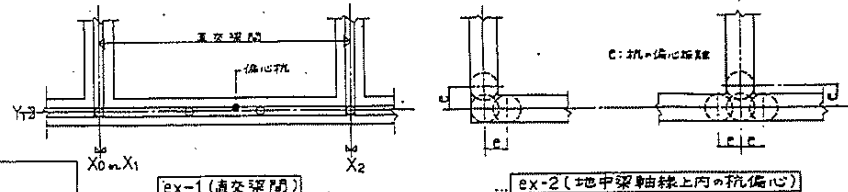
表-1 杭偏心時ベース筋リスト

	$C \leq 100$	$100 < C \leq 200$	$200 < C \leq 300$
40 <sup>t</sup>	5-D13	7-D16	9-D16
35 <sup>t</sup> ・30 <sup>t</sup>	1	6-D16	8-D16
25 <sup>t</sup>	1	7-D13	7-D16
20 <sup>t</sup>	1	6-D13	6-D16
15 <sup>t</sup>	1	5-D13	6-D13



特記事項

- 1) 杭偏心による軸筋及びSTP-□の補強範囲は、その梁の直交梁から直交梁まで(以下直交梁間という)とする。(ex-1)
- 2) 杭偏心による補強は、直交梁間における振りモーメントMt.を算出し、下表を参考に断面の補強を行なう。
- 3) 直交梁間における振りモーメントが、下表の最大許容振りモーメントを超える場合は、原則として直交方向につき梁を設ける。
- 4) 地中梁の軸線上内に杭が偏心しているものは、補強を必要としない。(ex-2)
- 5) 特に検討をする場合は、下表及び上記1)～3)によらないでも良い。
- 6) Y2通りは例外



EX-1 振りモーメントMt.の算出方法

振りモーメントMt.の算出方法を下記の例によって示す。

EX

Me: 各杭による偏心モーメント  
Mt: 振りモーメント  
Ci: 杭iの偏心距離  
RA: 杭耐力(長期)  
L: 直交梁間距離  
li: 杭位置寸法

条件 { RA=25ton/本, CA=17cm, CB=9cm, L=3.75m  
l1=0.9m, l2=1.95m, l3=0.9m }

A杭による振りモーメントの算出をする。  
 $Me = RA \cdot CA = 4.25tm$   
 $Mt1 = Me \cdot \frac{l1}{L} = 3.23tm$   
 $Mt2 = Me - Mt1 = 1.02tm$

B杭による振りモーメントの算出をする。  
 $Me = RA \cdot CB = 2.25tm$   
 $Mt1 = Me \cdot \frac{l2}{L} = 0.54tm$   
 $Mt2 = Me - Mt1 = 1.71tm$

A,B 杭による振りモーメントMtは、これらを重ね合わせればよい。Mt max. = 2.69tm ⇒ 3tm

上記の計算により求めたMt max.により表-2の軸方向筋・ベースSTPを読み「杭基礎共通事項-2」に示す標準配筋より大きい時は、補強を行なう。

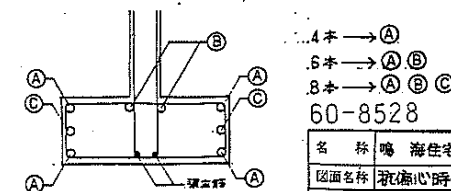
表-2 杭偏心時補強配筋リスト

Mt (tm)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
軸方向筋	4-D13	←	←	4-D16	←	6-D16	←
STP	D10φ250	←	←	←	←	←	←

Mt (tm)	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0
軸方向筋	6-D16	6-D19	←	←	8-D19	←	←
STP	D10φ200	D13φ300	←	D13φ250	←	D13φ200	←

杭偏心による軸方向筋配筋法



株式会社  
近藤設計事務所

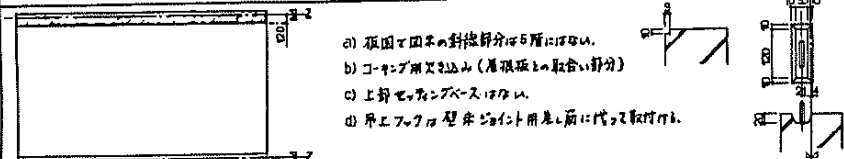
代表取締役 近藤 一夫  
TEL 30395

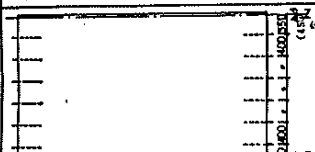
名称 鳴海住宅戸改善工事(第1工区) 設計区  
 図面名称 杭偏心時補強配筋法 図  
 図面  
 設計  
 愛知県建築業部住宅建設課

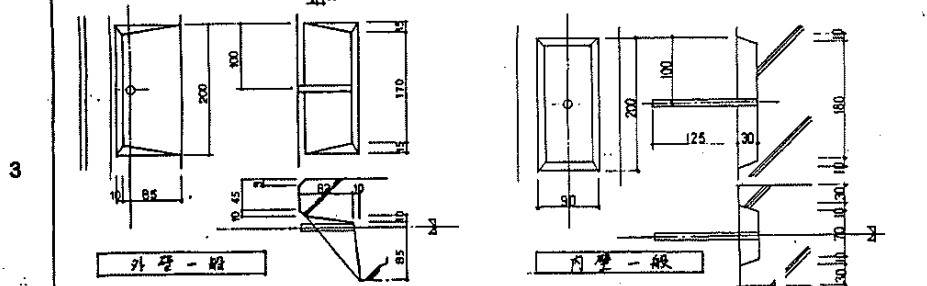
PC板共通事項 1

板形状について

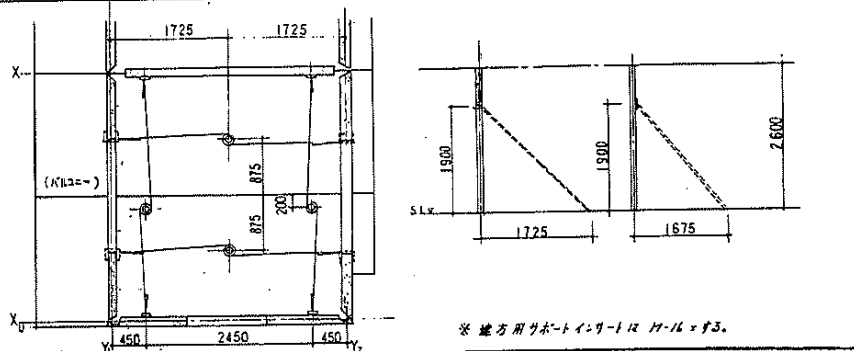
1 壁板共通事項 註. 板端部の形状は、構造・非構造ジョイント図による。  
 a) 内壁 - 板厚は 150% 以上、開口部は面取り (3°×3°) とす。  
 b) 外壁 - 板厚は、150% とす。

2 S 階型壁板共通事項  
  
 a) 板面で図示の斜線部分は5層には使わない。  
 b) コーキング用又は止水 (層間板との取合い部分)  
 c) 上部セパレータは必要。  
 d) 扉上フックは型枠ジョイント用差し面に設置を行う。

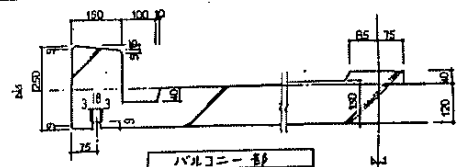
3 ジョイント (壁一般) コーナー詳細 A 及び ジョイント用差し筋について  
  
 ( ) は 175% 程度は 2700mm 程度とする。  
 a) 位置、寸法は左図以下図に依る。(特別の場合に依る)  
 b) 若し壁のみは 15° とし、把は 30° とす。  
 c) 差 (差筋の出) は下図に示す以外、種別による。



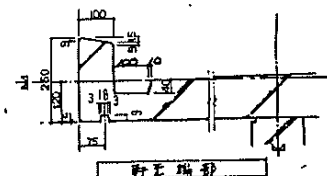
逆方サポート鉄線について



4 2階建～4階建の場合  
 2階建～4階建の場合は5階建、上層2階～4階の壁板を採用し、R.L. 1階壁板の形状及び埋込部品は折降の場合に最下階壁板は1階壁板を使用した。

5 床板共通事項 註. 板端部の形状は、構造・非構造ジョイント図による。  
 a) 板厚は 120% 以上、バルコニー部分については右図に依る。  
 b) バルコニー先端部材の寸法は図 A 及び非構造ジョイント図の床-床組立詳細 (C-) に依る。  


バルコニー部

6 屋根板共通事項 註. 板端部の形状は、構造・非構造ジョイント図による。  
 a) 板厚は 120% 以上、<sup>(12.5M)</sup>160% 以上とする。(板厚参照) ③ 3,450 9170 の場合。  
 b) 屋根板に上層筋上の筋にワイヤメッシュ (32° x 100) を打込む。  
 (屋根板の75% の斜め全面に打ち、量は100% 以上とする。)  
 c) 軒先端部材の寸法は図 A 及び非構造ジョイント図の床-床組立詳細 (C-) による。  


軒先端部

60-8529

名称	昭海住宅住戸改善工事 (第1工区) 設計図		
図面名称	PC板共通事項	1	尺
図示	[Redacted]		
設計	[Redacted]		
設計	愛知県建築部住宅建設課		

挿入用埋込物について

- a) フレット等は、板図 & 先行部図面に依る。
- b) 鉄筋 & 差筋は、板図、先行部品図 & PC板共通事項に依る。

建築用(非構造)埋込物について

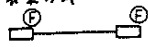
- a) フレット、インサート、フレット等は、板図に依る。

電気・衛生設備配管用について

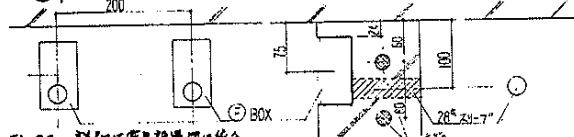
- a) PC板面に表示位置より深さは既記方式とし、ケーブルは2層等径。
- b) 電気配管用ケーブルは、全て、埋管ビニール電線管を使用する。
- c) 給排水衛生用スリーブは、パネル面、電気詳細図 & 先行部品図に依る。

電気設備用ボックス

- a) 表示方式
  - i) 両ボックスは、同一面に取付ける場合、(PC板面に表示位置に取付く)
  - ii) 配管はPC板内埋込。



- i) 壁面上部の電気ボックス(⊕)、埋込は、下記の内径に依る



- b) フレットと表示位置、ボックス・詳細は電気設備図に依る。
- c) 配管は全て埋管強化ビニール電線管とする。(許容埋込深さは、160mm)
- d) ボックスと鉄筋の間隔は15%以上を要する。
- e) 電気用ボックスは、鉄筋と表示位置箇所は、適宜位置を調整する。

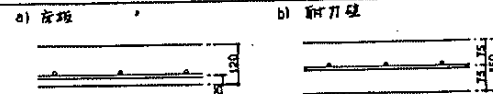
埋込ボックス表		
記号	名称	寸法
⊕	スイッチボックス	102 × 96 × 50
	アウトレットボックス	102 × 102 × 54
	(小判型埋込カバー付)	T-520)

鉄筋の表示記号

表示記号	鉄筋径
◇	9φ又はD10
×	13φ又はD13
○	D16
●	D19
■	D22
●	D25

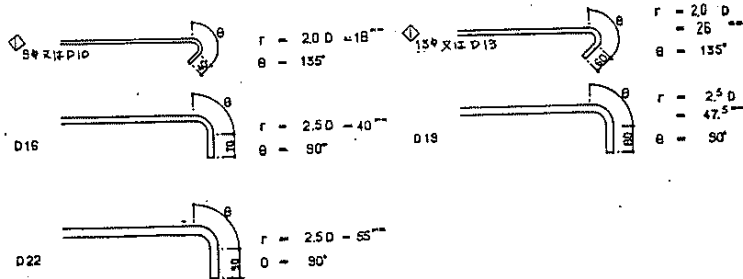
但し30mm筋に付いては丸鋼を使用とする。

鉄筋の加工等



鉄筋端部折り出し

壁板、床板、屋根等、鉄筋面が木質、フック材は、下図の様加工し、端部折りに加工して埋込する。  
長尺鉄筋をフックする場合は、端部、片側埋込とする。その他面は指木に埋込する。



鉄筋の維持

- a) 清掃詳細図に依る。

60-8530

名称	海住宅住戸改善工事(第1工区)設計図
図面名称	PC板共通事項 2
設計	愛知県建設部住宅建設課

15

板内・配筋位置標準位置

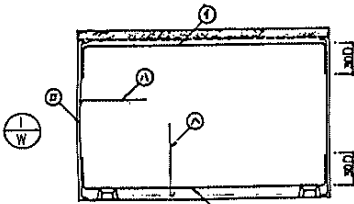
- |              |              |
|--------------|--------------|
| a) 壁 柱       | b) 梁 柱       |
| 1) 柱軸方向主筋    | 1) 主筋        |
| 2) 壁主筋       | 2) 配筋筋       |
| 3) ジョイント下カー筋 | 3) ジョイント上カー筋 |
| 4) 壁筋        | 4) 吊り上りフック筋  |
| 5) 斜筋        | 5) 差レ筋一般     |
| 6) 吊り上りフック筋  |              |
| 7) 差レ筋一般     |              |

上記の位置に準じて、上柱の位置と位置に配筋筋の位置を決定する。

壁内・配筋事項

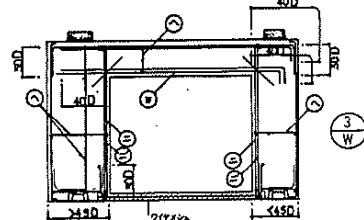
注) "D" 鉄筋径を示す

a) 無開口型



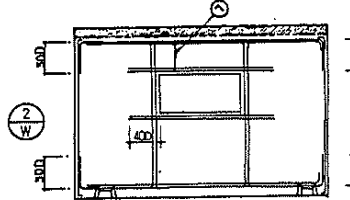
- 1) 鉄筋主筋 - 定着長 30D 以上
- 2) 筋補強筋 (差筋) ①, ② に花す込み距離 25D 以上

b) 門型型



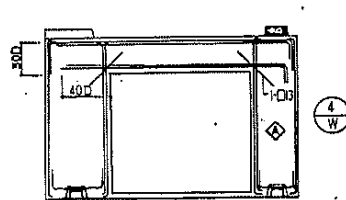
- 1) 壁主筋 - 定着長は 40D 以上
- 2) 斜筋補強筋 - 長さ 80D 以上 (1F 等)
- 3) 筋補強筋 ①, ② 差筋部は筋筋に花す込み距離 25D 以上

c) 口型型



- 1) 鉄筋主筋の定着長は、開口部を考慮して決定する。

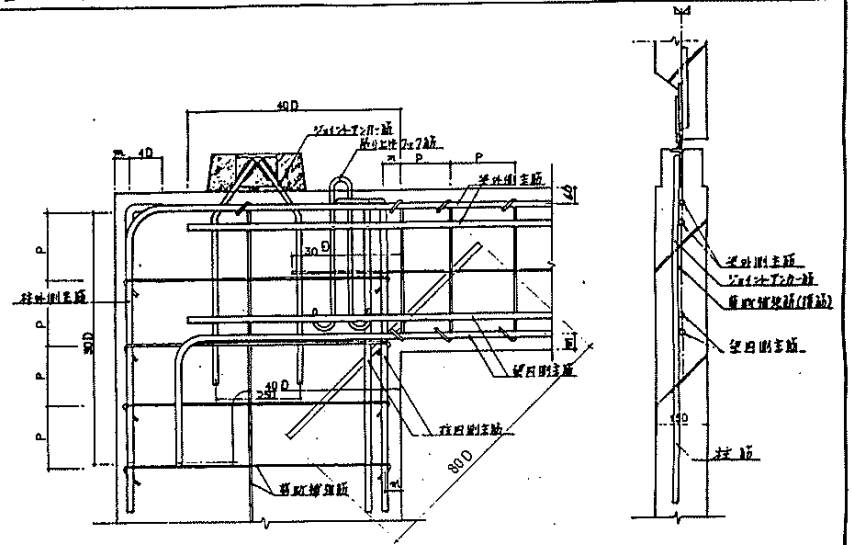
d) 窓型



- 1) 筋補強筋 ①, ② 差筋部は筋筋に花す込み距離 25D 以上
- 2) 斜筋補強筋の長さ 80D 以上 (1F ~ 5F)

16

壁柱配筋標準詳細



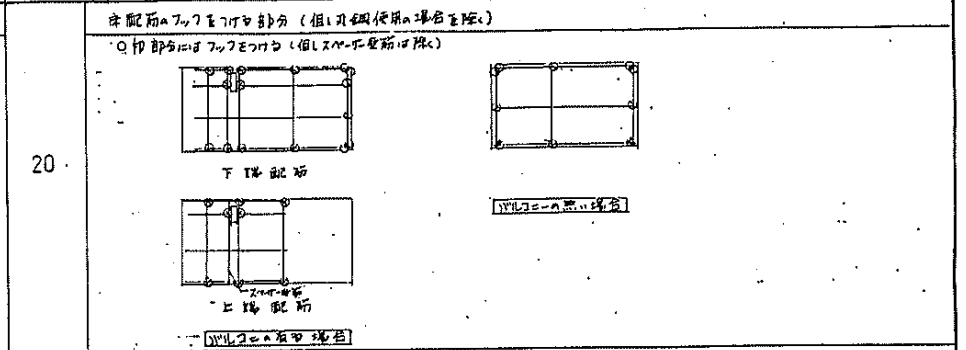
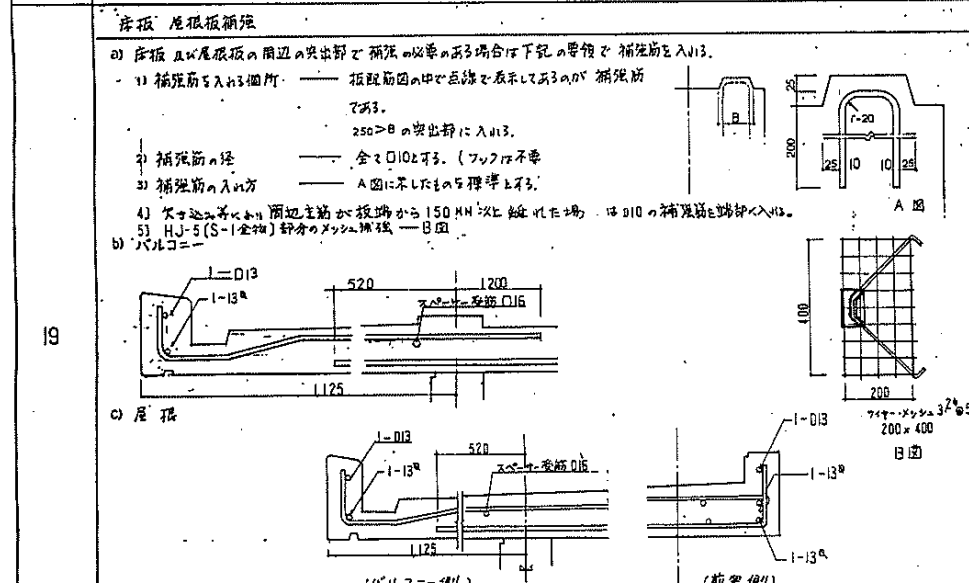
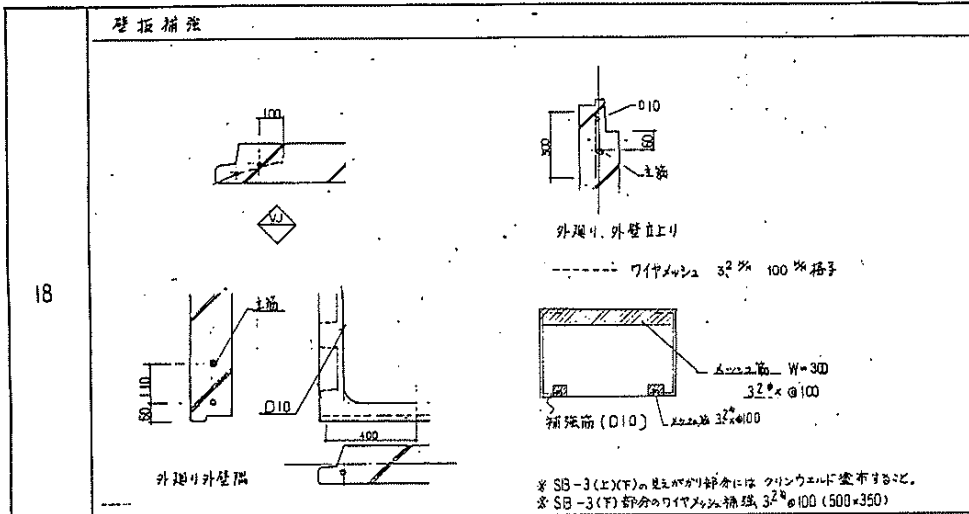
- 注) 配筋図は、例示  
P: 補筋・鉄筋・間隔を示し、断面は例示  
註) 詳細は STP-1000 等筋補強筋の仕様を参照

17

60-8531

名称	鳴海住宅戸改修工事(第1工区)設計図		
図面名称	PC板共通事項	3	頁
図面	[Redacted]		
設計	愛知県建築部住宅建設課		





21

構造所記仕様

a) PC板の接合に使用する骨材は下記に依る

SB 金目 — SM 50 A  
S 金目 — SS 41

b) 鉄筋

普通丸鋼 — SR 24  
異形鉄筋 — SD 30

c) コンクリート

設計基準強度 —  $F_c = 180 \text{ N/cm}^2$   
引張りコンクリート —  $F_t = 210 \text{ N/cm}^2$

60-8532

名称	鳴海住宅戸改修工事 (第1工区) 設計図		
図面名称	PC板共通事項: 4	1	
図番	[Redacted]		
設計	愛知県建設部住宅建設課		

交通条件

1 差面

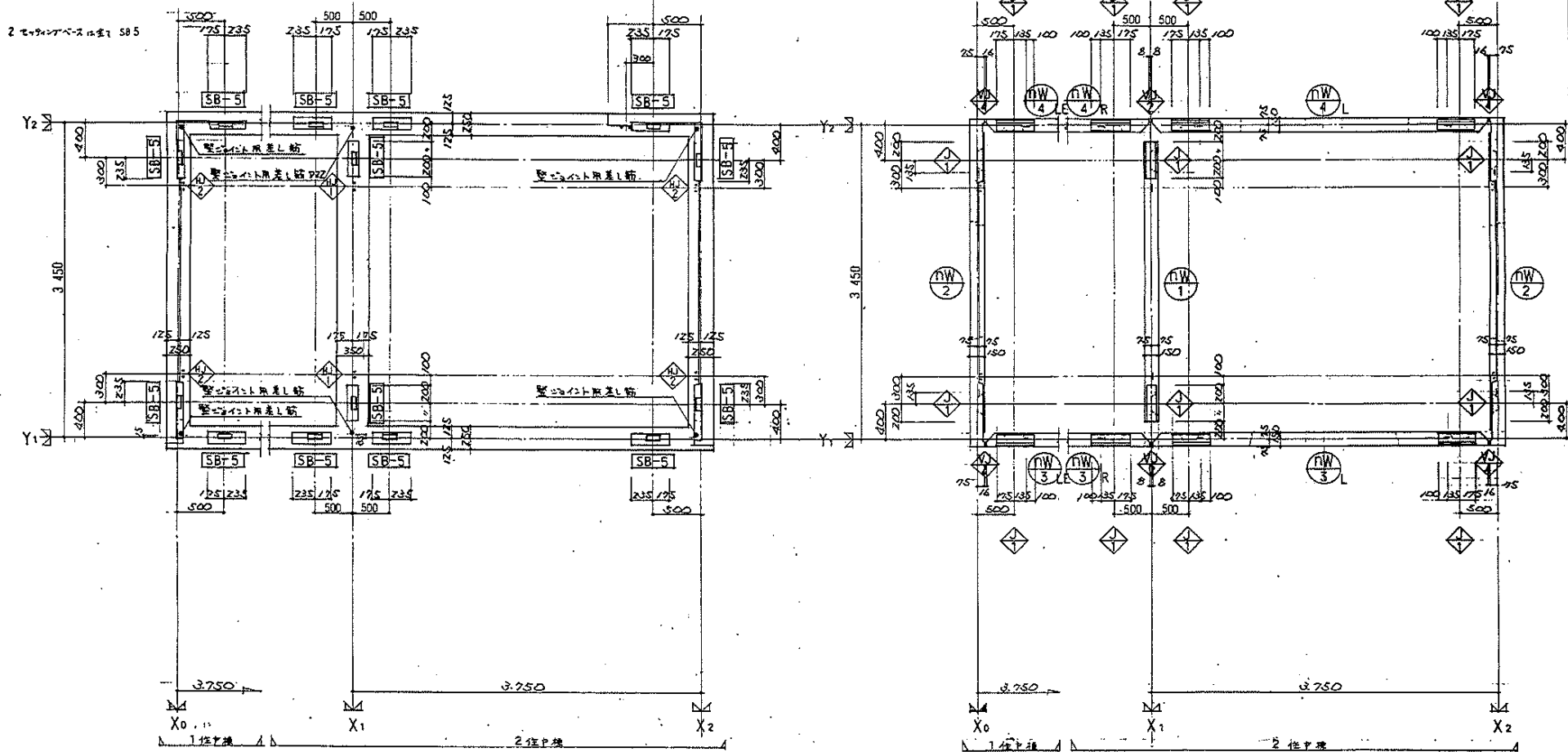
2 壁面

3 F 面

4 SF 面

基礎組立図 1:30

壁板組立図 1:30



株式会社  
近藤設計事務所

60-8533

名称 海住宅戸改修工事第1工区 設計図

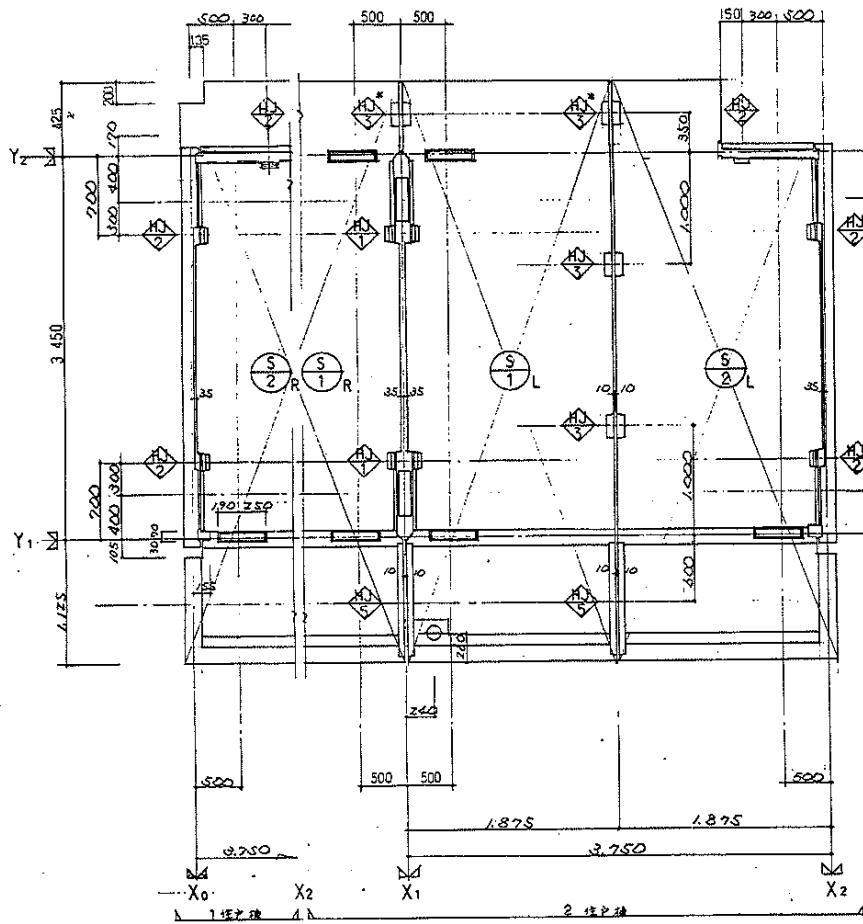
図面名称 基礎組立図、壁板組立図 1:30

図面

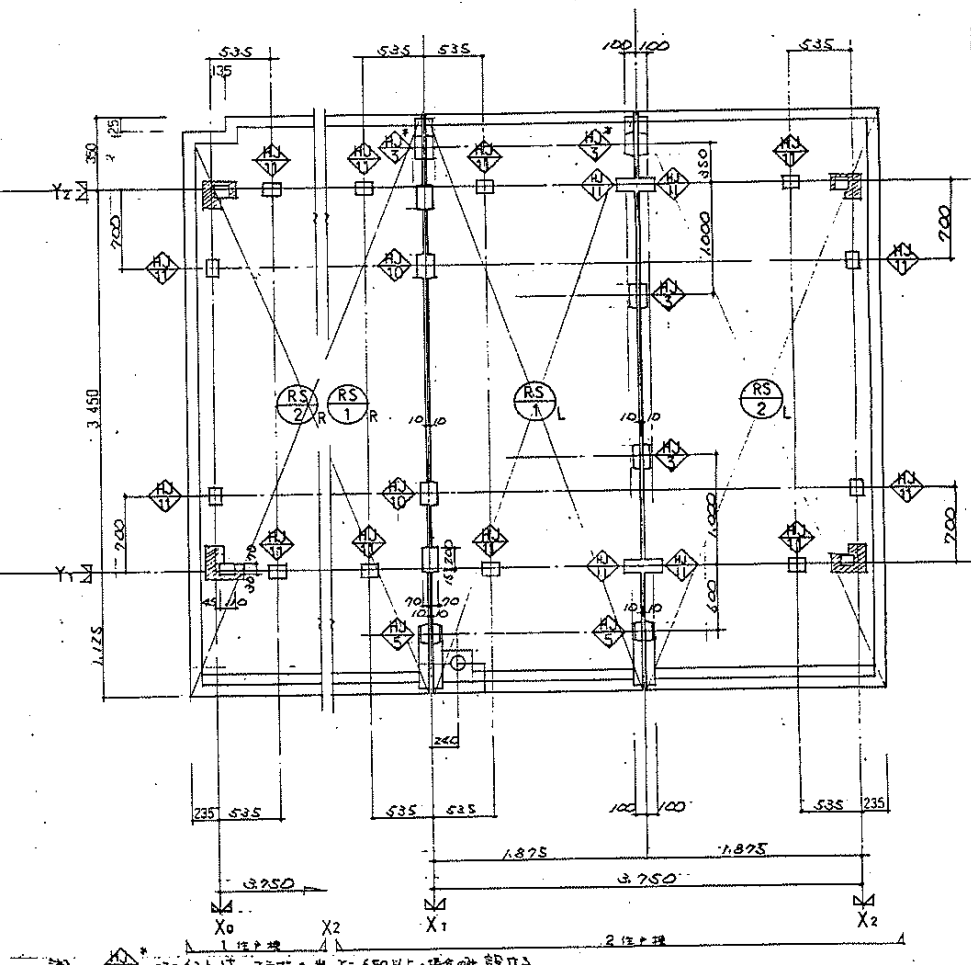
設計

愛知県建設部住宅建設課

床板組立図 1:30



屋根板組立図 1:30



※ 柱上土床、237mm出寸、650mm以上場合設計す。

株式会社 近藤設計事務所		60-8534
名称	昭海住宅住戸改善工事(第1丁区) 設計図	
図面名称	床板組立図、屋根板組立図 1:30	
図面		
設計	愛知県建築部住宅建設課	

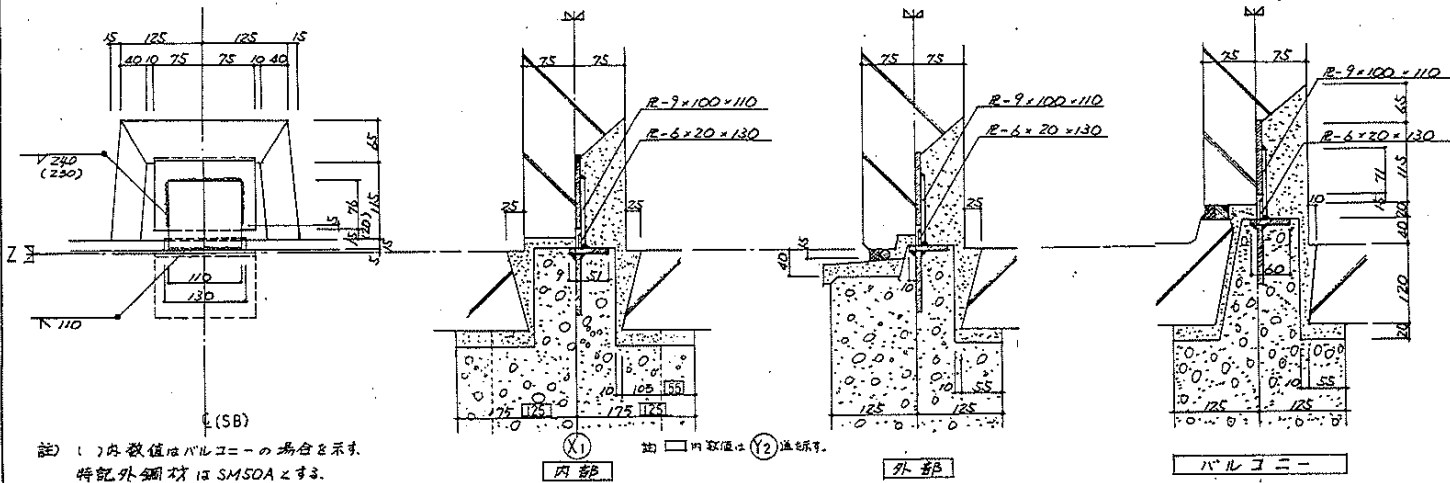


壁一壁 水平ジョイント

註記 プレート溶接要領は溶接詳細図による。 防水材の仕様及びディテールは所収案内図及び非構造ジョイント図による。

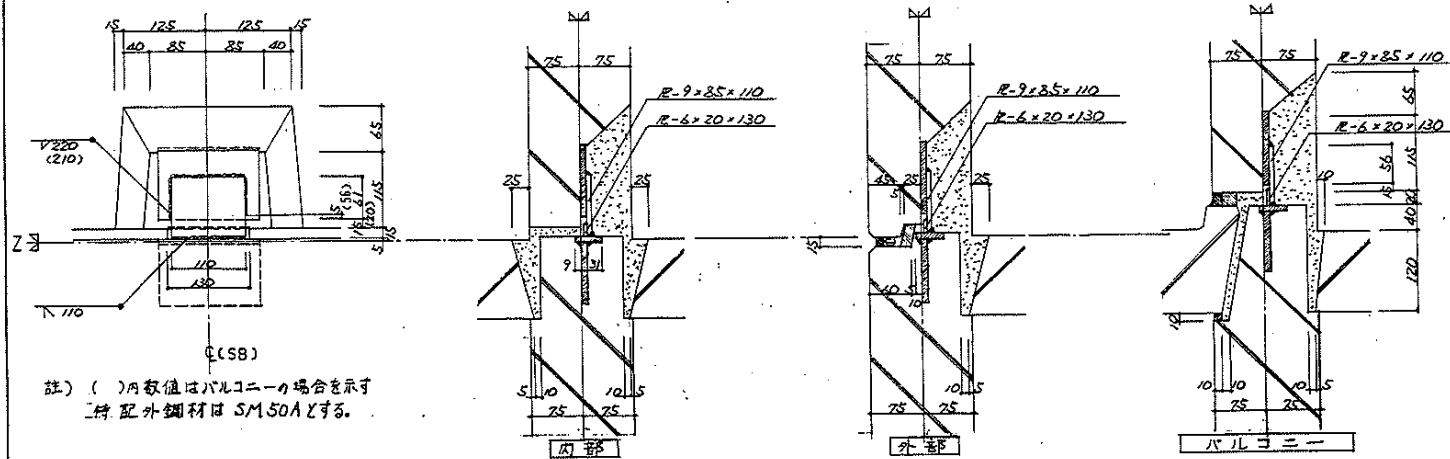
J  
1

1 F



J  
1

2~5 F

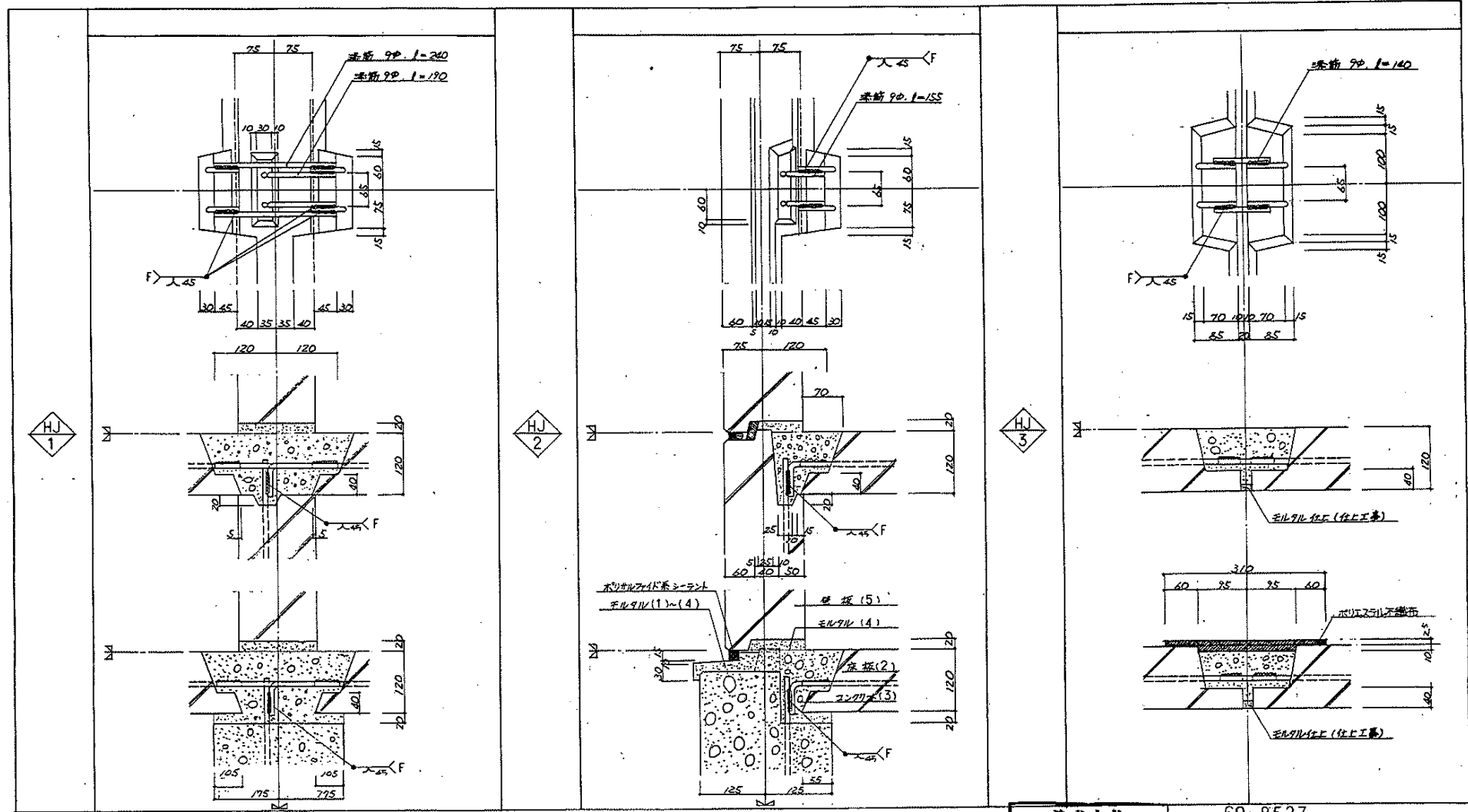


株式会社 <b>近藤設計事務所</b>	60-8536 番 号 海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図
	図面名称 壁一壁水平ジョイント図 1:5
	図面
	設計 愛知県建設部住宅建設課

水平ジョイント 1

註記 溶接部は溶接詳細図による。

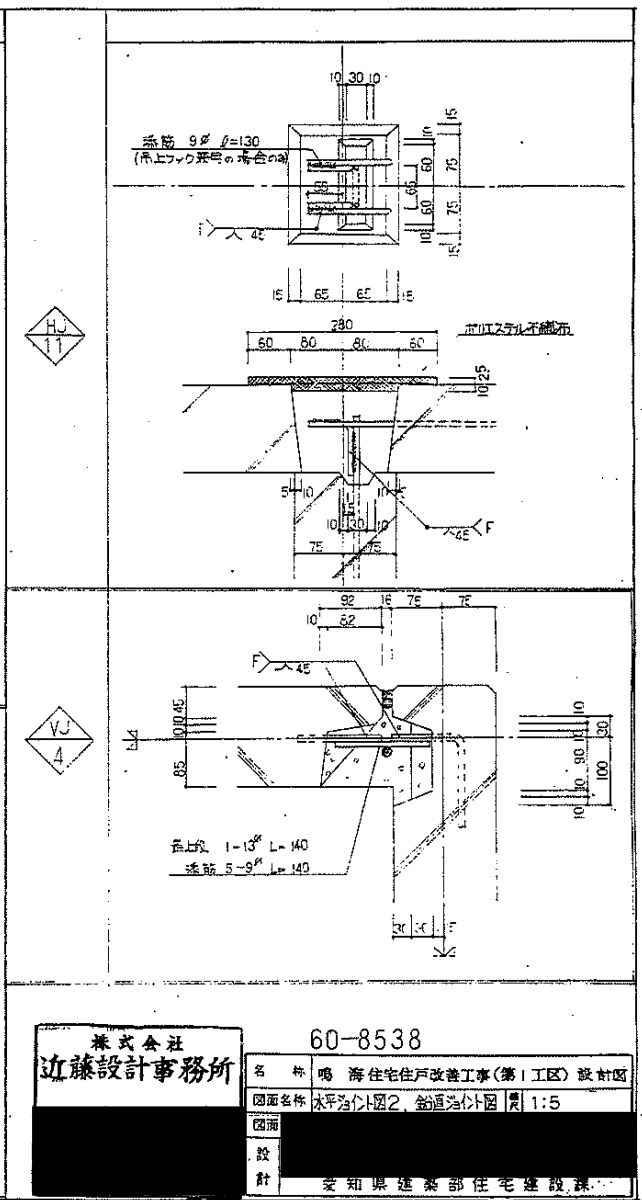
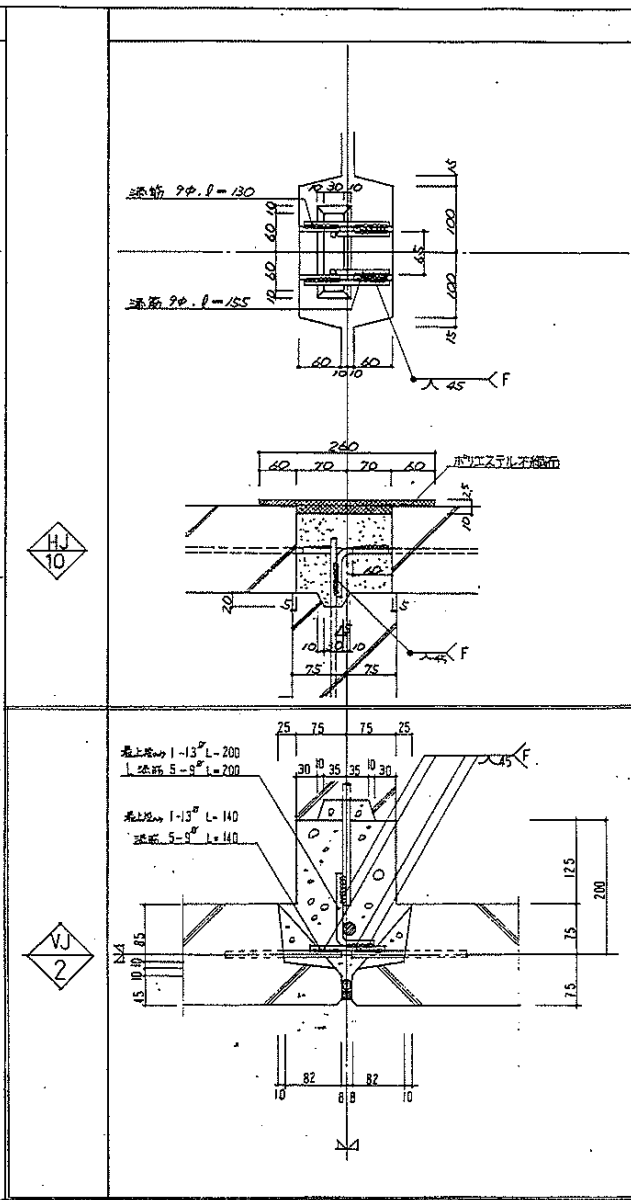
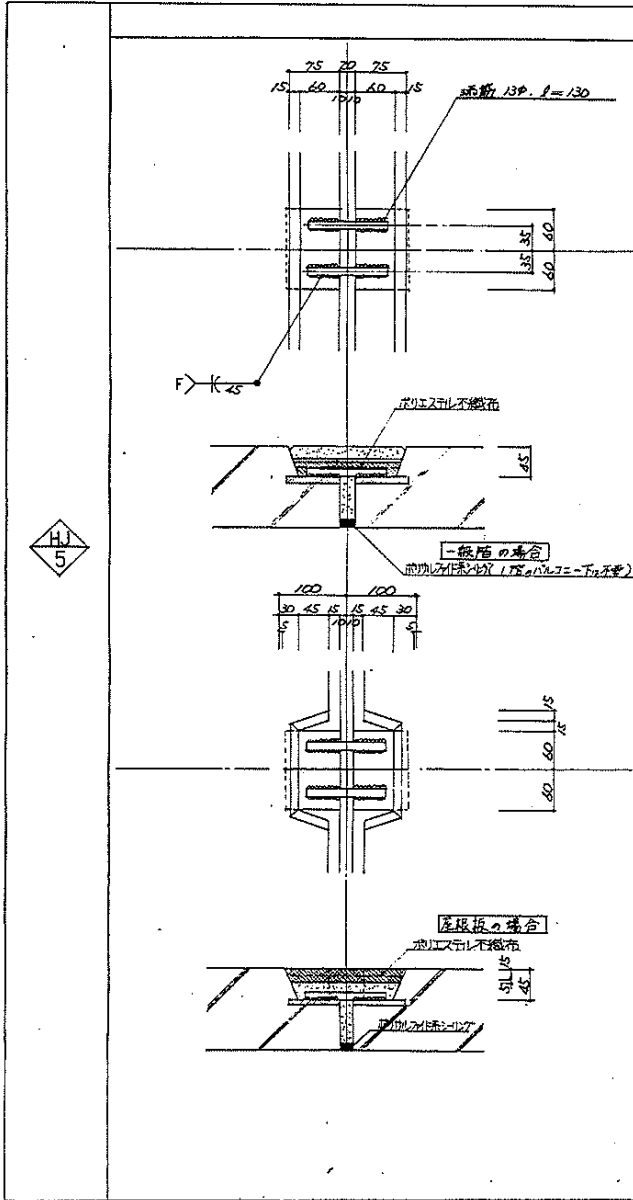
防水材の仕様及びディテールは防水案内図及び非構造ジョイント図による。



株式会社 <b>近藤設計事務所</b>		60-8537	
名称	藤澤住宅戸改善工事(第1工区) 設計図		
図面名称	水平ジョイント 1	図	1:5
図面			
設計	受知県建設部住宅建設課		

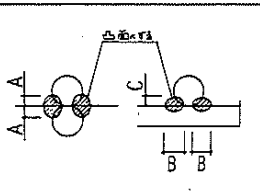
水平ジョイント 2

鉛直ジョイント



株式会社 近藤設計事務所	図面番号	60-8538
	図面名称	水平ジョイント2、鉛直ジョイント 1:5
	図面	
	設計	愛知県建築部住宅建設課

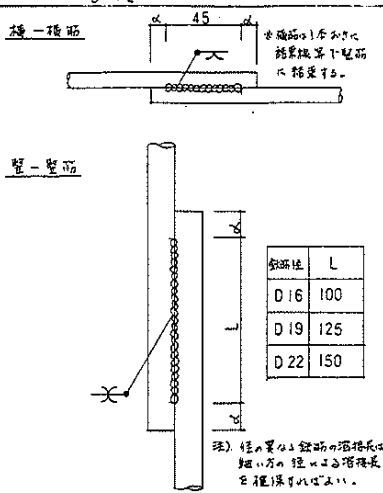
鉄筋溶接詳細図 S=1/2



鉄筋径	9φ	13φ	D16	D19	D22
A	☆ 3.0	□ 3.5	4.0	4.5	5.0
B	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0
C	5.0	5.5	6.0	7.0	8.0

☆印ハ片面5d  
□印ハ片面7d又両面5d  
Y印ハ片面5dの埋込み長さ  
埋込みハ両面ハ2.5

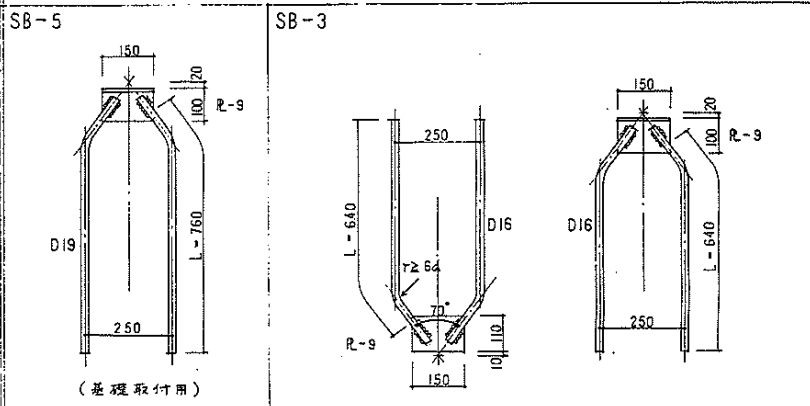
壁に於ける鉄筋溶接方法 S=1/2



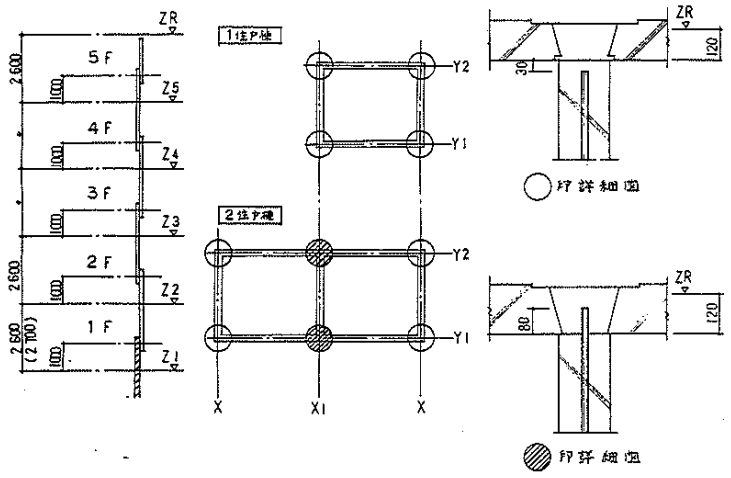
鉄筋径	L
D16	100
D19	125
D22	150

注) 壁に於ける鉄筋の溶接長は  
細い方の径以上の埋込み長  
を確保すること。

光付部品図 S=1/6



(基礎取付用)



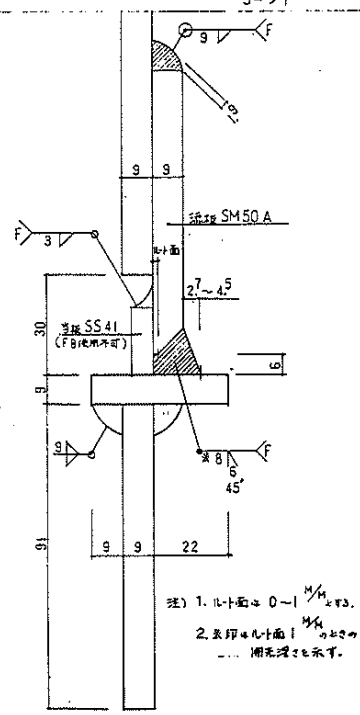
1階P柱

2階P柱

印詳細図

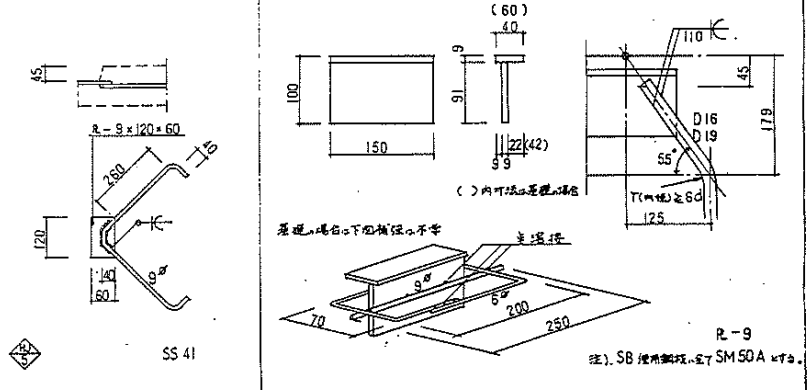
印詳細図

7°L+溶接詳細図 S=1/1



注) 1. L+上面に D-1 M/M 以上  
2. 裏面に L+上面に M/M 以上  
埋込み長を確保。

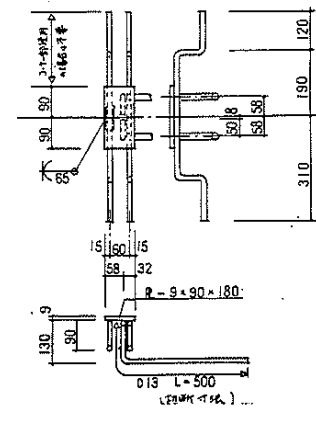
	8 階 917°			6 階 917°		
	5階建	4階建	3階建	4階建	3階建	
5	D16			5		
4	D16	D16		4	D16	
3	D19	D16	D16	3	D16	
2	D22	D19	D16	2	D19	
1	D22	D22	D19	1	D22	



(内打込み距離確保)

基礎の場合上下両側埋込みを確保

注) SB 埋込み鋼板は SM50A 以上

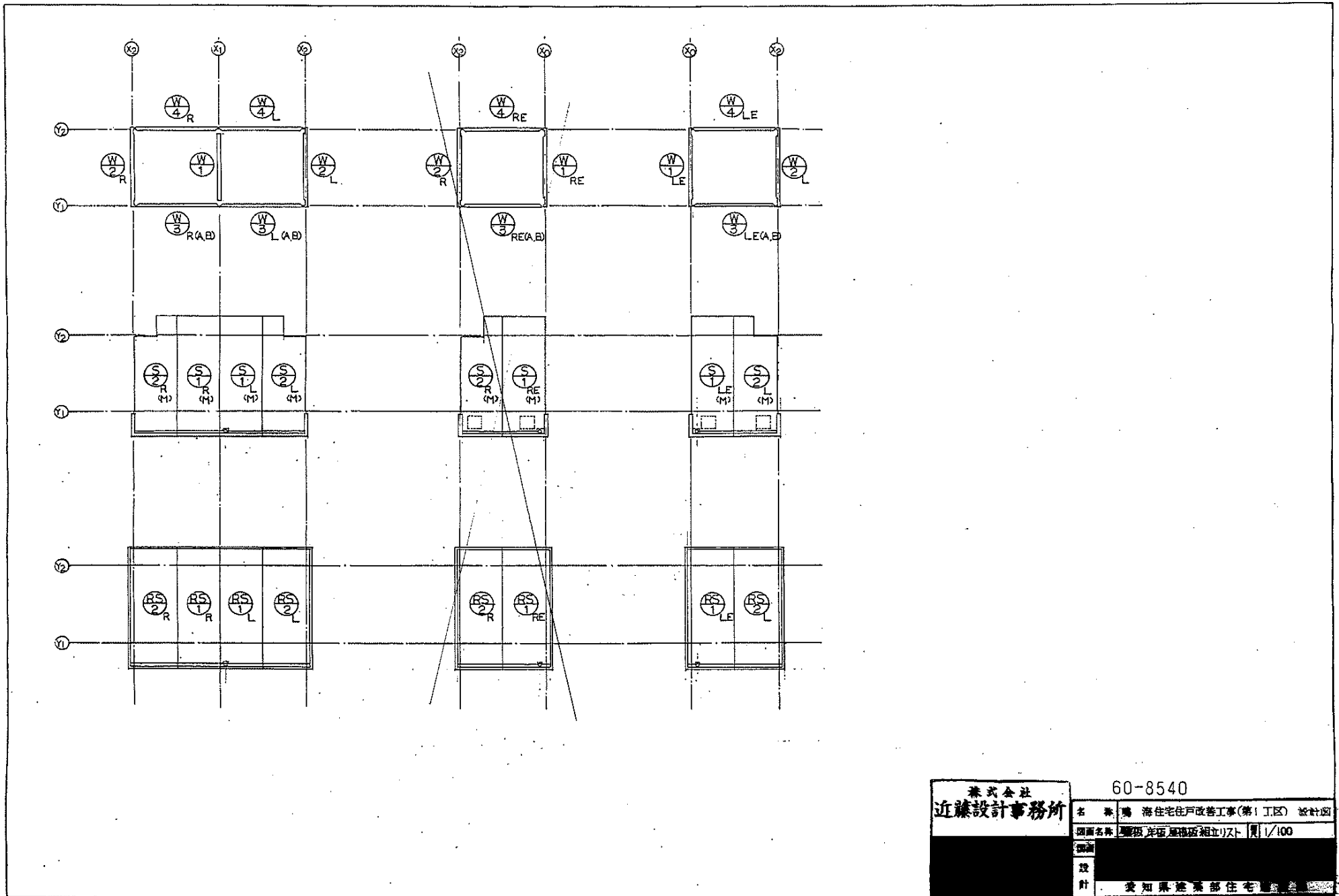


株式会社  
近藤設計事務所  
製図 校図  
一級建築士 近藤一夫  
登録第30395号

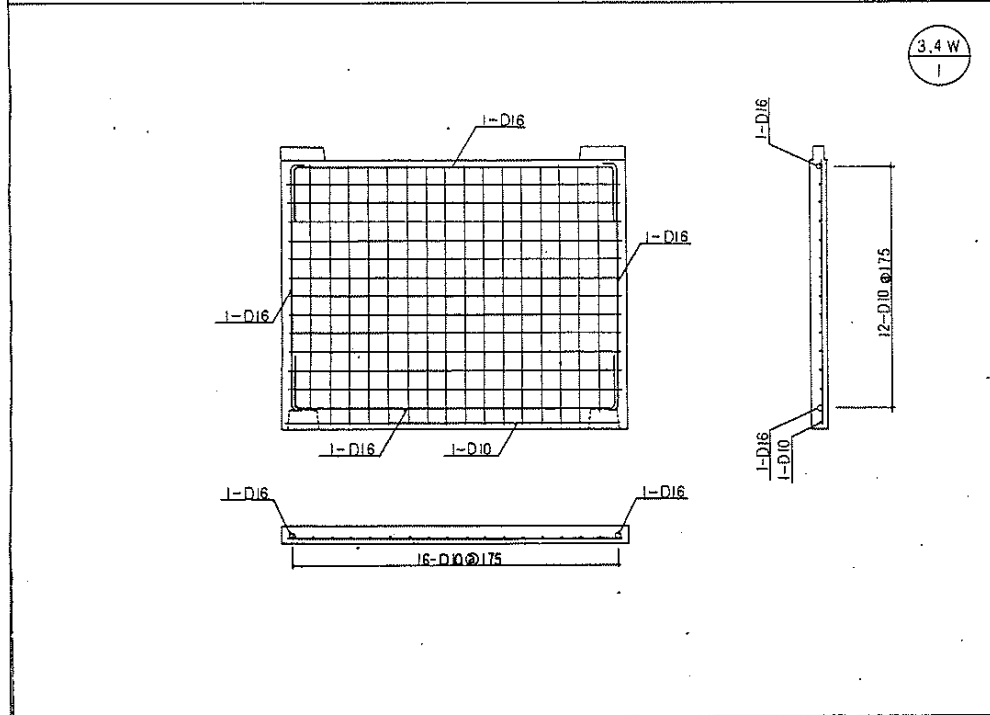
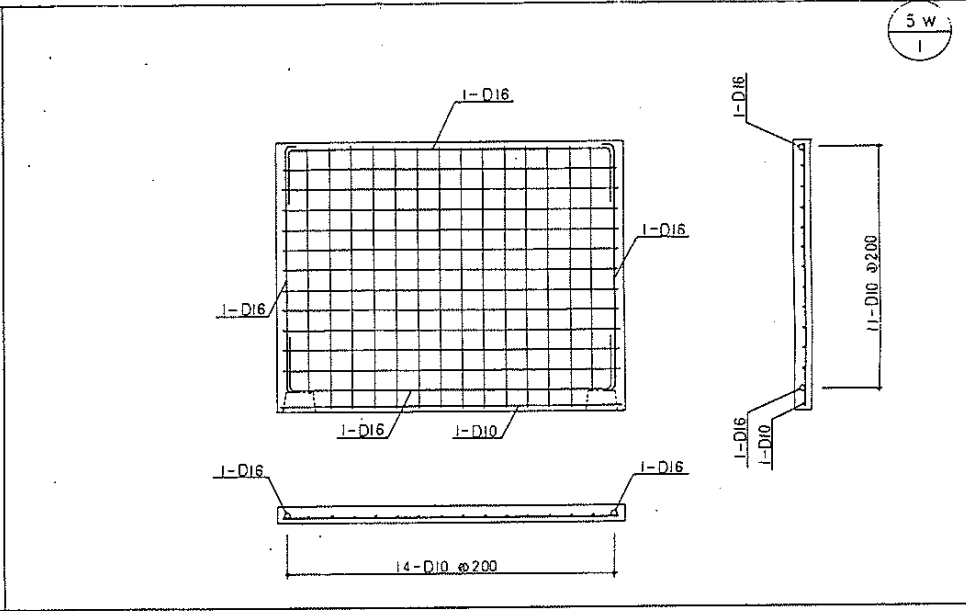
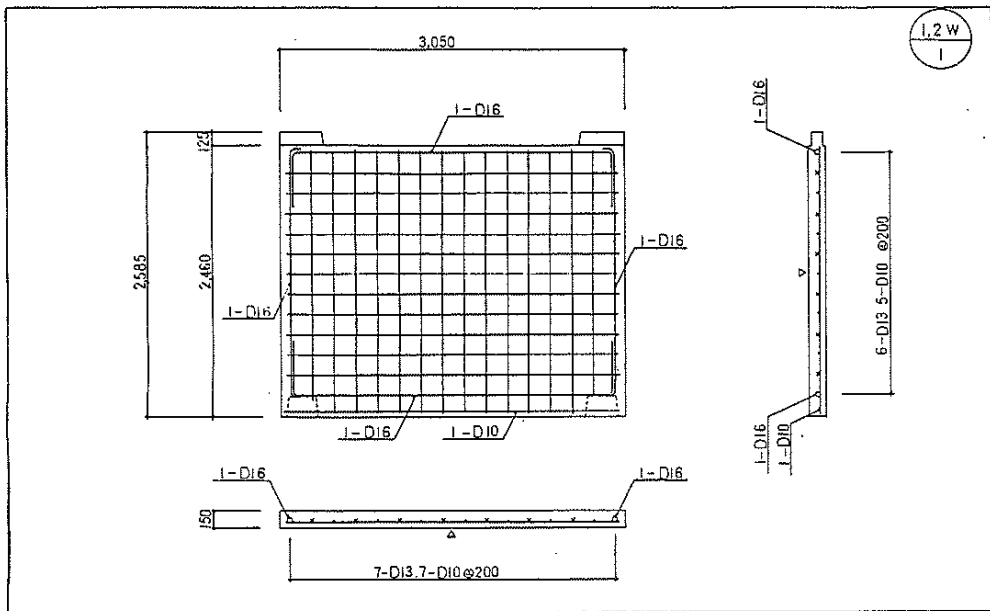
60-8539

名称	海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図		
図面名称	溶接詳細図	光付部品図	1:5
図面	[Redacted]		
設計	[Redacted]		





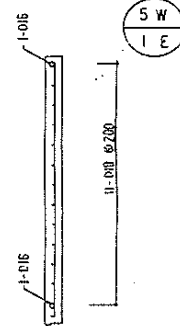
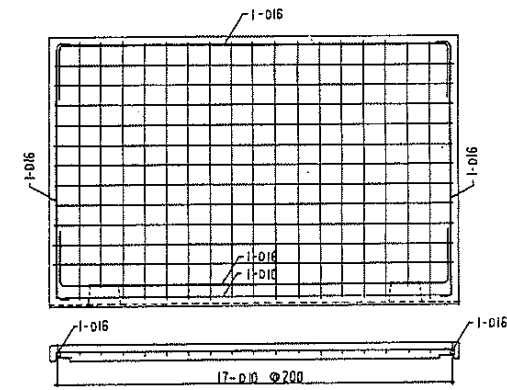
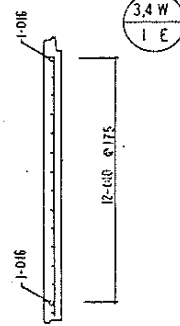
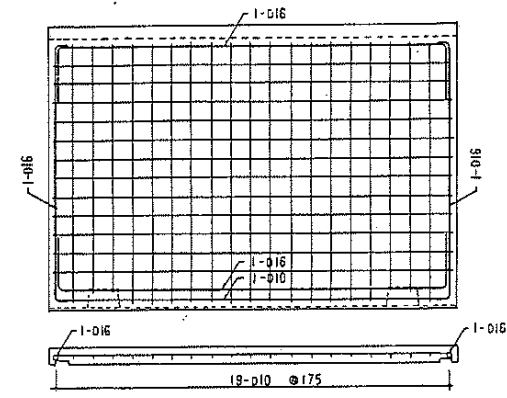
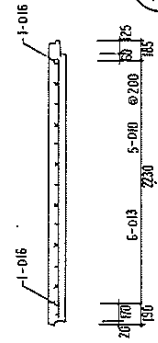
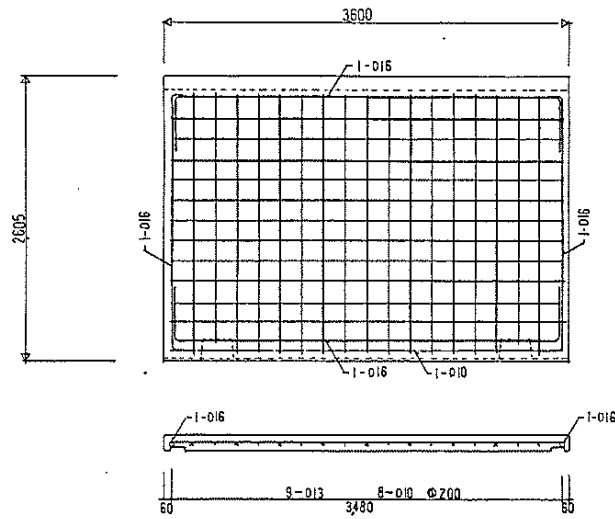
株式会社 近藤設計事務所		60-8540
名称	海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図	
図面名称	海住宅住戸改善工事(第1工区) 1/100	
設計	愛知県建築部住宅課	



株式会社  
近藤設計事務所

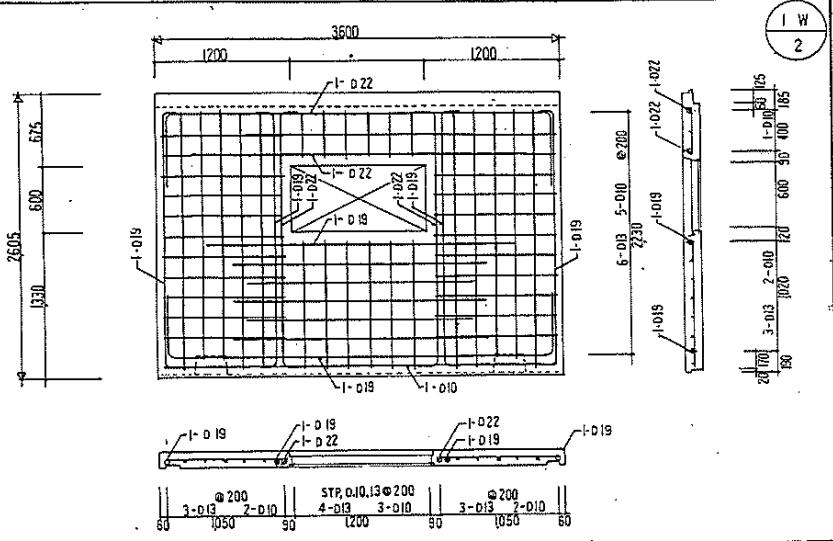
60-8541

名称	陽 海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図	
区画名称	環状西地区 1	頁 1/30
図面		
設計		

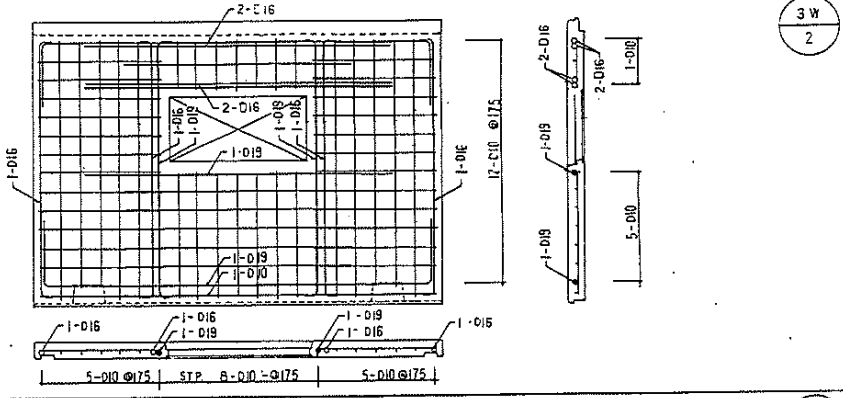


株式会社  
近藤設計事務所

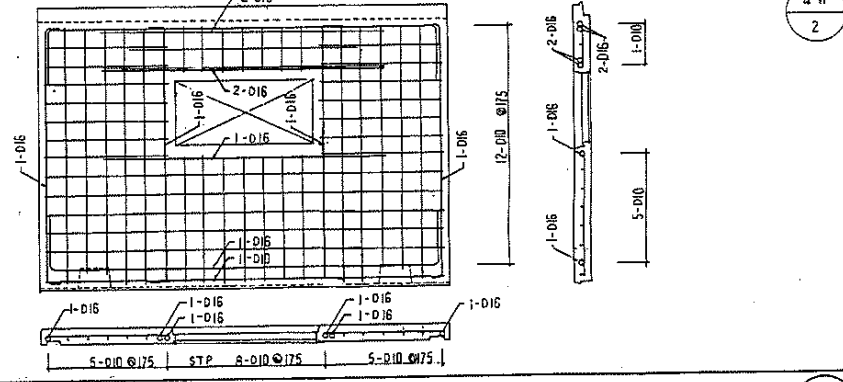
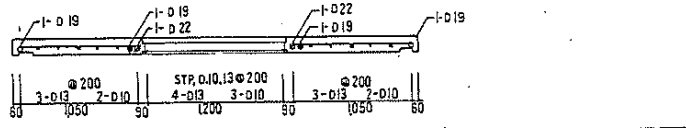
図面番号	60-8542
名称	鳴海住宅住戸改善工事(第1工区) 設計図
図面名称	壁板配筋図 2
図面枚数	1/30
設計	
監理	
校核	



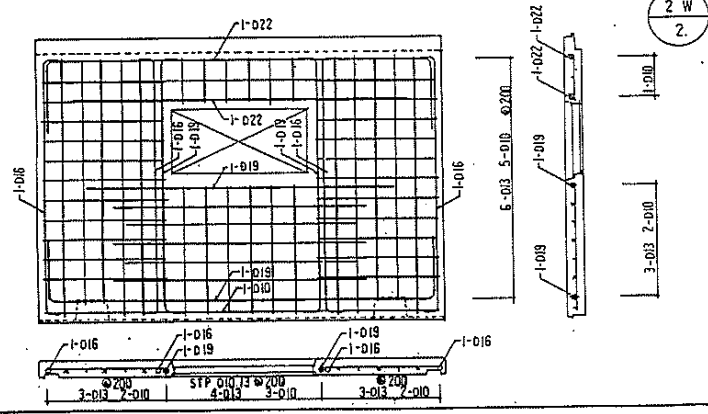
1 W  
2



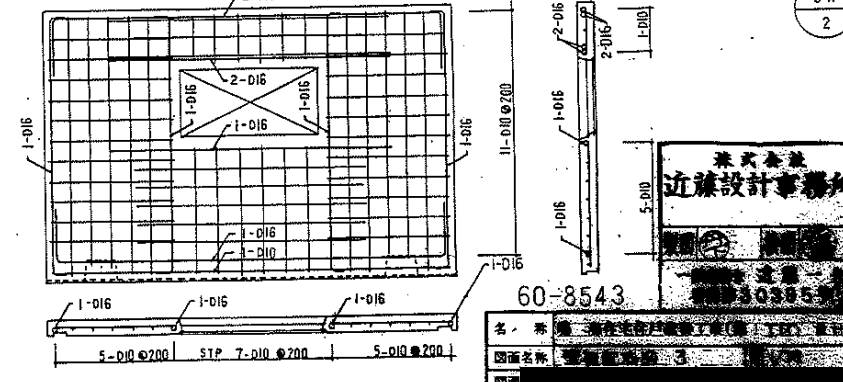
3 W  
2



4 W  
2



2 W  
2

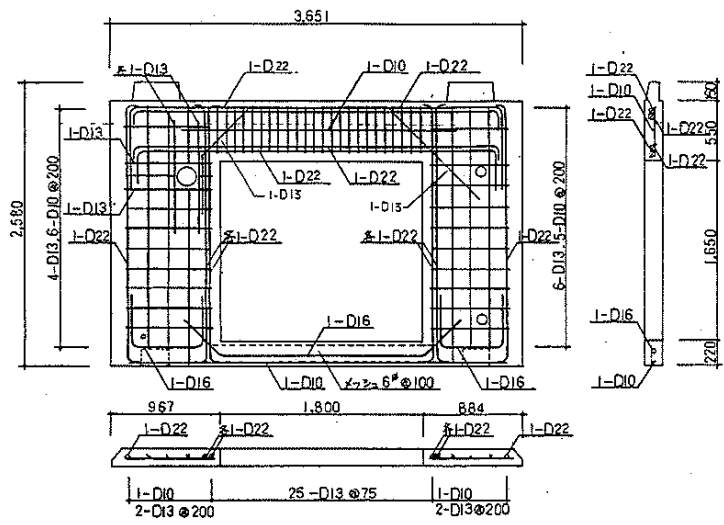


5 W  
2

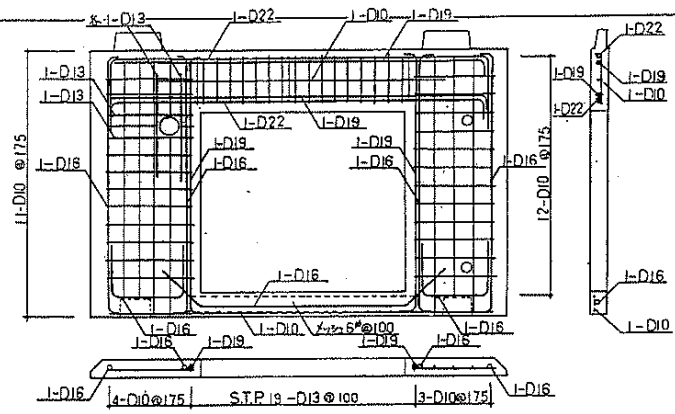
株式会社  
近藤設計事務所

60-8543

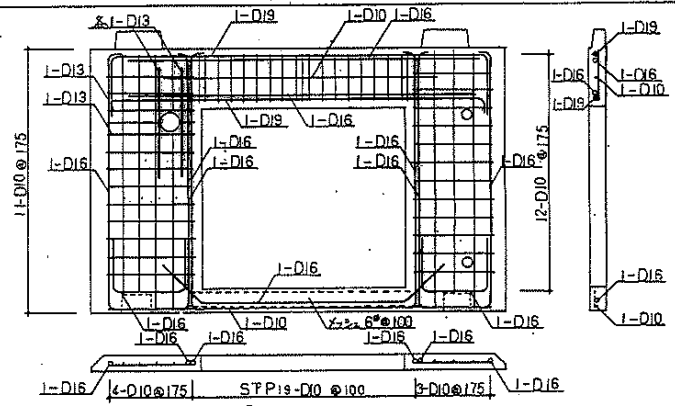
名 稱	三層住宅の構造設計
図面名称	基礎配筋図 3
設計	



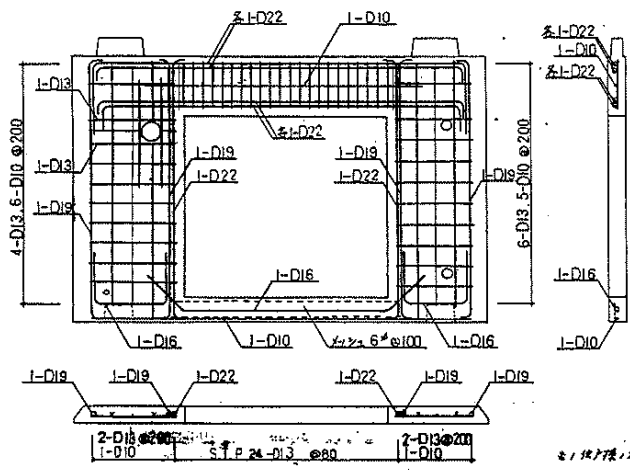
1 W  
3 L



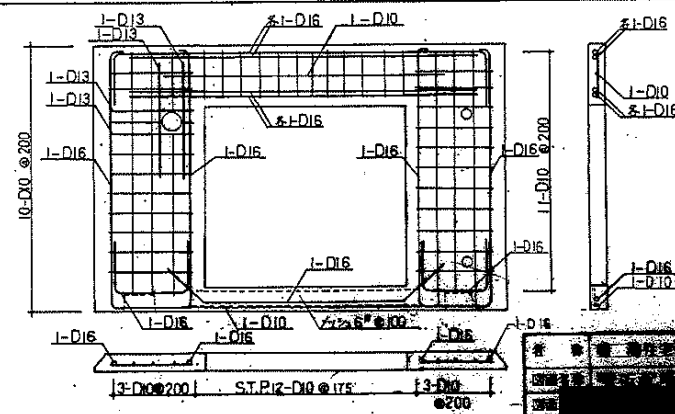
3 W  
3 L



4 W  
3 L



2 W  
3 L



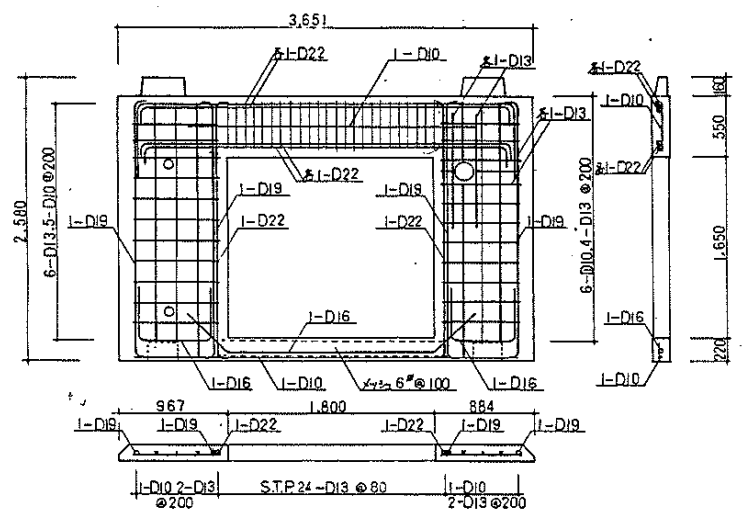
5 W  
3 L

※1. 1.800m 以内、但各々AC設置、不用寸寸

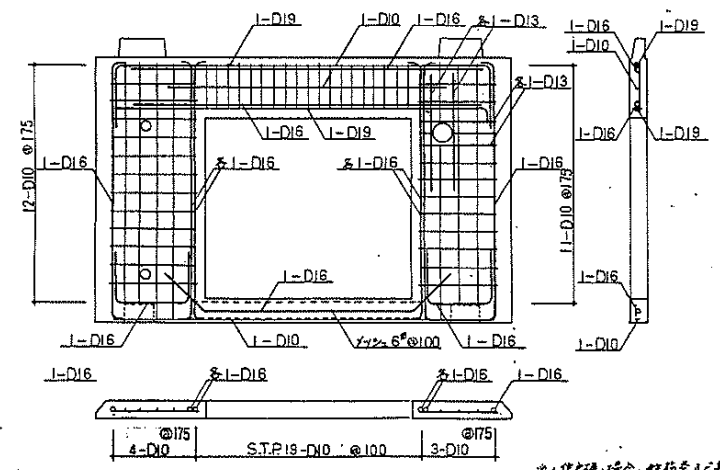
株式会社  
近藤設計事務所  
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1  
TEL: 03-5561-5511

図名	基礎設計書
図番	60-8544
設計	
校核	
承認	
日付	

60-8544



2W  
3LA

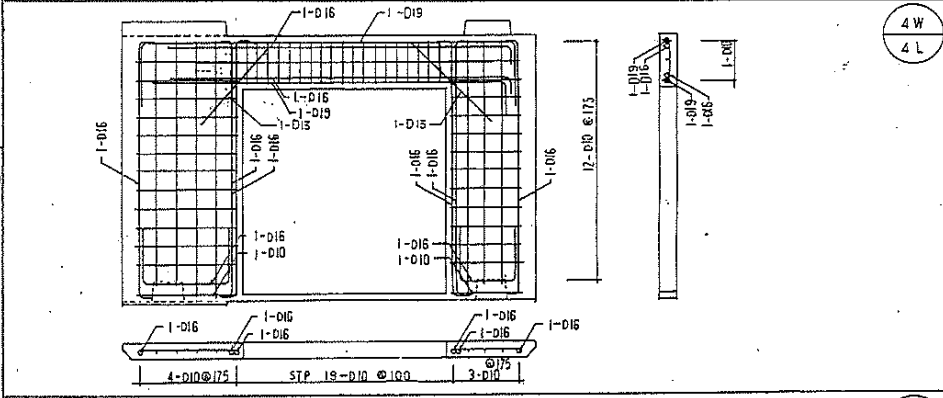
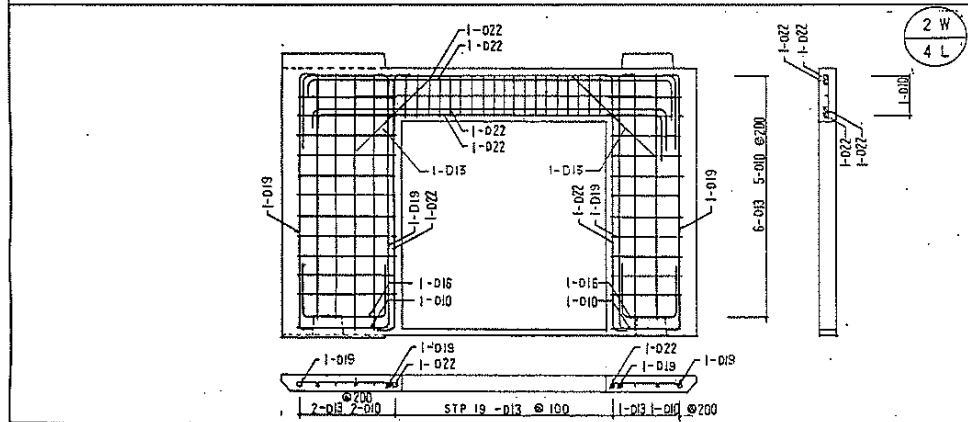
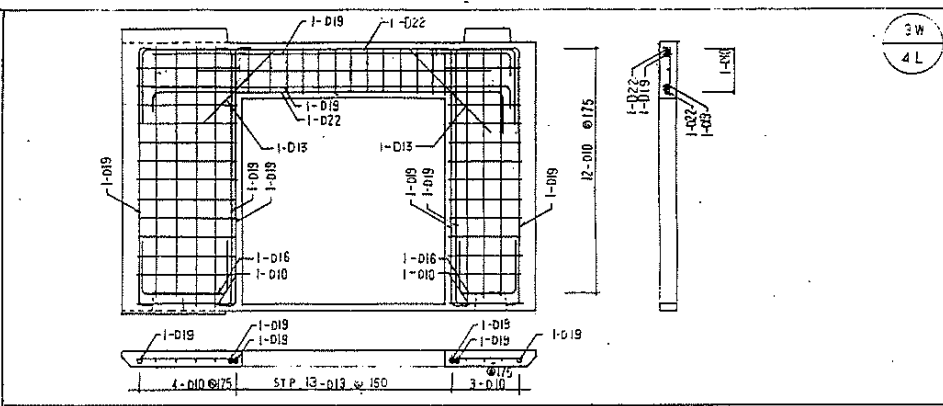
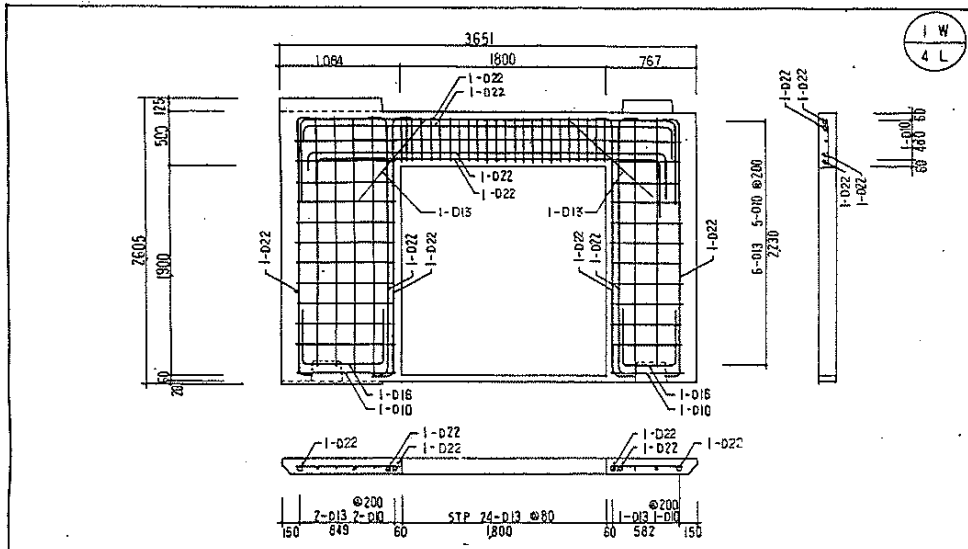


4W  
3LA

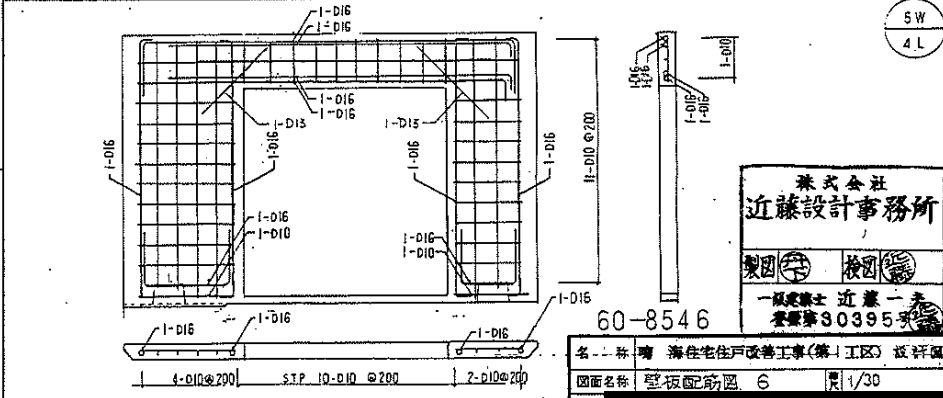
※1. 材料、規格、数量は上記数量、断面に準ずる。

60.8 04訂

株式会社 近藤設計事務所		60-8545	
名称	海台住宅戸建工事(第1工区) 設計図		
図面名称	壁板配筋図	5	1/30
図面			
設計			



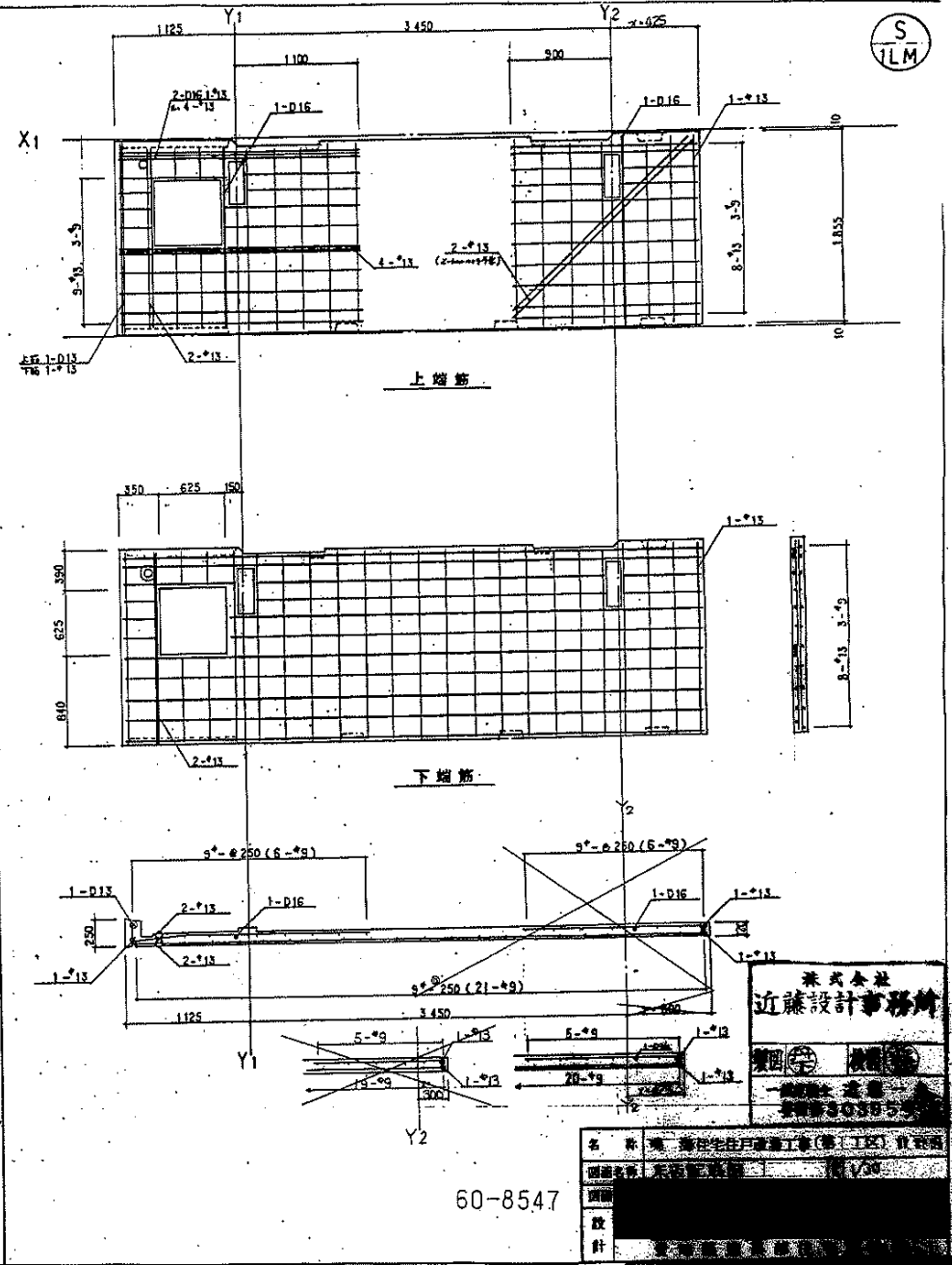
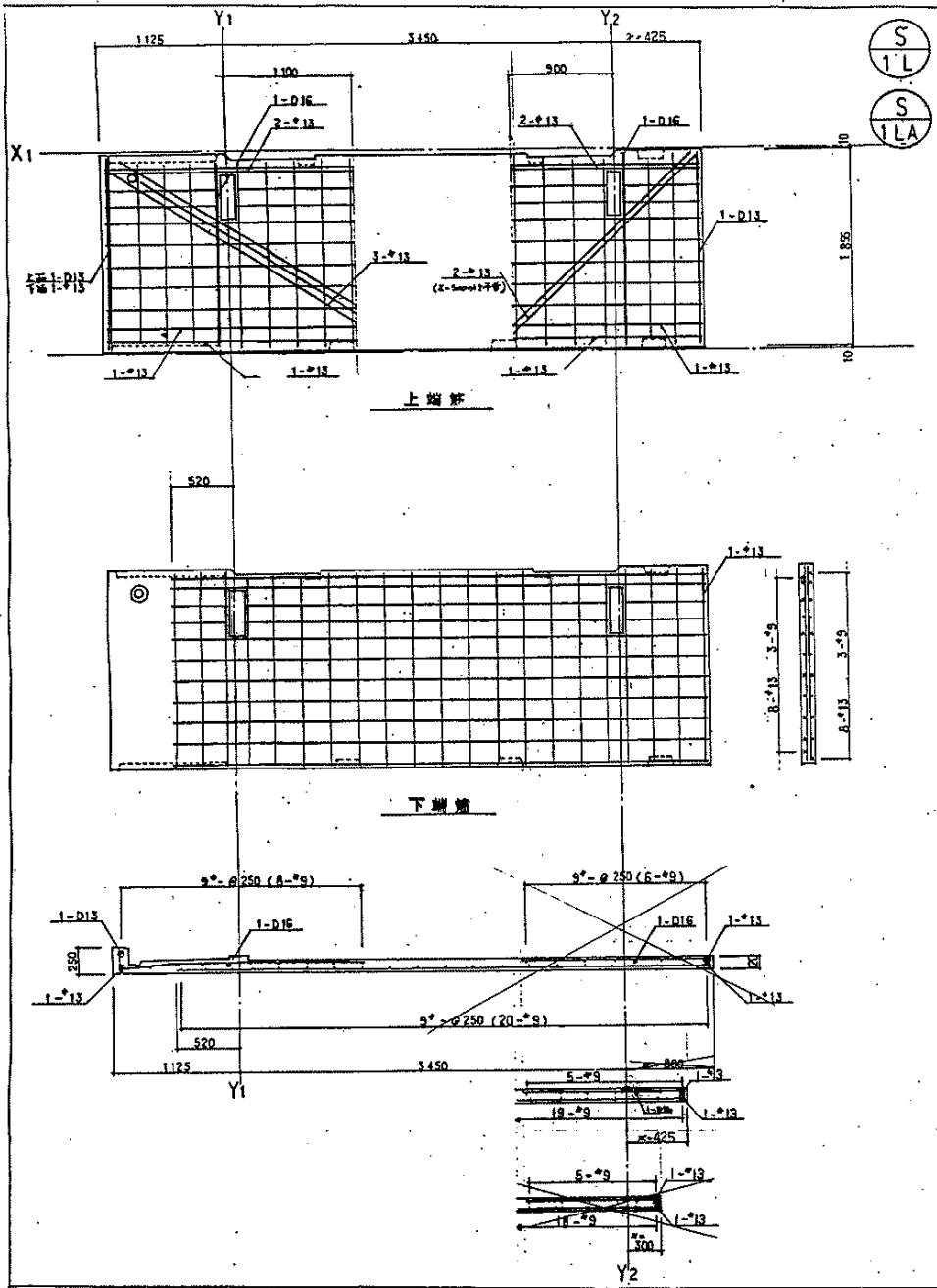
\* 1. 柱ノ種・場合、筋力及シ数等ハ本図ニル



株式会社  
近藤設計事務所  
製図 校印  
一級建築士 近藤 一夫  
登録第30395号

60-8546

名	湾海住宅住戸改善工事(第1工区) 既詳図	
図面名称	壁板配筋図 6	1/30
図面	[Redacted]	
設計	愛知県建築部住宅課 課長	

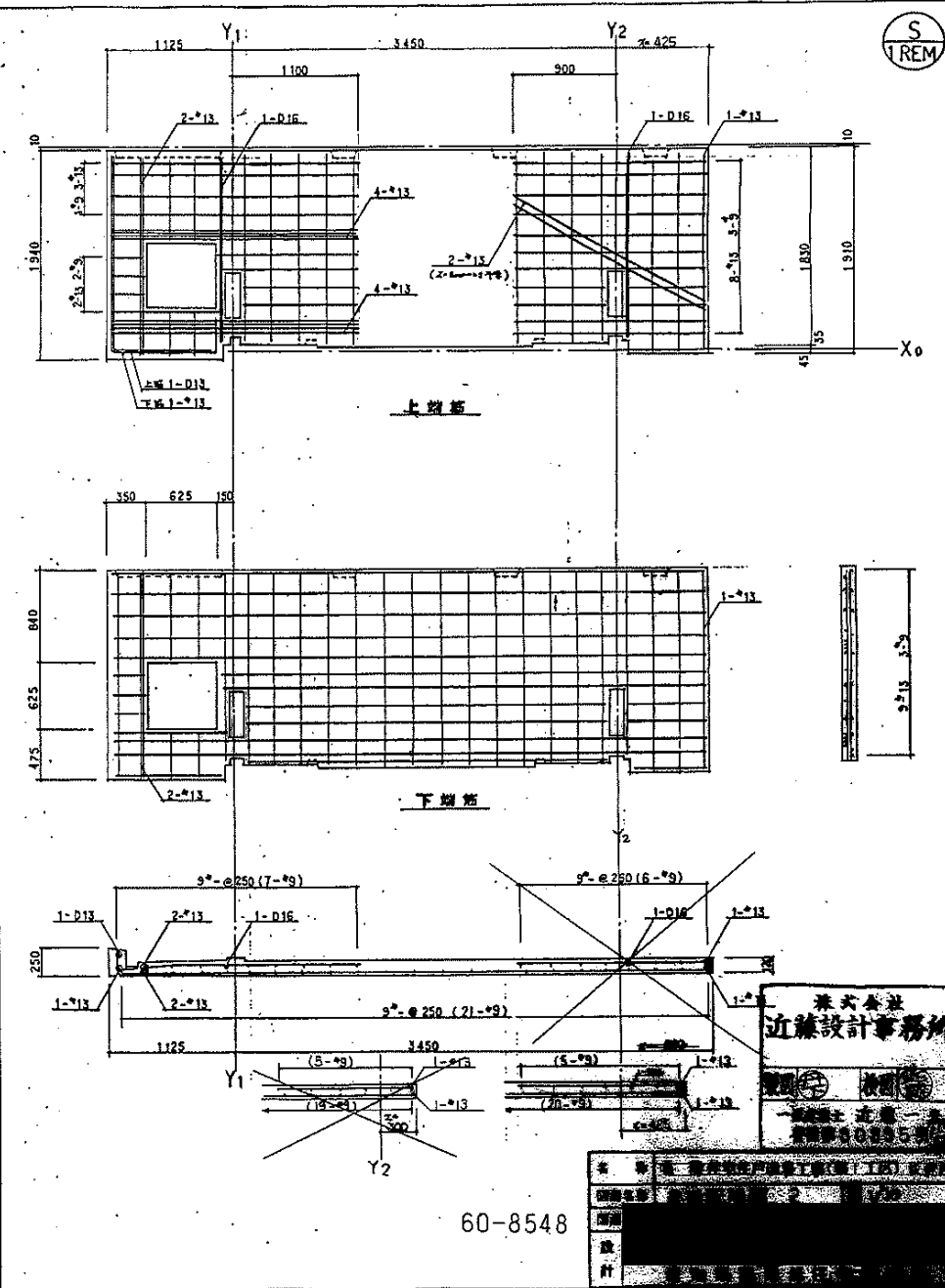
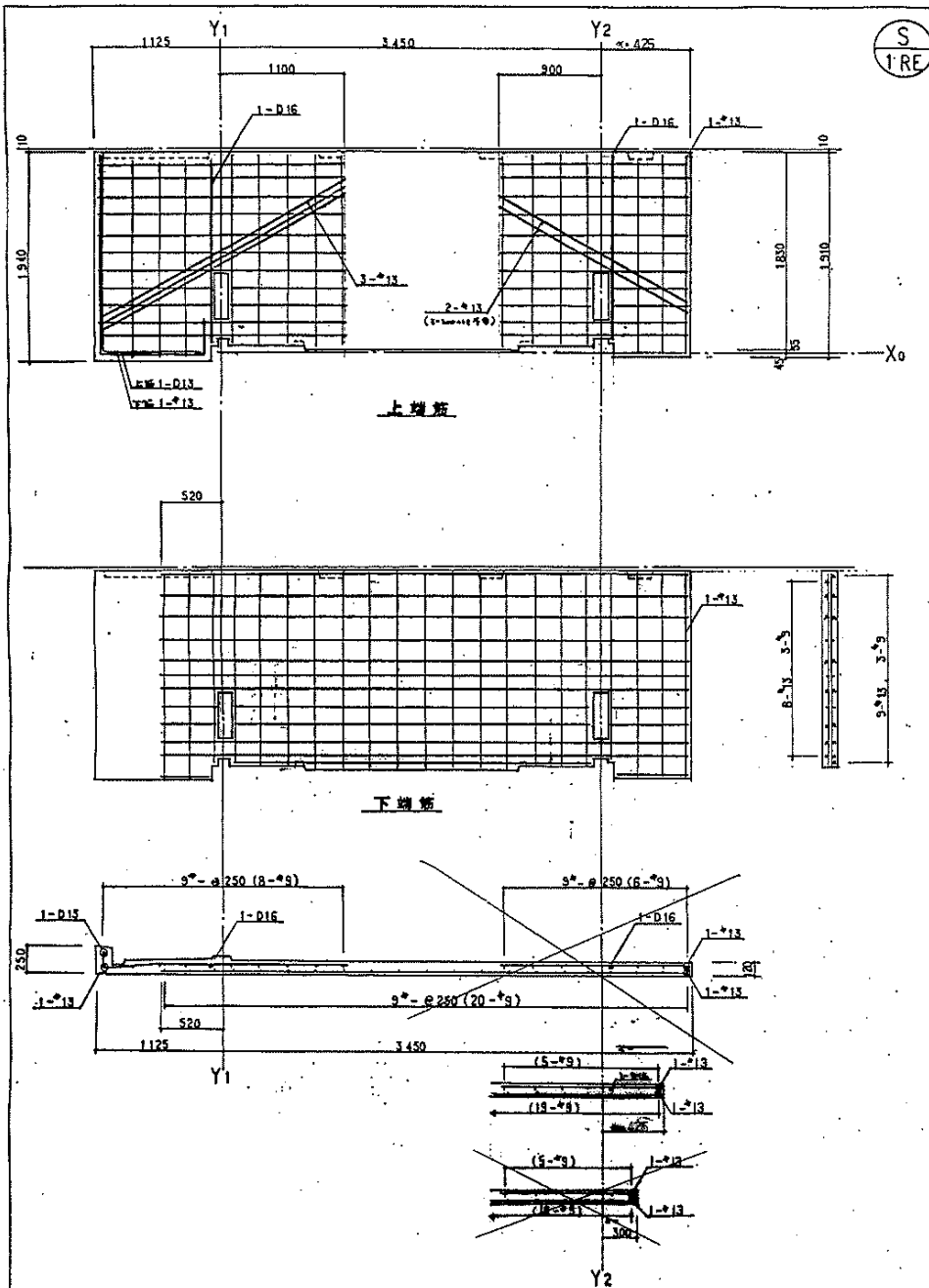


株式会社  
近藤設計事務所  
建築士 近藤 隆  
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

名称	居住用戸建工事(第1工区) 1F 柱頭
図面番号	100-0001-V03
設計	
校核	

60-8547

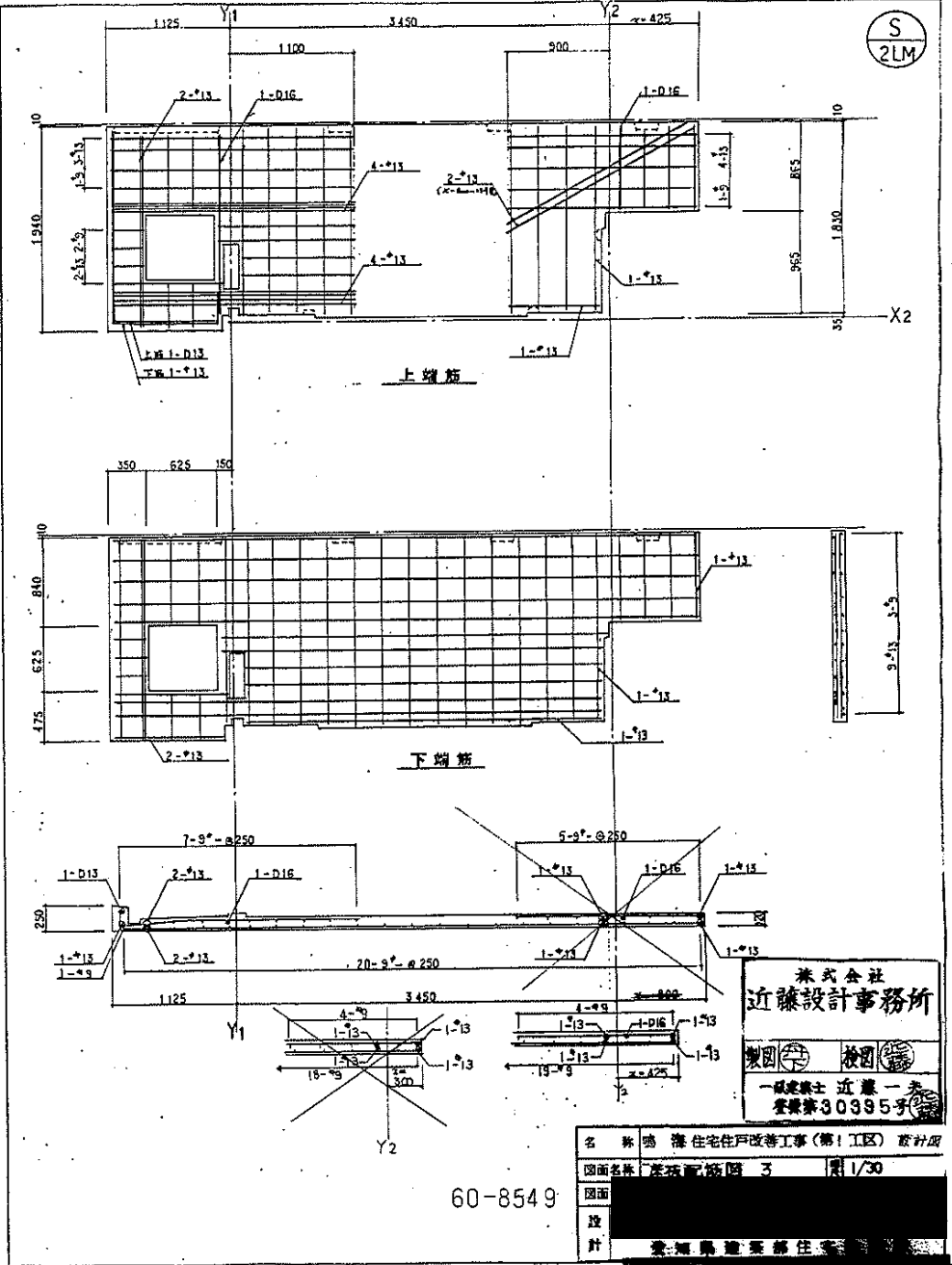
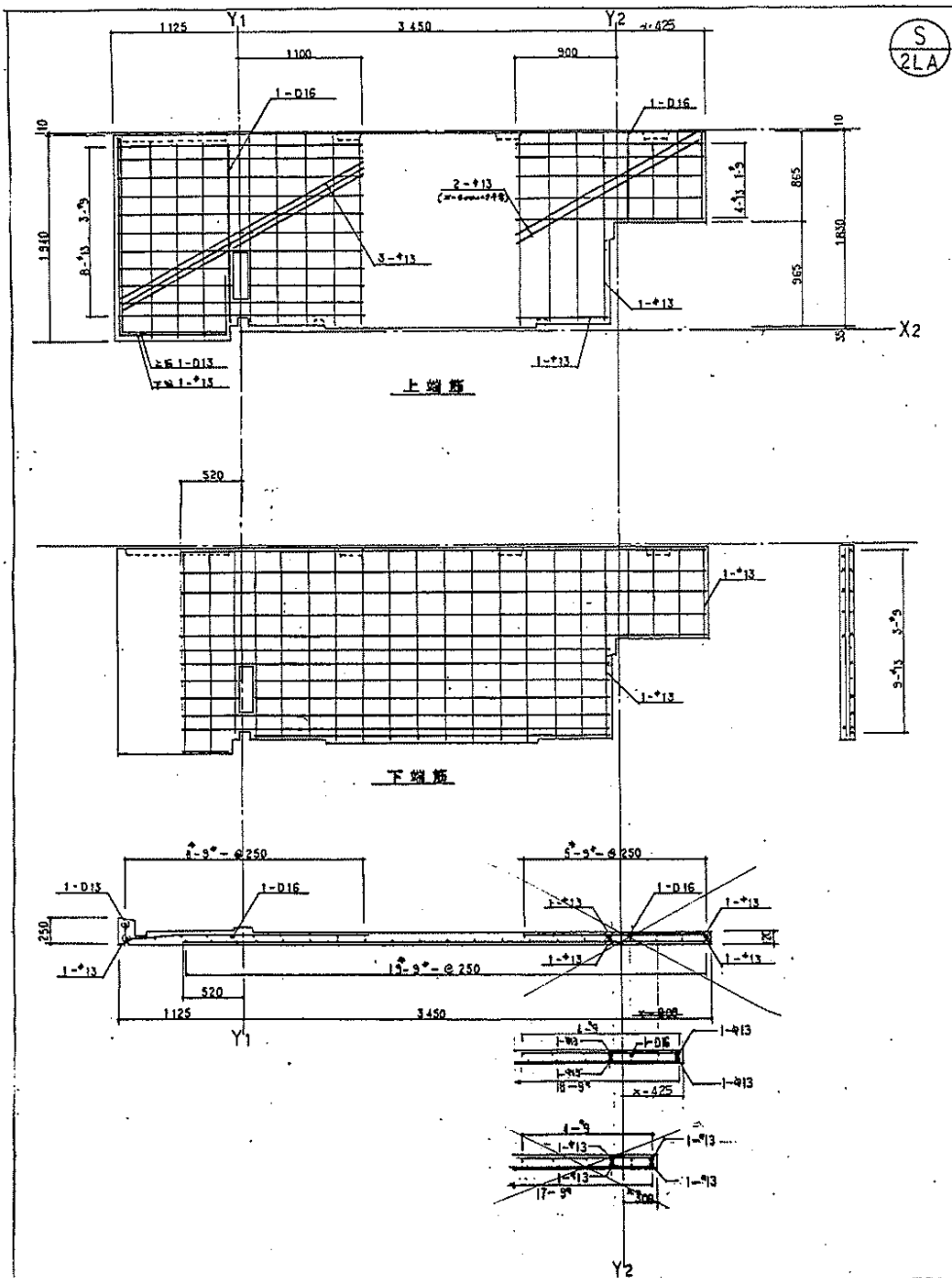




60-8548

株式会社  
近藤設計事務所

名称	近藤設計事務所
所在地	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
代表者	近藤 隆夫
設計	近藤 隆夫

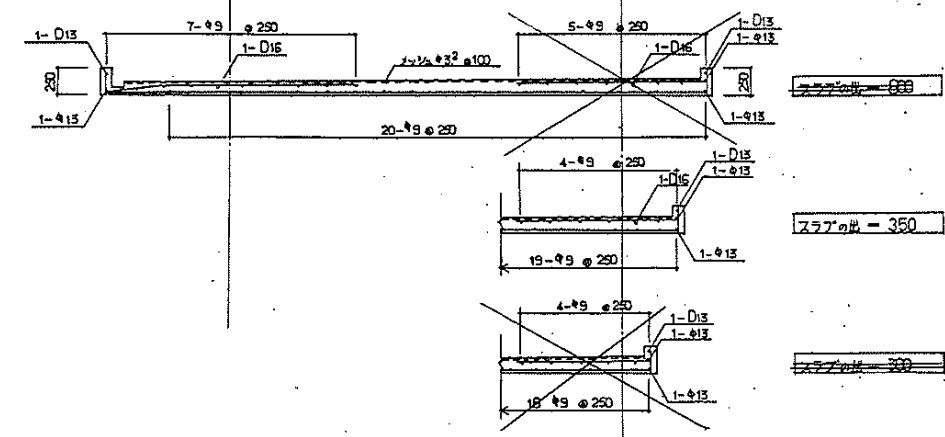
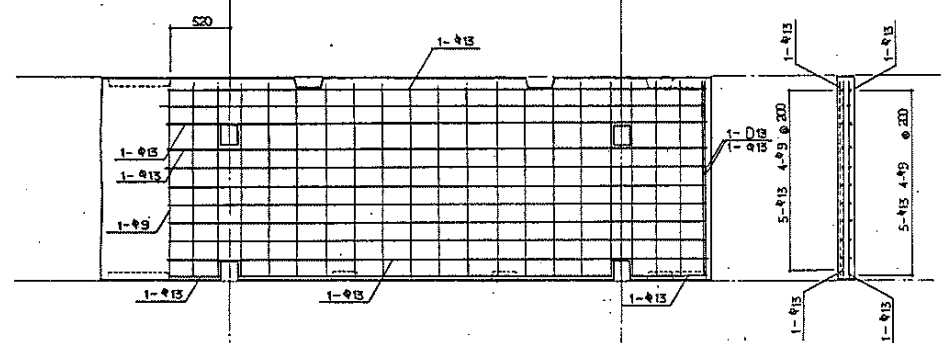
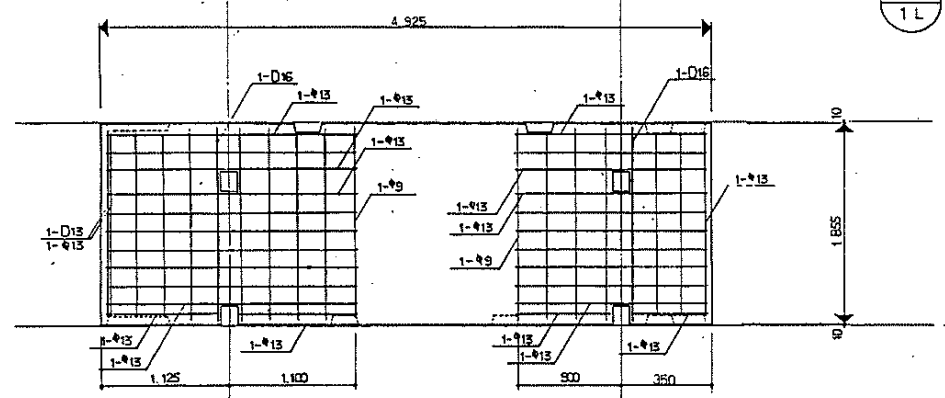


株式会社  
近藤設計事務所  
製図 校図  
一級建築士 近藤 一夫  
登録第30395号

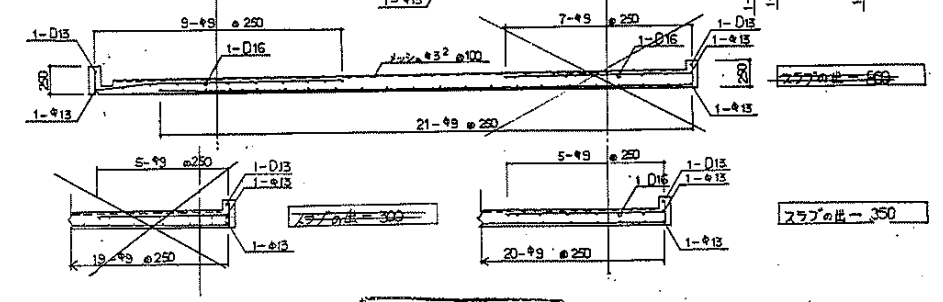
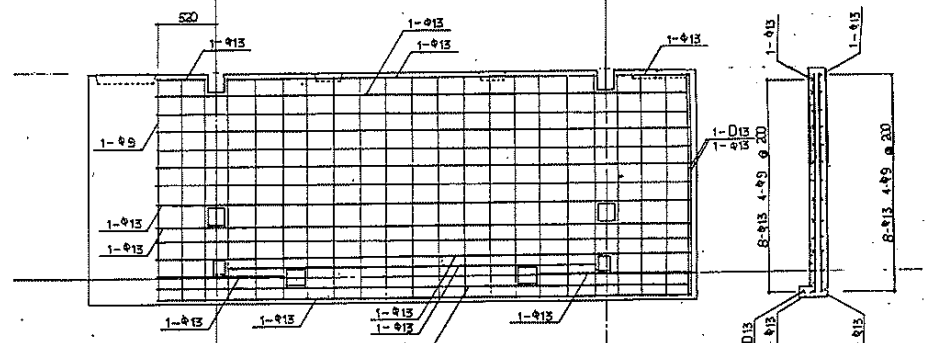
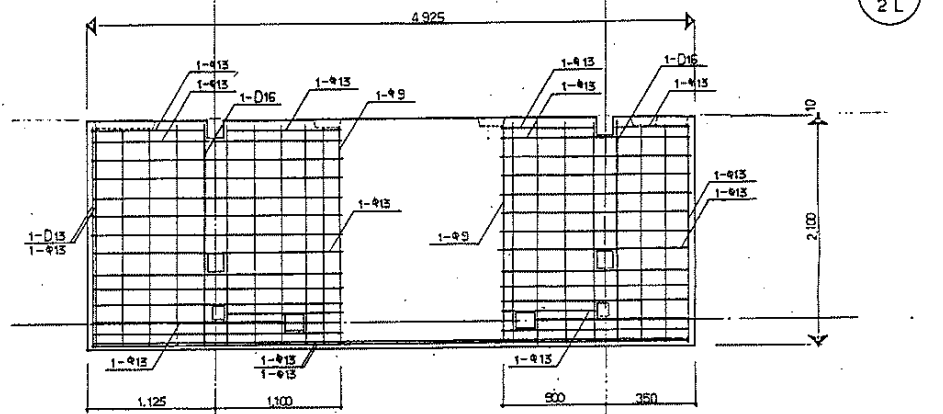
名称	海住宅住戸改善工事(第1工区)設計図	
図面名称	基礎配筋図 3	第1/30
図面		
設計		

60-8549

RS  
1L



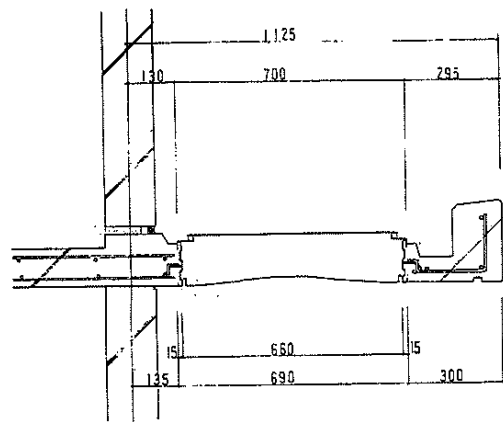
RS  
2L



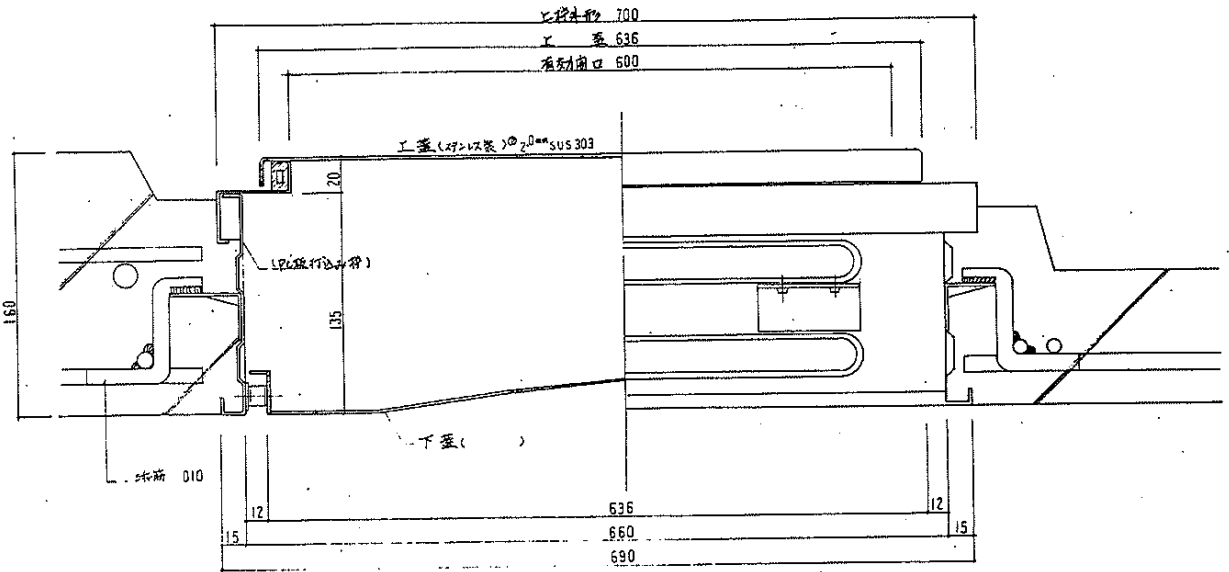
株式会社  
近藤設計事務所

60-8550

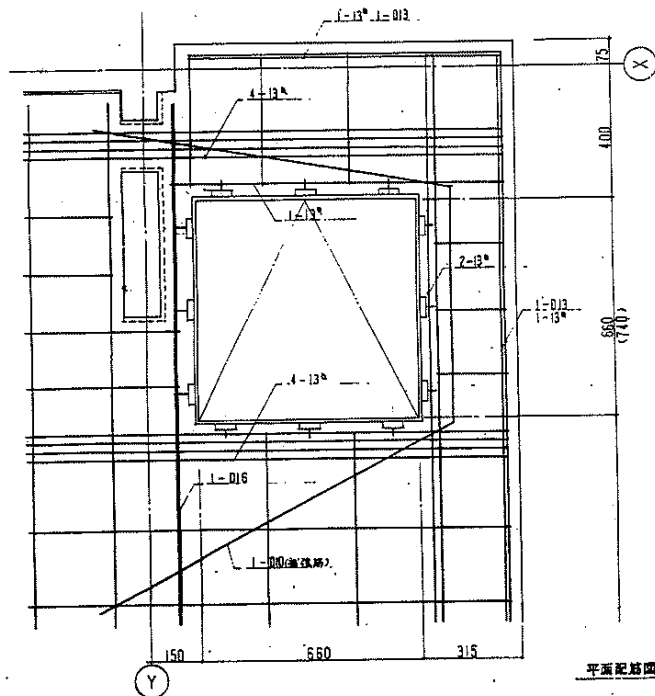
名称	海老名市戸改修工事(第1工区) 設計圖	
図面名称	屋根板配筋図	1/30
図面	[Redacted]	
設計	[Redacted]	



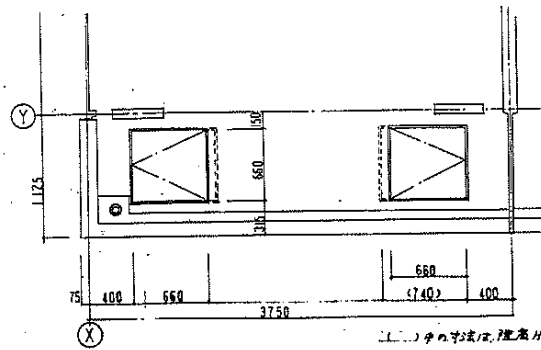
断面図 S=1/10



断面詳細図 S=1/2



平面配筋図 S=1/10



平面図 S=1/30

(...)の中の注記は、7層高H=2700—NT-107

株式会社  
近藤設計事務所  
製図 校印  
一級建築士 近藤 一夫  
登録番号 303953

60-8551

名称 海住宅戸改修工事(第1工区)設計  
図名 既設入り詳細図  
図面  
設計  
計

特記仕様書

章	節・項目	特記事項（総則編）
1. 一 般 共 通 事 項	1 節 一般事項	1. この特記事項以外は、下記に準拠する。ただし、本工程に関係のない項目は、適用しない。 1) 告知函封蓋印刷 2) 工事質量契約書 3) 建設省住宅局監修 公共住宅建設工事共通仕様書（昭和57年度版） 4) 本工程に使用する資材は、「電気工事指定資材メーカーリスト」によるものとする。 5. Bし製図と指定した材料はBしマークの表示のあるものとする。
	1.1.1 適用規格等	
	1.1.2 設計図書	
	1.1.4 図紙	
2 節 工事現場管理	1. 引渡しを要するものは、監督員の傍在する場所に取り渡し、リスト表を作成し、監督員に引渡す。 2. 引渡しを要しないものは、下記種別欄の項より単外輸出処分とする。 3. 告知函封蓋印刷 原設計図及び竣工図書（昭和59年4月）による。	
3 節 仮設物その他	1. 設置しない ※設置する（除開工事と共同設置）	
7 節 記録	工事写真 1) 工事中 山右側に於て員表に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影記録すると共に特に施工後、埋べい又は埋設される部分は、被写体に印字テープを貼付撮影のこと。 2) 完成時 カラー[ ]個所をキャビネットにて、撮影場所を明記の上、原図共提出する。 [ファイル箱数※1 - ] [ファイル箱数※2 1 - 2] 450	
1.7.1 記録		
	1.7.2 しゅう工図その他	1. 工事完了後に、下記しゅう工図を和紙A <sub>1</sub> 又はA <sub>2</sub> で作成し提出する。 1) 配線図 2) 平面図 3) その他 2. 下記図紙を「マイクロフィルム」に張り、「ポリエステルペーシ」紙に拡大の上提出する。 1) 設計図（変更設計図含） 2) しゅう工図
	提出書類	1. 工事完了証明書 2. 使用資材（機材）一覧表 3. その他工事施工に際する必要書類 （ただし、約款第8条による工事完了の提出は契約締結後20日以内と読み替える。
	火災保険等	・ 保険の期間は工事の目的物の引渡し日までとする。 （特に定めのない限り契約上の完成期日経過後14日間とする）

章	節・項目	特記事項（電気編）																																																																																																																																																																																																			
1. 一 般 共 通 事 項	1 節 一般事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>工事区分</th> <th>配電</th> <th>給排水</th> <th>ガス</th> <th>外構</th> <th>B</th> <th>V</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気配線工事</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照明器具取付及び補修</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配電キャビネット</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブレーキ・急停止装置</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防塵・防湿・換気レギュレーター</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備用スリーブ管入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備用スリーブ管注込補修</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備用スリーブ管水漏れ補修</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧水種別台</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備用高圧管接続内装穴閉</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>洗面・トイレフロアスイッチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上吊りレール及び備</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水運用用中絶計器設置</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上給湯及び調整</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事名	工事区分	配電	給排水	ガス	外構	B	V						電気配線工事	○												照明器具取付及び補修	○												配電キャビネット	○												ブレーキ・急停止装置	○												防塵・防湿・換気レギュレーター	○												設備用スリーブ管入	○	○		○	○								設備用スリーブ管注込補修	○												設備用スリーブ管水漏れ補修	○												高圧水種別台	○												設備用高圧管接続内装穴閉	○	○		○	○								洗面・トイレフロアスイッチ	○			○									同上吊りレール及び備	○												水運用用中絶計器設置	○												同上給湯及び調整	○											
	工事名		工事区分	配電	給排水	ガス	外構	B	V																																																																																																																																																																																												
電気配線工事	○																																																																																																																																																																																																				
照明器具取付及び補修	○																																																																																																																																																																																																				
配電キャビネット	○																																																																																																																																																																																																				
ブレーキ・急停止装置	○																																																																																																																																																																																																				
防塵・防湿・換気レギュレーター	○																																																																																																																																																																																																				
設備用スリーブ管入	○	○		○	○																																																																																																																																																																																																
設備用スリーブ管注込補修	○																																																																																																																																																																																																				
設備用スリーブ管水漏れ補修	○																																																																																																																																																																																																				
高圧水種別台	○																																																																																																																																																																																																				
設備用高圧管接続内装穴閉	○	○		○	○																																																																																																																																																																																																
洗面・トイレフロアスイッチ	○			○																																																																																																																																																																																																	
同上吊りレール及び備	○																																																																																																																																																																																																				
水運用用中絶計器設置	○																																																																																																																																																																																																				
同上給湯及び調整	○																																																																																																																																																																																																				
	1.1.2 関連工事との取合い																																																																																																																																																																																																				

60-8552

* 昭和海住宅住戸改修工事第1工区	
図説名称	電気工事特記仕様書
図説	
設計	告知函封蓋印刷住宅建設

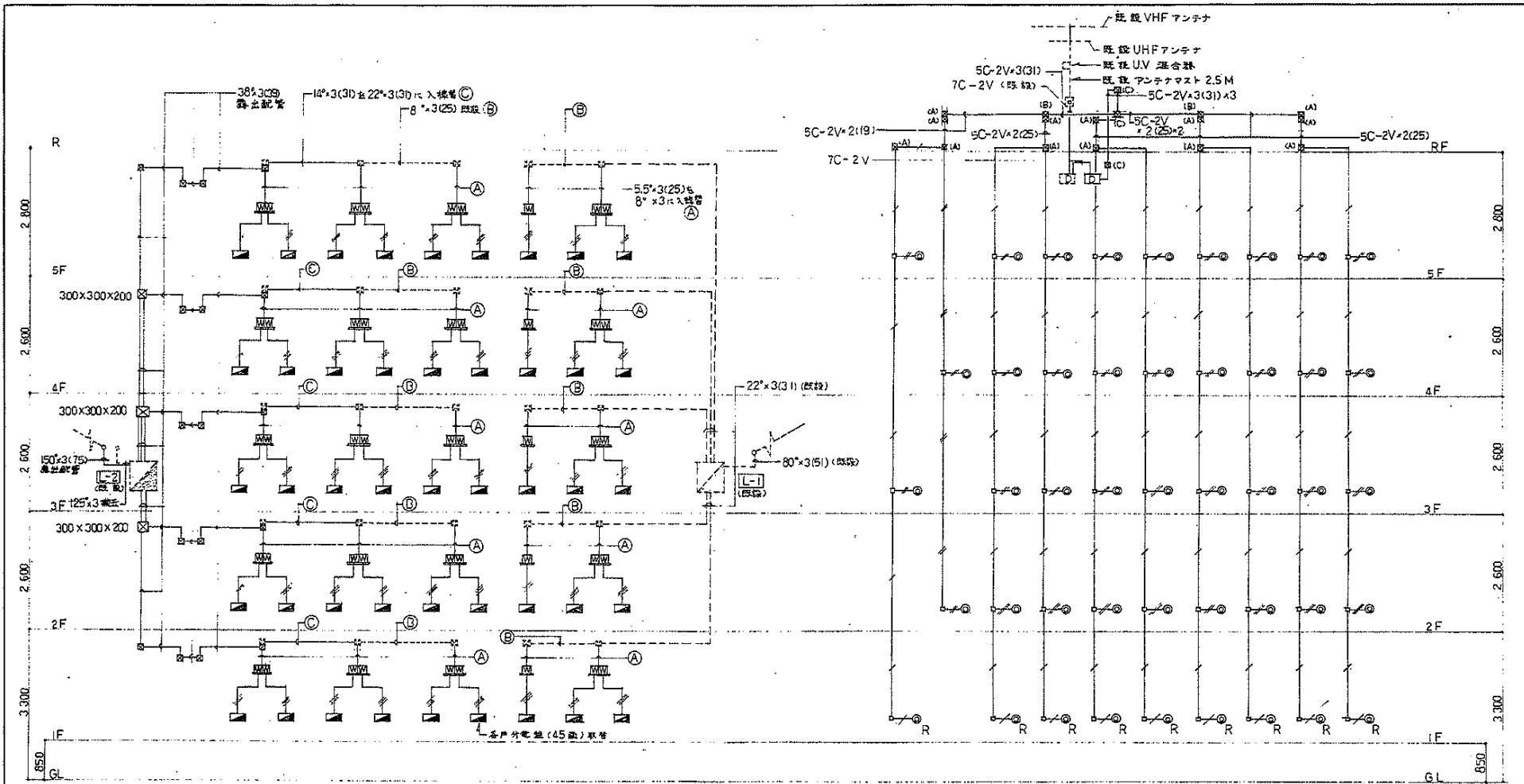
電気工事 指定資材及びメーカーリスト

分類	指定資材	適用範囲	製品名及びメーカー				
電線・ケーブル	高圧ケーブル (CV-CB-CVV)	一般配線工事に 使用するもの	京三電線	昭和電線電機	任友電気工業		
			大日日本電線	タツタ電線	神帝国電線製造所		
			東海電線	東日電線	豊田電機		
			西日本電線	日立電線	鎌倉電線		
			古河電気工業	矢野電線	三和電線工業		
			大電線	神帝国電線製造所(低圧ケーブルのみ)			
			通信ケーブル	(音響用ケーブル除く)	仲電線	京三電線	昭和電線電機
			任友電気工業		大日日本電線	タツタ電線	
			神帝国電線製造所		東日電線	豊田電機	
			西日本電線		日立電線	鎌倉電線	
古河電気工業	矢野電線	三和電線工業					
大電線							
IV	JIS C 8807 (600Vビニル絶縁電線)						
TYDF	JIS C 8880 (テレビジョン受信用フィーダーコード)						
VV	JIS C 8840 (屋外用ビニル絶縁電線)						
OW	JIS C 8841 (引込用)						
DY	JIS C 8842 (600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル)						
圧着端子 挿入型スリーブ 耐火耐熱電線	JIS C 2805 (銅線用挿入型端子) JIS C 2806 (* 挿入型スリーブ) 耐火、耐熱電線認定委員会認定を受けている旨の表示をしているもの						
電線管 同付製品	電線管 同付製品	JIS C 8805	JIS マーク表示品				
		JIS C 8450	JIS マーク表示品				
		JIS C 8809	JIS マーク表示品				
計器・继电器	水位继电器	立石電機	松下電工	朝日製作所			
		三菱電機					
しゃ断器類	配線用しゃ断器	JIS C 8870 フレーム 容量1000A以下のもの	朝日製作所	富士電機製造			
			三菱電機	朝日電機製作所	寺崎電気工業		
			松下電工	朝日電機製作所	寺崎電気工業		
			三菱電機	朝日電機製作所	寺崎電気工業		
配電盤	制御盤、分電盤 端子盤、高低ケーブル 高圧配電盤	制御盤、分電盤 端子盤、高低ケーブル	神愛知電機製作所	神高松製作所	朝東芝		
			富士電機製造	三菱電機	朝日電機製作所		
			神高松製作所	神川製作所	藤井電機		
			神内外電機製作所	川崎電機	中立電機		
			日新電機	日本電気精機	神明電舎		
			朝日電機	神川製作所	朝日電機		
			松下電工	取芝電材	神村電器産業		
			三友工業	豊電子工業	日東工業		
			日東工業	神内外電機製作所	朝日電機		
			神川製作所	朝日電機	朝日電機		
電線閉路器	電線閉路器 戻触器	電線閉路器 戻触器	朝日電機	朝日電機	三菱電機		
			富士電機製造	松下電工	神明電舎		
			神川製作所	朝日電機	朝日電機		

分類	指定資材	適用範囲	製品名及びメーカー		
配電盤	各戸分電盤		制御盤、分電盤、端子盤、高低ケーブル、高圧配電盤の指定業者及び下記業者		
			朝日電機	神高松製作所	朝日電機
			三菱電機		ケンバーム工業
配線器具類	小形スイッチ、コンセント	一般低圧屋内配線 工事に使用するもの	JIS C 8804 (屋内用小形スイッチ類)		
			JIS C 8808 (配線用差込接続器)		
	自動点検器	*	JIS C 8869 (光電式自動点検器)		
照明器具	照明器具		朝日電機製作所	岩崎電機	三洋電機
			大光電機	高美電機	東芝電材
			日本電産エレクトロニクス	朝日電機	松下電工
			三菱電機	ヤマギヤ電機	山田照明
			神高松製作所(街路灯のみ) オヤマ照明		
	非常用照明器具		防災検定委員会の認定証書が貼付されたもの		
	誘導灯		誘導灯認定委員会の認定証書が貼付されたもの		
放電灯安定器 放電管等	けい光灯安定器 放電管等	屋内外一般けい 光灯に使用	JIS C 8108		
			JIS C 7601 (けい光ランプ)		
			JIS C 7609 (クビッドスタート形けい光ランプ)		
			JIS C 7501 (一般照明用電球)		
テレビ共聴装置	テレビ共聴機器		BLテレビ共聴機器製作所		
防災機器	非常警報機器		非常警報機器認定委員会認定証書が貼付されたもの		
ハンドヘル	鋸鋸フタ		朝日電機	朝日電機	朝日電機
			朝日電機	朝日電機	朝日電機
			朝日電機	朝日電機	朝日電機
			朝日電機	朝日電機	朝日電機
コンクリートボール	コンクリートボール		所轄電力会社及び電機会社の認定品		
BL部品			建設大臣のBL部品認定を受け、その旨の表示のあるもの		

海住宅住戸改善工事(第1工区)  
 海住宅住戸改善工事(第2工区)  
 海住宅住戸改善工事(第3工区)  
 海住宅住戸改善工事(第4工区)  
 海住宅住戸改善工事(第5工区)  
 海住宅住戸改善工事(第6工区)  
 海住宅住戸改善工事(第7工区)  
 海住宅住戸改善工事(第8工区)  
 海住宅住戸改善工事(第9工区)  
 海住宅住戸改善工事(第10工区)





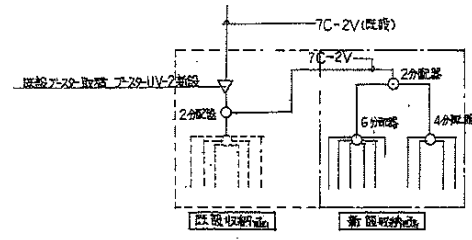
併記の記号は 55\*3(25)と 8\*3(25)の入線電  
 併記の記号は 200\*200\*100とする  
 接地線は既設使用とする

電灯幹線改修系統図

中継ボックスは下記とする  
 (A) 150\*150\*100 (勢水型)  
 (B) 200\*200\*100 ( )  
 (C) 350\*350\*200 ( )

併記の記号は配線サイズ下記とする  
 〰 5C-2V (19)  
 〰 5C-2V\*2 (25)

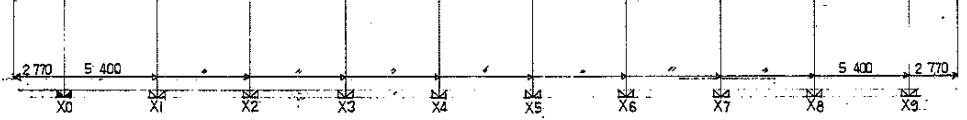
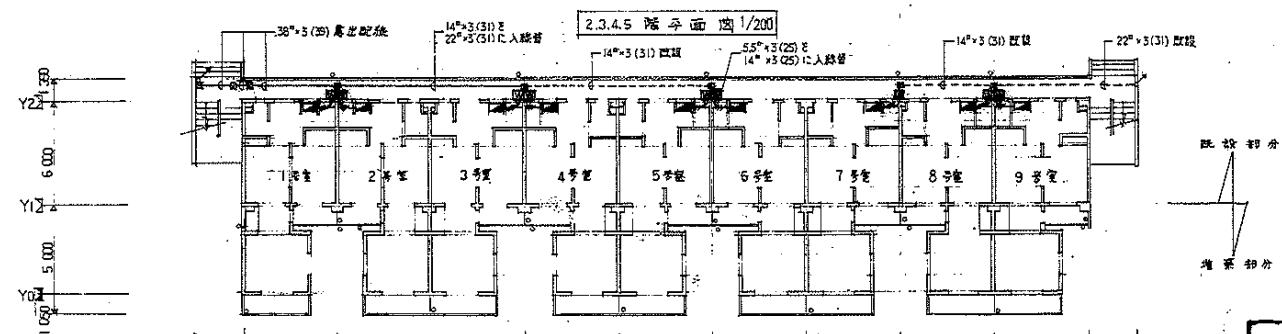
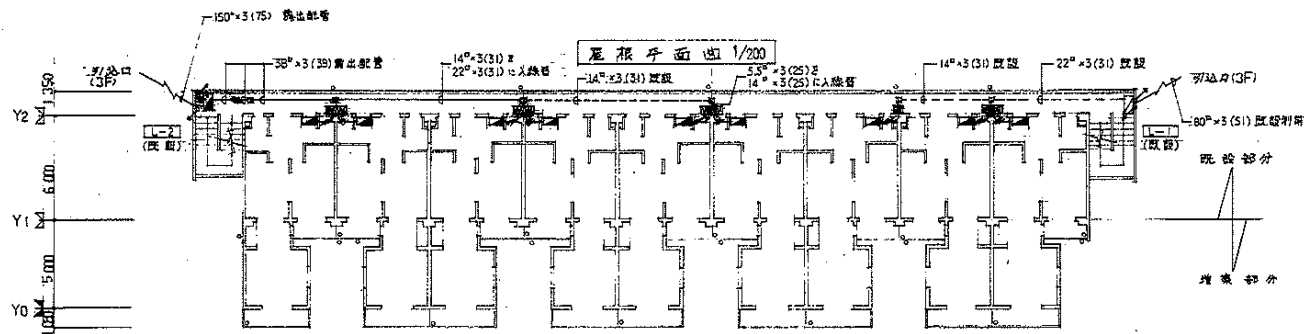
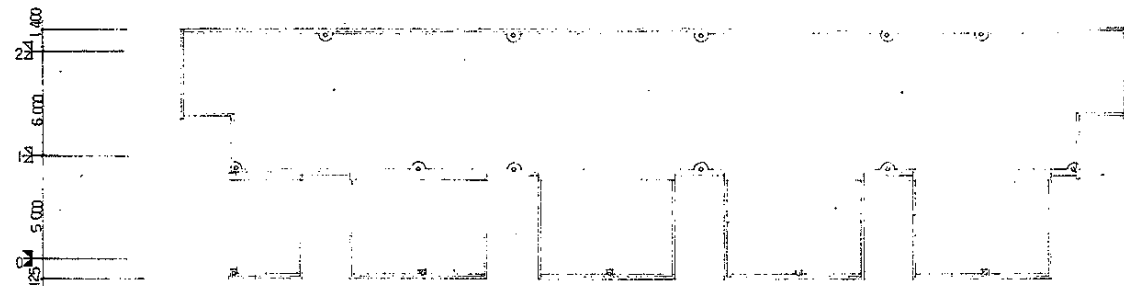
テレビ共聴設備系統図



株式会社  
**近藤設計事務所**

60-8554

名称	海住宅住戸改修工事(第1工区) 設計図
図面名称	種類・テレビ共聴設備系統図
図面	
設計	愛知県建築部住宅課 設課

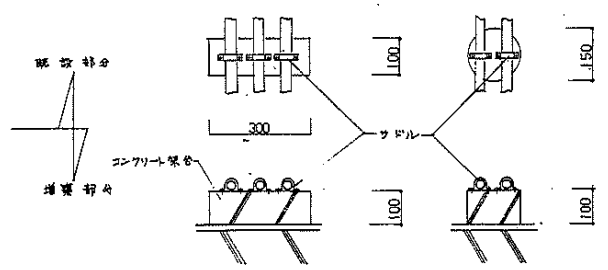
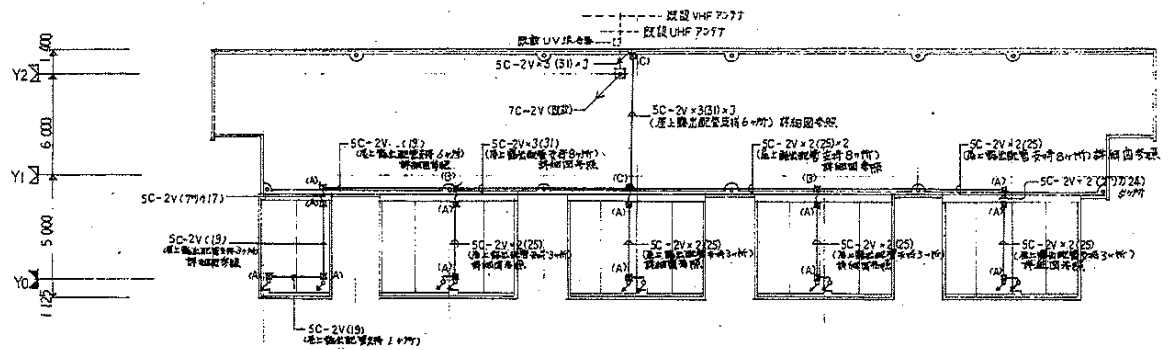


記号	名称	備考
■	各戸分電盤	新設
■	配線引き直し	既設
○	引線シールド(コンセント付)	新設
○	"	既設
○	コンセント(2ヶ所)	新設
○	" (1ヶ所) ISAE付	"
○	"	既設
□	テレビ機器収納箱	新設
□	"	既設
○	差列ユニット UV-SU-37-7	新設
○	" UV-SU-37-R	"
□	中継ボックス	新設
□	"	既設
□	露出ボックス	新設
—	配管配線	天井内(天井)
—	"	床内(天井)
—	"	既設
—	"	上上げ, 下下げ

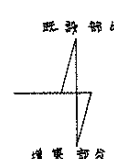
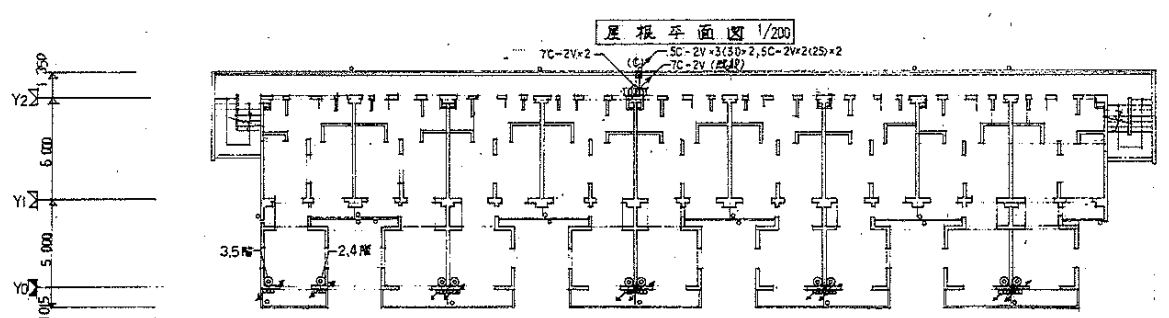
注記  
 図中特記の配管配線は天井内系統図参照  
 図中 14.55\*3 (25) & 8\*3 (25) は入線管  
 図中 アルボックス 200\*200\*100 は付

株式会社  
**近藤設計事務所**  
 60-8555  
 名称 湯住宅住戸改修工事(第1工区) 設計図  
 図面名称 配線設備平面図 尺 1/200  
 図番  
 設計

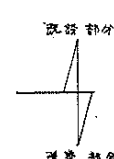
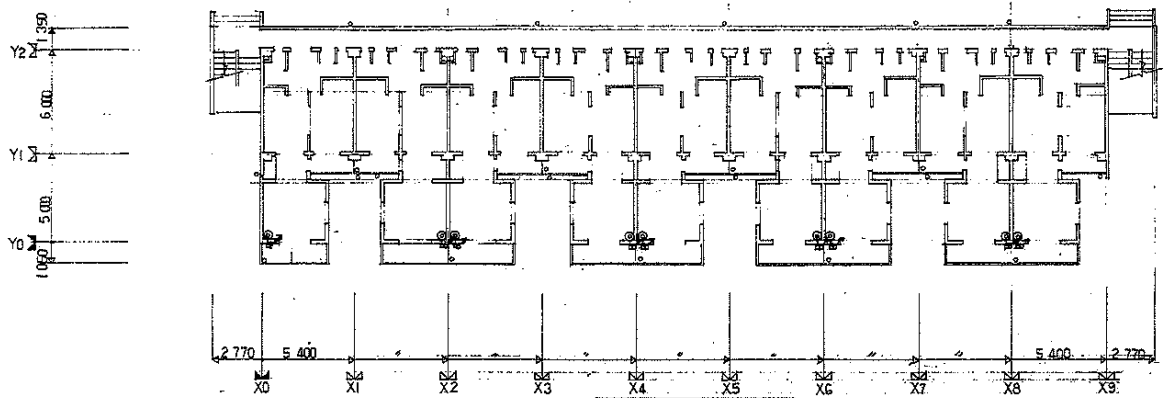




屋上露出配管支持詳細図 1/16



(注記)  
 中継ボルトは下記とする  
 (A) 150 × 150 × 100 (潜水型)  
 (B) 200 × 200 × 100 ( )  
 (C) 350 × 350 × 200 ( )  
 特記のものは型露出ボルトとする。  
 特記の配管配線サイズ系統図を参照する。

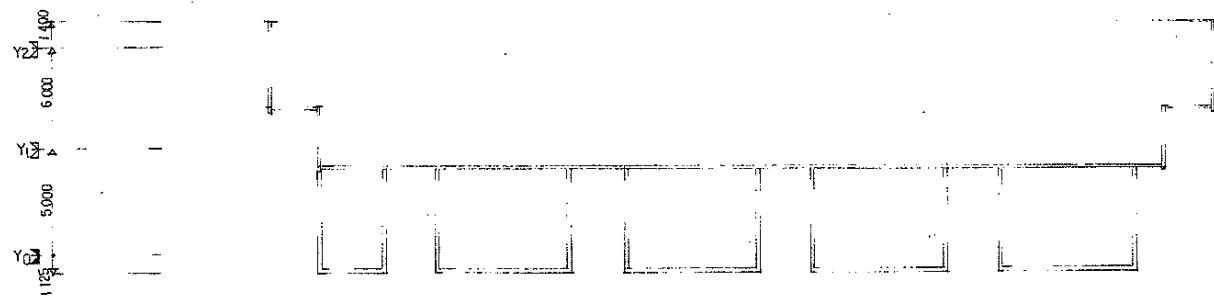


株式会社  
 近藤設計事務所

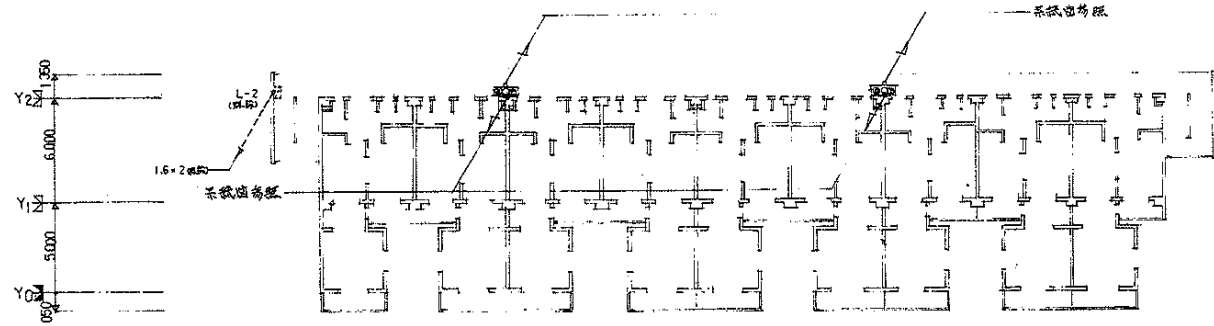
60-8556

事務所	〒 60-8556 京都市南区九条二丁目
設計区	京都市南区九条二丁目 住宅改修工事(第1工区) 設計区
図面名称	テレビ・冷暖房配管平面図 1/200 1/16
図面番号	
設計者	
承認者	
発行	京都市南区九条二丁目 住宅改修工事(第1工区) 設計区

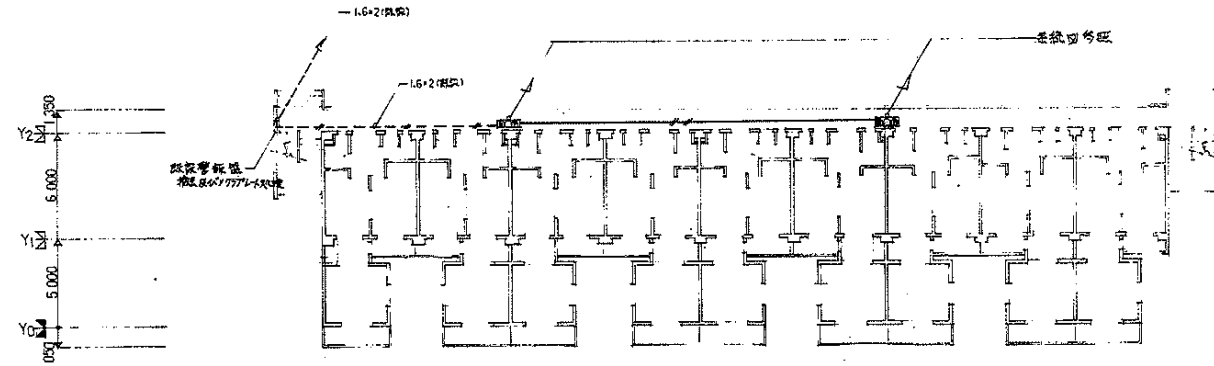
1階平面図 1/200



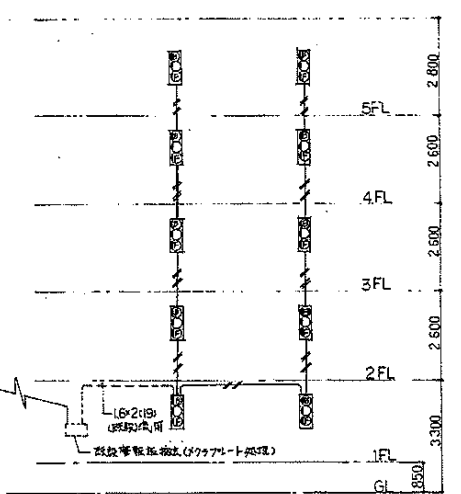
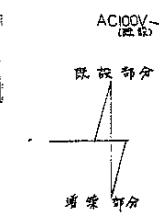
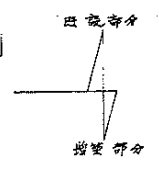
屋根平面図 1/200



2.3.4.5階平面図 1/200



1階平面図 1/200



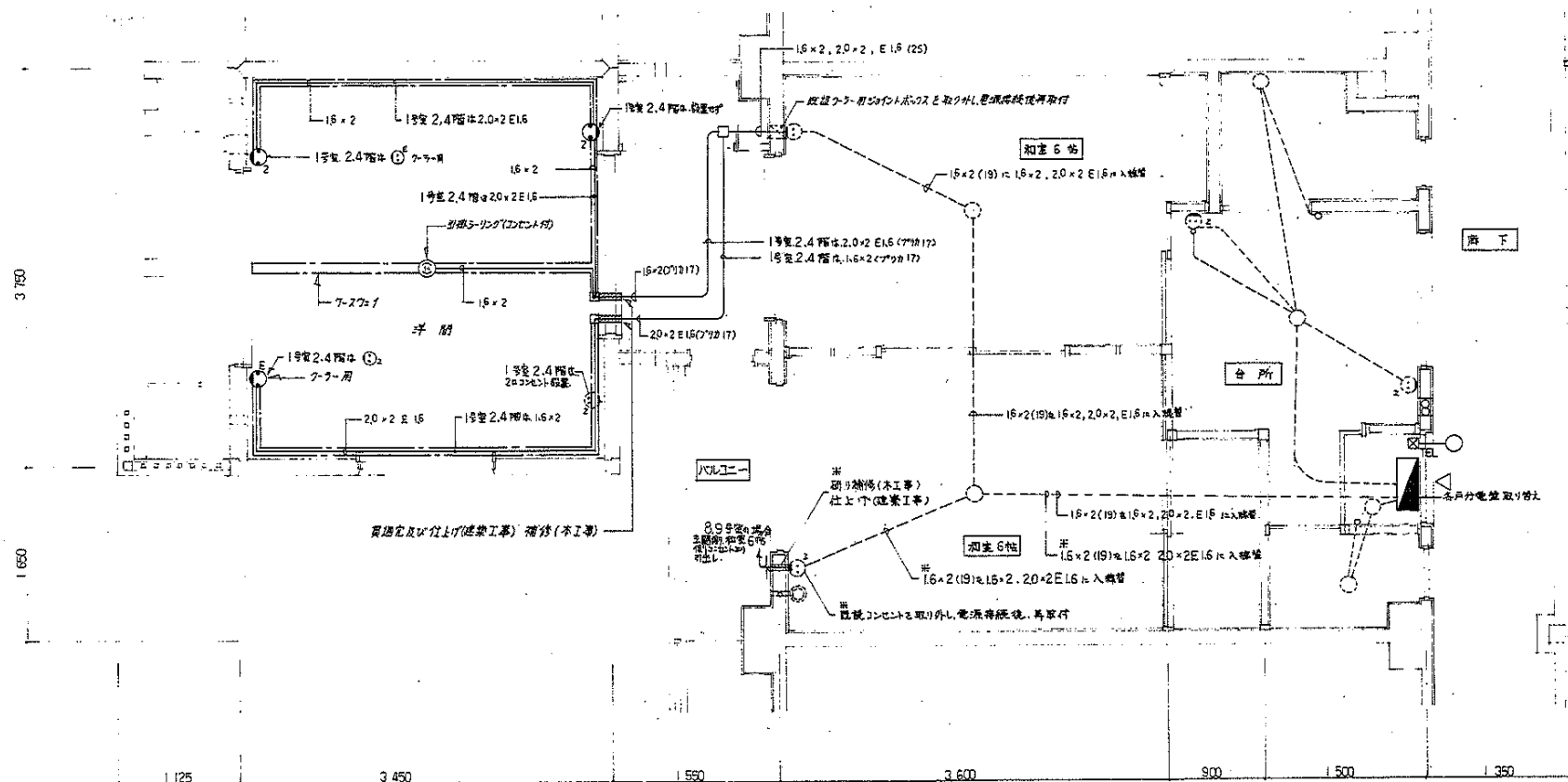
管記号: 配管記号は L1.6\*2.19, L1.1.2\*2.19, L2.3. 2.3.3.  
非常警報系統図  
※一斉送信

記号	名称	備 考
○●○	非常警報機分岐箱-1号機	干線電池 2FL, L2.4H
—	配管記号	管径は図示 1.6*2.19, L1.1.2*2.19
R		上下リ, 並上リ

株式会社  
近藤設計事務所

名称	鳴海住宅戸改修工事 (第1工区) 設計図	
図面名称	非常警報設備平面図・系統図	縮尺 1/200
図面	[Redacted]	
設計	[Redacted]	
設計	愛知県建設部住宅建設課	

監理: 建設部長 藤本, 2/7/77-1-1-11の管理工事



3 750  
1 650

1 125 3 450 1 550 3 600 900 1 500 1 350

注) 井戸8号室のみ電線が合示可  
(電線敷表示に野線設備平面図(1/3))

増設部分 ← → 既設部分

株式会社  
近藤設計事務所

60-8558

名称	鳴海住宅住戸改善工事(第1工区)設計図	
図面名称	3F配電図(コンセント設備)	1:30
図面	[Redacted]	
設計	[Redacted]	

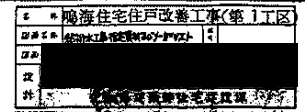


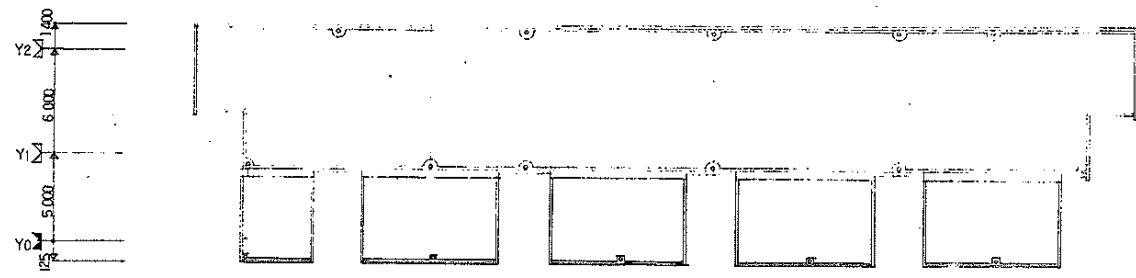


給排水工事 指定資材及びメーカーリスト

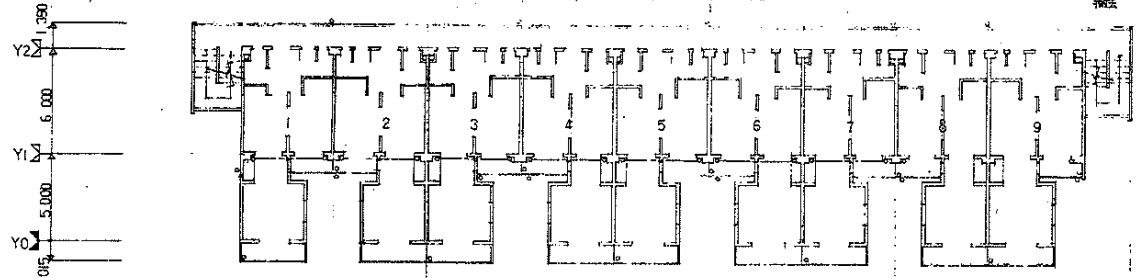
分類	指定資材	適用範囲	製品名及びメーカー		
管	コーティング鋼管		住友金属工業㈱	日本鋼管㈱	新日本製鉄㈱
			神多久製作所		
	排水用鋼鉄管		久保田鉄工㈱	神本鉄工所	◎大出鉄工所
			用機興工㈱	神長谷川製工所	
	鋼管		神神戸製鋼所	住友金属工業㈱	日立電線㈱
			古岡金属工業㈱	三菱金属㈱	
	鋼管		JIS G 8452 (配管用炭素鋼管)		
			JIS G 8454 (圧力配管用炭素鋼管)		
			JIS G 3442 (水道用延びめっき鋼管)		
	鉛管		JIS H 4811 (鉛管)		
			JIS H 4812 (水道用鉛管)		
	ビニール管		JIS K 6741 (硬質塩化ビニール管)		
JWWA K 118 (水道用耐腐蝕性硬質塩化ビニール管)					
塩化ビニール管		JWWA K 116 (水道用硬質塩化ビニール管)			
コンクリート管		JIS A 5808 (遠心力鉄筋コンクリート管)			
継手	鋼管継手		神神戸製鋼所	東洋フィテング㈱	神多久製作所
	伸縮継手		神ペン	神本山製作所	神ヨシタケ製作所
			日本ペロー工業㈱	フシマン㈱	三古バルブ㈱
			神日東製作所	愛知タイヤ工業㈱	トーフレ㈱
	可とう継手(ステンレス)		日本ペロー工業㈱	トーフレ㈱	大阪ラモン管工業㈱
	鋼管製管継手 排水管継手 ビニール管継手 可とう鋼管製継手		JIS B 2802 (ねじ込式鋼管製管継手)		
			JIS B 2808 (ねじ込式排水管継手)		
			JIS K 6789 (排水用硬質塩化ビニール管継手)		
			JWWA K 119 (水道用耐腐蝕性塩化ビニール管継手)		
				JIS B 2801 (ねじ込式可とう鋼管製管継手)	
蓋水器		各水道事業主体の規格品			
井	青銅弁		JIS B 2011 (5kg/cm <sup>2</sup> ねじ込み玉形弁)		
			JIS B 2013 ( * * 抜切弁)		
			JIS B 2021 (10kg/cm <sup>2</sup> * 玉形弁)		
			JIS B 2028 ( * * 抜切弁)		
			JIS B 2025 ( * * スイング止弁)		
	鋼鉄弁		JIS B 2081 (5kg/cm <sup>2</sup> フランジ形外ネジ抜切弁)		
			JIS B 2041 ( * * 玉形弁)		
			JIS B 2044 (10kg/cm <sup>2</sup> * 外ネジ抜切弁)		
			JIS B 2045 ( * * スイング止弁)		
			JIS B 2062 (水道用抜切弁)		

分類	指定資材	適用範囲	製品名及びメーカー		
ポンプ	うす巻ポンプ 多段ポンプ		神津原製作所	神川本製作所	神島原機製作所
			久保田鉄工㈱	神津野製作所	オカサゴポンプ㈱
			神島田ポンプ製作所	神電業社機械製作所	神日立製作所
			神西島製作所	三菱重工業㈱	岩谷電機製作所
			エレポン㈱	神アレンレット	
回転機類	電 動 機		神 京 芝	神日立製作所	富士電機製造㈱
			松下電器産業㈱	三菱電機㈱	神 明 電 舎
			神安川電機製作所	神 電 機 ㈱	
衛生機器	衛生機器	JIS S207以外のもの	東海機器㈱	伊豆製機㈱	ジャニス工業㈱
				JIS A 5207 (衛生機器)	
除菌材	ロックワール保菌材 グラスワール保菌材 フォームプラスチック保菌材		JIS A 9504		
			JIS A 9505		
			JIS A 9511		
水 槽	F.R.P. 水槽		伊 奈 製 機 ㈱	機 水 工 事 ㈱	アロン化成㈱
			東 海 機 器 ㈱	三 菱 機 器 ㈱	日 立 化 成 工 業 ㈱
			三 洋 技 研 ㈱	フリアストンタイヤ㈱	フククリン工業㈱
			日本ポリエスタル㈱	京 良 工 機 ㈱	
	ステンレス水槽(パネル型)		森 松 工 業 ㈱		
			三 菱 金 属 ㈱	神 島 本 製 作 所	
	鉄パネル水槽		機 水 工 事 ㈱		
			三 菱 機 器 ㈱	日 本 器 器 工 業 ㈱	
排水金具	排水金具(鋼鉄製)		フリアストンタイヤ㈱		
			◎大出鉄工所	神長谷川製工所	南 興 興 工 所
	蓋 (鋼鉄製)		神小島製作所	福 西 康 徳 ㈱	オネソウ㈱
			大阪ドレナージュ工業㈱	神丹村製工所	中 部 工 機 ㈱
消火器具	屋内消火栓弁、屋外消火栓弁、放水口、放水口ノズル		上 記 指 定 業 者		
			第一機材㈱	興 野 工 業 ㈱	◎北勢機鉄製作所
送風器	換気扇(BL以外のもの)		防 水 商 店		
			神立完備製作所	神村山製作所	神 南 北 製 作 所
			神 火 栓 機 工 所		
			神 初 田 製 作 所		
送風器			神 初 田 製 作 所		
			神 初 田 製 作 所		
送風器			松下電器産業㈱		
			三 菱 電 機 ㈱		
BL部品			神日立製作所		
			三 洋 電 気 ㈱		
排水パイプ/フタ			理数大臣のBL部品認定を受けたものでその旨の表示があるもの		
			愛知県コンクリート製品組合の構成工場		

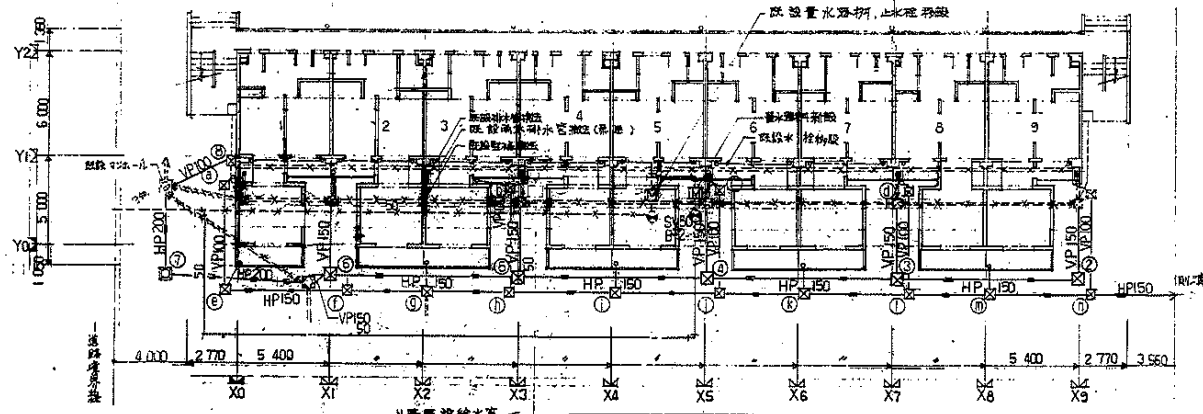




屋根平面図 1/200



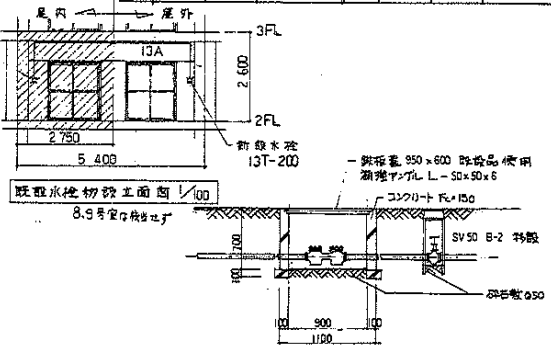
2.3.4.5階平面図 1/200



1階平面図 1/200

排水器材料表

記号	型式	管径	備考	記号	型式	管径	備考
2	C-2	480	450×450	a	C-1-1	300	300×300
3	C-2	540	・	b	C-1-1	・	・
4	C-3-1	610	600×600	c	C-1-1	・	・
5	C-3-1	680	・	d	C-1-1	・	・
6	CT-3-1	750	・	e	C-1-2	320	・
7	SC-4-1	1300	750×750	f	C-1-2	350	・
8	CT-1-2	400	300×300	g	C-1-2	370	・
				h	C-1-2	390	・
				i	C-1-2	410	・
				j	C-1-2	430	・
				k	C-1-2	450	・
				l	C-2	480	450×450
				m	C-2	500	・
				n	C-2	520	・



排水器材料詳細図 1/40

記号	名称	備考
——	給水管	VLP
——	排水管	VP
——		HP
——	既設管	
——	毛凡儿穴埋	
⊠	新設材	排水雨水
⊡	既設材	
□	新設材	排水

注) 給: 建築工事指図書  
 ---: 埋設(配管)  
 ⊠: 新設管  
 ⊡: 既設管  
 ⊠: 毛凡儿穴埋  
 ⊡: 新設材  
 □: 既設材

株式会社  
近藤設計事務所

60-8562

名称	海濱住宅戸改修工事(第1工区)設計図
図面名称	給排水平面図 1/200
図面	
設計	